

1530迄 (2001件)

1511年-05:00|カザフスタン| |||<死去>カザフ汗国ハン「ブルトック」
1511年-05:00|カザフスタン| |||<即位>カザフ汗国ハン「カシム・ハン」ジヤニー・ベクの子(〜1521年死去)
1511年-05:00|トルクメニスタン/ウズベキスタン| |||<即位>ヒヴァ・ハン国初代ハン「イルハルス1世」創始者(〜1518年)
1511年-05:00|モルデイヴ| |||<即位>ヒルリ朝スルタン「Sharif Ahmed Suddha Bavana」(〜1513年)
1511年-04:00|ロシア| |||<即位>モスコフスキー・ナメストニク「ヒョートル・ウ・アシリウイチ」「セミョン・フョードロウイチ」(〜1513年)
1511年-03:00|イェメン/トルコ| |||<就任>オスマン帝国サ総督「Huseyin Bey al-Kurdi」(〜15170228)
1511年-02:00|キプロス/イタリア| |||<就任>ヴェネツィアのキプロス副官「ハ・オ・ディ・ジュスト・グ・ラテ・ニコ」(〜1514年)
1511年-02:00|ギリシャ| |||<就任>ナクソス総督「アントニオ・ロレーノ」(〜1517年)
1511年-02:00|トルコ| |||<即位>アイユーブ朝(ヒスン・カイファ)アミール「Adil Sulayman2世」(〜1514年)
1511年-01:00|ポーランド| |||<就任>オレシツァ公「カレル1世」(〜1536年)
1511年-01:00|リビア/スペイン| |||<就任>スペインのトリポリタニア総督「キエム・ト・モンカダ」(〜1520年)
1511年-01:00|ドイツ| |||<就任>リッペ伯「ジームン5世」(〜1536年死去)
1511年-01:00|クアチア| |||<即位>ポルツァ大公「イヴァニシュ・ネダ・ト・ラジ・ヨエウ・イチ」(〜1546年)
1511年 00:00|イギリス| |||<就任>コンウォール公「ヘンリー」ヘンリー8世の子(同年死去)
1511年 00:00|イギリス| |||<就任>デヴオン伯「William Courtenay」(〜15110609死去)
1511年 00:00|モリタニア/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領アルギン長官「フェルナント・ピント」(〜1514年)
1511年 00:00|マン島/イギリス| |||<就任>マン島知事「Sir John Ireland」(1期目〜1517年)
1511年 00:00|ポルトガル/イラン| |||ポルトガルがペルシア湾のホルムズ港を占領
1511年 04:00|トミニカ共和国/スペイン| |||<設立>サント・ミンゴ大審問院(〜1517年)
1511年 05:00|キューバ/スペイン| |||<就任>スペイン領キューバ総督「デ・イゴ・ウエラスカス」(〜15240612死去)キューバの征服を開始
1511年 06:00|ニカラガ/コスタリカ/パナマ/スペイン| |||<死去>スペイン領ベラガア総督「デ・イゴ・デ・ニキエサ」
1511年 06:00|ニカラガ/コスタリカ/パナマ/スペイン| |||<就任>スペイン領ベラガア総督(事実上)「バスコ・ヌニェス・デ・バルブエナ」(〜1514年)
1511年 06:00|アメリカ| |||フエルトリコのタイノ族の反乱失敗/ホンデ・レオン, 原住民6千人を殺害
1511年1月8日-09:00|日本|神奈川県足柄上郡中井町|永正7年12月9日|上杉朝良、北条早雲方の相模鴨沢要害を攻めるが早雲方に敗れる
1511年1月10日-01:00|フランス/パチカン| |||教皇ユリウス2世が対仏同盟を結成
1511年1月16日-09:00|日本| ||永正7年12月17日|幕府、撰銭の罰法を制定
1511年1月27日 11:00|日本|静岡県浜松市北区|永正7年12月28日|夜、斯波義達陣所月光山宝光庵(引佐町花平)が今川軍の放火で焼かれる
1511年1月29日-07:00|ベトナム| ||大越・洪順3年|グ・ケン(武現)が「大越通鑑通考」を編纂(ホハンは鴻彪氏から十二使君時代までを外紀とし、デイン・ホ・リンからレ朝初期までを本紀)
1511年1月30日-09:00|日本|岡山県|永正8年|<任命>備中国守護「細川之持」(〜永正9(1512)年1月死去)
1511年1月30日-09:00|日本|熊本県|永正8年|<交替>肥後国守護「菊池武経(阿蘇惟長)」辞任⇒「菊池武包」(〜永正17(1520)年解任)
1511年1月30日-09:00|日本|静岡県浜松市|永正8年|曹洞宗真徳山天林寺(下池川町)3世長圓和尚、お寺を現在地に移す
1511年1月30日-09:00|日本|三重県|永正8年|<辞任>伊勢・志摩国守護「北畠材親」⇒長男の「北畠晴具」が継ぐ(〜天文22(1553)年隠居)
1511年2月28日-09:00|日本|佐賀県杵島郡白石町|永正8年2月|千葉興胤(興常)の子喜胤は杵島郡内の失地回復のため軍を出し、大村・渋谷を撃破し藤津までも手に入れ、千葉の重臣岩部・中村を須古に駐留
1511年3月18日-09:00|日本|京都府京都市左京区|永正8年2月19日|<死去>吉田兼俱(77歳)唯一神道の吉田神道の創始者
1511年4月-02:00|トルコ| |||<就任>オスマン帝国大宰相「ヘルセザード・アーメド・パシャ」(3期目〜3か月間)
1511年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「マリノ・デ・ニコロ・デ・イ・ジョヴァネッティ」「ヒ・アジ・オ・デ・イ・バルトロ・パシニ」
1511年4月20日-09:00|日本| ||永正8年3月23日|幕府が、味噌屋役、酒屋役の賦課に関する3ヶ条の法令を公布
1511年4月27日-01:00|ドイツ| |||<死去>トリア選帝侯「ヤコブ2世」
1511年4月27日-01:00|ドイツ| |||<就任>トリア選帝侯「リヒャルト」(〜15310313死去)
1511年5月21日-01:00|イタリア/フランス| |||フランス王軍のガストン・ド・フォア、イタリア北部のポロニャを陥落させる
1511年5月21日-09:00|日本|熊本県|永正8年4月24日|肥後国相良長毎、名和武顕の軍を久々川で破る
1511年6月1日-09:00|日本|兵庫県芦屋市|永正8年5月6日|本庄衆は灘五郷衆の応援を得て2000名で鷹尾城に攻め寄せた。詰めていた23名の与力衆は神水を飲み、主力の本庄衆300名に突入し20余名余りを討ち取ると、本庄衆は敗走しこれを見た他の寄せ手は逃亡
1511年6月7日-09:00|日本|京都府京都市|永正8年5月12日|足利義澄、細川澄元、播磨の赤松義村らと再度京をねらう
1511年6月9日 00:00|イギリス| |||<死去>デヴオン伯「William Courtenay」
1511年6月9日 00:00|イギリス| |||<就任>デヴオン伯「ヘンリー・コートネイ」(〜15381209死去)
1511年7月-02:00|トルコ| |||<就任>オスマン帝国大宰相「カムスタファパシャ」(〜1512年)
1511年7月18日-09:00|日本|千葉県|永正8年6月24日|<死去>下総真里谷領主「真里谷信興」⇒子の「真里谷信勝」が継ぐ(〜大永3(1523)年死去)

1530迄 (2001件)

- 1511年8月 05:00|キューバ/スペイン| |||<制定>スペイン植民地キューバ (サント・ドミンゴに從属~1777年)
- 1511年8月6日-09:00|日本|大阪府堺市|永正8年7月13日|<深井の合戦>深井城に突入した細川高国軍は、城中には誰もおらず出口が閉められ「籠の中の鳥」状態になり、脱出しようとして出口に集中したところへ政賢軍が現れ、そこから漏れ出てきたところへ切りかかった、高国軍も必死に防戦したが結局切り負けて、大将方は皆討ち死、雑兵も300名以上が討ち取られ大敗
- 1511年8月10日-08:00|マレーシア| |||<廃位>マラッカ王国スルタン「スルタン・マムド」マラッカ王国滅亡
- 1511年8月10日-08:00|マレーシア/ポルトガル| |||アフォンソ・デ・アルブケルケ率いるポルトガル艦隊がマラッカを占領
- 1511年8月19日-09:00|日本|兵庫県芦屋市|永正8年7月26日|<芦屋河原の合戦>細川高国は精鋭の馬廻り衆として、柳本宗雄、波多野植通、能勢頼豊、荒木大輔ら30余名と援軍3000兵を派兵して摂津国芦屋浜に布陣、瓦林正頼は鷹尾城を中心に山方を固めた。細川尚春軍には灘五郷の地侍衆が加わり両軍戦闘開始/鷹尾城の外城は落城したが、正頼は激戦を勝ちぬき、尚春軍の200余人を討ち取った。その後追撃戦となり有馬郡湯原村まで追いたてた
- 1511年8月25日-09:00|日本|奈良県奈良市|永正8年8月2日|筒井・十市・箸尾氏と戌亥脇衆が古市方六寸の城を攻め破る/古市氏は春日山へ逃げ、東山内吐山・多田・小夫衆ら七十人が討死
- 1511年8月31日-09:00|日本|兵庫県芦屋市|永正8年8月8日|<鷹尾城の戦い>赤松軍は鷹尾城を包囲して攻撃をかけ、翌日にも猛攻。この大軍の攻撃に鷹尾城は3千人ともされる死傷者を出しながらもよく戦った
- 1511年9月 00:00|ポルトガル/タイ| |||ポルトガルがアユタヤ王朝に使節を送り和平
- 1511年9月2日-09:00|日本|兵庫県芦屋市|永正8年8月10日|<鷹尾城の戦い>夜半、城主の瓦林政頼は鷹尾城を放棄して伊丹城に退却
- 1511年9月6日-01:00|ベルギー/ドイツ| |||<死去>ベルギー公・ユリヒ公「ヴィルヘルム4世」兼ラフェンベルグ伯「ヴィルヘルム3世」
- 1511年9月6日-01:00|ベルギー/ドイツ/オランダ| |||<就任>ユリヒ公・ベルギー公・ラフェンベルグ伯「ヨハン」(⇒1521年クレフェ公およびマルク伯、ユリヒ=クレフェ=ベルギー連合公~15390206死去)
- 1511年9月6日-09:00|日本|滋賀県近江八幡市|永正8年8月14日|<死去>室町幕府11代将軍「足利義澄」流浪先の近江岡山で病死/32歳(誕生:文明12(1480)1215)
- 1511年9月8日-09:00|日本|京都府京都市|永正8年8月16日|将軍足利義植(義尹)・細川高国、細川政賢が入京すると聞き丹波に逃亡。細川政賢入京し、将軍足利義植が居所としていた吉良家は焼かれる
- 1511年9月16日-09:00|日本|京都府京都市|永正8年8月24日|<船岡山合戦>(23日~)室町幕府将軍足利義植を擁立する細川高国・大内義興と前将軍足利義澄を擁立する細川澄元に夜襲をしかけると、細川政賢は戦死するなど澄元方は総崩れとなり、京都は再び義植の手に帰した
- 1511年9月22日-09:00|日本|滋賀県近江八幡市|永正8年9月|九里氏は、六角高頼、定頼父子に謀殺された/足利義澄を擁立していた三好之長、細川澄元は、次に遺児亀王丸を引き出し、足利義尹と和議を結ぶ
- 1511年10月1日-01:00|サマリヤ| |||<就任>サマリヤ共和国執政「アントニオ・デ・ジ・ローラ」(「ジ・ヨアンニ・デ・クリストフォロ・ヴァイタ」)
- 1511年10月3日-09:00|日本|徳島県|永正8年9月12日|<死去>細川成之(78歳)元阿波国・三河国・讃岐国守護
- 1511年10月5日-01:00|パチン/イタリア/スペイン/スイス| |||ローマ教皇ユリウス2世の主導により、ヴェネツィア、スイス連邦、スペインと「対仏神聖同盟」を結成
- 1511年10月11日-09:00|日本|京都府|永正8年9月20日|山城国北方土一揆蜂起し徳政を要求
- 1511年10月22日-09:00|日本|愛知県|永正8年10月|<任命>尾張国守護「斯波義達」(~永正14(1517)年8月退任)
- 1511年10月22日-09:00|日本|宮城県石巻市|永正8年10月|陸奥/葛西宗清・重清(晴重)、江刺・薄衣氏の援軍を得て山内首藤貞通を討つ(永正の戦い)
- 1511年11月 05:00|キューバ/スペイン| |||<就任>スペイン植民地キューバ 副総督「デ・エスコ・ベラスケス・デ・ケアル」(~1524年9月没)
- 1511年11月9日-09:00|日本|静岡県|永正8年10月19日|武衛尾張守護斯波義達が遠江奪還へ出馬し、斯波氏に属する勢力、刑部や井伊谷、三岳城などを拠点に今川氏に侵攻
- 1511年11月13日 00:00|イギリス| |||イギリス王ヘンリー8世が対仏神聖同盟に参加
- 1511年11月14日-09:00|日本|静岡県富士宮市|永正8年10月24日|駿河の大石寺(富士宮市上条)御影堂焼失
- 1511年11月23日-05:30|インド| |||<再位>ゲジャラート・スルタン朝「ムザファール・シャー2世」(~15260405死去)
- 1511年11月23日-05:30|インド| |||<死去>ゲジャラート・スルタン朝スルタン「マフムド・シャー1世」
- 1511年11月28日 04:00|プエルトリコ/スペイン| |||<就任>プエルトリコ副知事代理「Juan Ceron」(2期目~1512年)
- 1511年11月28日-09:00|日本|神奈川県鎌倉市|永正8年11月8日|伊勢宗瑞と扇谷上杉家上杉朝良の間で和睦が成立
- 1512年-08:00|マレーシア| |||<死去>パハン・スルタン「アフドゥル・ジャミル・シャー」
- 1512年-08:00|マレーシア| |||トレンガヌはジョホールの一部
- 1512年-08:00|インドネシア/ポルトガル| |||バンダ諸島がアントニオ・ダ・ブレウによって発見、ポルトガルに併合
- 1512年-07:00|カンボジア| |||<即位>カンボジア王国国王「スレイ・チェッタ」(~1521年死去)
- 1512年-05:30|インド| |||<即位>クトゥブ・シャーヒー朝スルタン「スルタン・アリー・クトゥブ・シャー」(~1543年死去)
- 1512年-05:30|インド| |||グイジャヤナガル王国がライチュルを攻略
- 1512年-05:30|インド| |||ハイドラバード 国はゴルコンダ王国の一部(~1687年)
- 1512年-05:00|ウズベキスタン/トルクメニスタン/タジキスタン| |||<即位>ブハラ・ハン国シャイバニー朝ハン「クチュクジン・ハン」アフル=ハイルの子(~1531年)
- 1512年-04:00|ロシア| |||<即位>カシモフ・ハン国ハン「シャイフ・アウリヤール」ハフティヤール・スルタン(大オルダのアフマト・ハンの弟)の子(~1516年)
- 1512年-03:00|サウジアラビア| |||<即位>メッカ・アミール「Abu Numayy2世 bin Barakat」(~1566年)
- 1512年-02:00|ギリシャ/イタリア| |||<就任>ヴェネツィアのカンデリア公「ルイジ・カペッロ」(未着任~7.16没)

1530迄 (2001件)

1512年-02:00|トルコ| |||<就任>オスマン帝国大宰相「ハセクザード・アフメド・パシャ」(~15141128)
1512年-02:00|ギリシャ/トルコ| |||カステロツィ島はオスマン帝国の一部(シエザール・イ・バル・イ・セイトのイヤレトの一部)
1512年-01:00|スペイン| |||<死去>4代メナシトニア公「エンリケ・ペレス・デ・グスマン・イ・フェルナンデス・デ・ベラスコ」
1512年-01:00|スペイン| |||<就任>5代メナシトニア公「アロンソ・ペレス・デ・グスマン・イ・デ・グスマン=ニガ」(~1549年死去)先代の弟
1512年-01:00|クロアチア| |||<就任>クロアチアとスラヴォニアとダルマチアのハン「イムレ・ペレニイ」(~1513年)
1512年-01:00|ポスニア・ヘルツェゴビナ/トルコ| |||<就任>ポスニア総督「ハトゥム・シナン・ベイ」(~1513年)
1512年-01:00|スペイン/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領セウタ提督「Pedro de Meneses」(1期目~1517年)
1512年-01:00|スペイン| |||<就任>リパゴルザ伯「Alfonso」(~1533年)
1512年-01:00|クロアチア| |||<即位>ポルツァ大公「イワン・アウグスティン・ウイッチ・ウエリキ・クネス」(~1537年5月)
1512年-01:00|アントラ/スペイン| |||アントラ公国がアラゴン王国へ併合(~1513年)
1512年-01:00|チャド| |||バギルミ王国成立
1512年 00:00|サントメ・プリンシペ/ポルトガル| |||<就任>サントメ植民地司令官「Joao de Melo da Camara」(~1516年)
1512年 01:00|カーボベルデ/ポルトガル| |||<就任>カーボベルデ諸島のコレクター治安判事「マリスのアフォンソ・ロペス」(~1513年)
1512年 04:00|ドミニカ共和国| |||サント・ドミンゴで天然痘の大発生。その後の二年間で先住民人口の三分の一の命を奪う
1512年 05:00|タークス・カイコス諸島/スペイン| |||スペインのポンセ・デ・レオンは、グランド・ターク島を発見
1512年1月-01:00|スウェーデン| |||<就任>スウェーデン王国摂政「エリク・アルヴァ・イトソン・トロレ」(~15120723)
1512年1月-01:00|イタリア/フランス/スペイン| |||フランス王軍のガストンド・フォア、ポロニヤを奪還するため包囲したスペイン王軍を攻撃し、打ち破る
1512年1月19日-09:00|日本|大阪府|永正9年|<任命>和泉下半国守護「細川高基」(~大永3(1523)年)
1512年1月19日-09:00|日本|神奈川県|永正9年|<交替>相模国守護「上杉憲房」⇒「三浦義同」(~永正13年7月11日(15160809)死去)
1512年1月19日-09:00|日本|静岡県浜松市中区|永正9年|遠江吉良家臣の大河内貞綱が、今川方の曳馬城(浜松城)(城主朝比奈泰熙)を攻撃、占領
1512年1月19日-09:00|日本|兵庫県|永正9年|<交替>但馬・備後国守護「山名致豊」隠居⇒「山名誠豊」(~大永8年3月14日(15280403)死去)
1512年1月19日-09:00|日本|愛知県豊川市|永正9年1月|真木宗成、武運山長谷寺再建
1512年1月19日-09:00|日本|岡山県|永正9年1月|<死去>備中国守護「細川之持」⇒「細川国豊」(~不詳)⇒「細川九郎二郎某」(~永正12(1515)年自害)
1512年1月19日-09:00|日本|徳島県|永正9年1月|<死去>阿波国守護「細川之持」⇒「細川持隆」(~天文22年6月17日(15530727)殺害される)
1512年1月23日-02:00|ルーマニア| |||<死去>ワラキア総督・領主「ヴラド5世若候」
1512年1月23日-02:00|ルーマニア| |||<就任>ワラキア総督・領主「ネグエ・バサラフ5世」(~15210915死去)
1512年1月28日 05:00|キューバ/スペイン| |||ペラスケス、スペイン兵300名を引き連れ、グアンタモモ北岸のヌエストラ・セニョーラ・デ・アスンシオン・デ・ハバコアに上陸、イスパニョラ島のグアラハス族の酋長アトゥエイは現地の酋長を語らい抵抗
1512年2月-05:00|インド洋地域/ポルトガル| |||ポルトガルのペドロ・マスカレーニャス大尉によって発見され、後援者のドム・ガルシア・デ・ノロニヤに敬意を表して、イルハ・デ・ドム・ガルスアと名付けられた
1512年2月2日 05:00|キューバ/スペイン| |||アトゥエイ、内通者の手引きによりスペイン軍に捕えられ、生きながら焼き殺される
1512年2月18日-09:00|日本|静岡県|永正9年2月|連歌師宗長65歳、宇治茶の実を植える(静岡の茶の栽培の始め)
1512年2月19日-01:00|イタリア/フランス| |||フランス王軍のガストンド・フォア、イタリア北部の「ブレシアの戦い」でヴェネツィア軍を破る
1512年2月22日-01:00|イタリア| |||アメリカ・ヴェスプッチ死去/60歳(誕生:14510309)。イタリアの航海士
1512年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「アントレ・ジャンギ」「マリノ・ディ・セブルス」
1512年4月6日-01:00|イタリア| |||ベネツィア、マシミアンと同盟
1512年4月10日 00:00|イギリス| |||<就任>ロズー公(スコットランド王位の法定推定相続人)・14代キャリック伯「ジェームズ・ステュアート」先代の弟(~15130921スコットランド王ジェームズ5世として即位)
1512年4月10日-09:00|日本|鹿児島県南さつま市|永正9年3月24日|薩摩国島津氏の分家相州家2代当主・島津運久は調所恒房の阿多城を攻略/島津運久は相州家を島津忠良に譲る
1512年4月11日-01:00|フランス| |||<死去>ヌール公・エタン・伯「ガストンド・フォア」ヌールは再び王領となった
1512年4月11日-01:00|フランス| |||<就任>エタン・伯「Anna」ブルターニュ公(~15140109死去)
1512年4月11日-01:00|イタリア/フランス/スロベニア/バチカン| |||フランス王軍のガストンド・フォア、イタリア北東部の野戦「ラヴェンナの戦い」で「対仏神聖同盟」軍を破り、ラヴェンナも陥落させる/教皇・スペイン軍を破る/フランス王軍のガストンド・フォアは戦死
1512年4月11日-09:00|日本|福井県|永正9年3月25日|<死去>越前国守護「(朝倉氏第9代当主)朝倉貞景」40歳⇒「朝倉孝景」が継ぐ(~天文17年3月22日(15480430)死去)
1512年4月16日-09:00|日本|秋田県|永正9年4月|出羽/武藤氏と庶子砂越氏が戦い、武藤氏が千余人を失う
1512年4月16日-09:00|日本|宮城県石巻市|永正9年4月|陸奥/葛西宗清・重清(晴重)、再び山内首藤氏を討つ
1512年4月17日-09:00|日本|栃木県宇都宮市|永正9年4月2日|第一次宇都宮城の戦い/宇都宮成綱が芳賀景高を殺害/芳賀一族が宇都宮氏に反乱
1512年4月21日-09:00|日本|静岡県浜松市北区|永正9年4月6日|斯波義達が気賀および下気賀に大規模な攻撃を仕掛けたが勝敗は決まらない
1512年4月24日-02:00|トルコ| |||<死去>オスマン帝国第8代スルタン「バヤズィト2世」

1530迄 (2001件)

1512年4月24日-02:00|トルコ| |||<即位>オスマン帝国第9代スルタン「セリム1世」先代ハヤズィト2世の子(〜15200921死去)
1512年5月-02:00|リトアニア| |||<就任>リトアニア陸軍元帥(首相)「スタニスロフ・アス・ピョートル・イッチ」(〜1513年9月没)
1512年5月1日-09:00|日本|北海道|永正9年4月16日|アイヌが蜂起し、箱館、志濃里、与倉前の3館が陥落
1512年5月17日-09:00|日本|静岡県|永正9年閏4月2日|大河内貞綱、尾張国守護斯波義達らと共に遠江国を侵略/
駿河国守護今川氏親の将朝比奈泰熙これを破る
1512年5月26日-02:00|トルコ| |||<死去>オスマン帝国先代(8代)スルタン「ハヤズィト2世」
1512年6月2日 04:00|ポルトガル/スペイン| |||<就任>ポルトガル副知事「Rodrigo de Moscoso」(〜1513.2)
1512年6月14日-09:00|日本|新潟県|永正9年5月|揚北衆の鮎川氏が蜂起するが鎮圧
1512年6月14日-09:00|日本|山形県酒田市|永正9年5月|東禅寺合戦/出羽の大宝寺城主武藤澄氏が砂越城主砂越
氏雄と東禅寺で戦い、武藤方が敗れて千余名の将兵を失う
1512年6月16日-01:00|イタリア| |||<退位>ミラノ公「ルイ12世」
1512年6月20日-09:00|日本|京都府京都市|永正9年5月7日|<死去>金工家、後藤祐乗(73歳)
1512年6月24日-02:00|モザンビーク/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領ソファラ・キャプテン「シモン・デ・ミランダ・デ・アゼベド」(〜1515
0331)
1512年6月28日 05:00|キューバ/スペイン| |||ベラスカス、キューバ南岸の入り江に上陸。国王の守護聖人の名によりサンチアゴ
と名付ける
1512年6月29日-01:00|イタリア| |||<就任>ジェノヴァ共和国ドージェ「ジョヴァンニ・デ・メディチ」(〜15130525教皇に選出され
たためローマに移る)
1512年7月13日-09:00|日本| ||永正9年6月|豊原統秋「體源抄」を執筆
1512年7月13日-09:00|日本|愛知県名古屋市中区|永正9年6月|尾張国真福寺の庭儀灌頂図が作成される
1512年7月13日-09:00|日本|静岡県牧之原市|永正9年6月|良知助左衛門、界巖繁越開山に、前玉山岩昌寺(榛原町
坂部)開基
1512年7月16日-02:00|ギリシャ/イタリア| |||<死去>ヴェネツィアのカンティエ公「ルイジ・カペッロ」
1512年7月23日-01:00|スウェーデン| |||<就任>スウェーデン王国摂政「小ステン・ストゥーレ」(〜15200203)
1512年7月23日-09:00|日本|埼玉県大里郡寄居町|永正9年6月中旬|豊原統秋「體源抄」を著す
1512年7月24日-01:00|スペイン| |||スペインがパンプナを占領し、ナバラ王国を併合
1512年7月29日-09:00|日本|埼玉県大里郡寄居町|永正9年6月17日|上杉憲房、鉢形城を攻撃し上杉顕実を追い出
す
1512年7月30日-09:00|日本|茨城県古河市|永正9年6月18日|<交替>古河公方「(2代)足利政氏」隠居⇒「(3代)足利
高基」が継ぐ(〜天文4年10月8日(15351103)死去)
1512年9月-01:00|イタリア/スペイン| |||スペイン軍によってフィレンツェ共和国が崩壊
1512年9月10日-09:00|日本|神奈川県藤沢市|永正9年8月|伊勢宗瑞が上杉朝良を大庭城に破る
1512年9月10日-08:00|中国| ||明・正徳7年8月|明が劉六・劉七の乱を平定、華北一帯で2年にわたった大乱に幕
1512年9月13日-09:00|日本|徳島県|永正9年8月4日|阿波の穴喰浦に津波が押し寄せ、3700人が死亡
1512年9月14日-01:00|イタリア| |||<就任>フィレンツェのシニョーレ「ジョヴァンニ・デ・メディチ」(〜15130309教皇(レオ10世)に選出さ
れたためローマに移る)
1512年9月21日-09:00|日本|神奈川県伊勢原市|永正9年8月12日|伊勢宗瑞が相模中郡へ侵攻、三浦義同の岡崎城
を攻撃、占領/内藤氏の津久井城も支配下に置く
1512年9月25日-09:00|日本|岐阜県|永正9年8月16日|斎藤彦四郎、尾張から美濃に攻め入り、敗死
1512年9月29日-09:00|日本/韓国/朝鮮| ||永正9年8月20日|李朝が日本と壬申和条を締結/三浦の乱以来途絶え
ていた日本との関係を回復
1512年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「レオナルド・デ・ジョヴァンニ・ベルツィ」
「サンマリノ・デ・イ・アント・レ・
・ティ」
1512年10月9日-09:00|日本| ||永正9年8月30日|室町幕府が粗悪な銭の流通や使用を禁止(撰銭令)
1512年11月1日-01:00|バチカン| |||<公開>「シスター・礼拝堂の天井画」ミケランジェロのフレスコ画
1512年11月9日-09:00|日本|神奈川県鎌倉市|永正9年10月|伊勢早雲、三浦氏の押えとして玉縄城を築く
1512年11月13日-02:00|キプロス| |||<死去>聖ヨハネ騎士団グランドマスター「エメリ・ダンボワーズ」
1512年11月14日-09:00|韓国/朝鮮| |||<就任>朝鮮国領議政「柳順汀」(〜15130126)
1512年11月19日-01:00|オーストリア/フランス| |||神聖ローマ皇帝マクシミリアン1世、フランスを裏切り「対仏神聖同盟」への参加を表
明
1512年11月22日-02:00|キプロス| |||<就任>聖ヨハネ騎士団グランドマスター「ギ・ド・ブランシュフォール」(〜15131124ロードス島に向
かう途中で死亡)
1512年12月17日-09:00|日本|鳥取県|永正9年11月9日|<改名>将軍「足利義尹」⇒「足利義植」
1512年12月27日-01:00|スペイン| |||スペインで、インディオを奴隷化から保護するブルゴス法が制定される
1512年12月29日-01:00|イタリア/フランス| |||「ミラノ公国」前公の子マクシミリアン・スフォルツァが、フランス勢力を駆逐し、イタリア北部のミ
ラノに入城
1513年-05:30|インド| |||<死去>マヨール王国(チンヤ朝)国王「チャマ・ラージヤ2世」
1513年-05:30|スリランカ| |||<即位>コッテ王国国王「ウイジャヤバハ 77世」(〜1521年)
1513年-05:30|インド| |||<即位>マヨール王国(チンヤ朝)国王「チャマ・ラージヤ3世」(〜15530217死去)
1513年-05:00|モルデイグ| |||<即位>ヒルリ朝スルタン「Ali 3世 Aanandha」(〜同年殺害される)⇒「Kalu Mohamed Dhammar
u Bavana」(〜1529年)
1513年-04:00|モリシャス/ポルトガル| |||ポルトガルのペドロ・デ・マスカレンハス大佐がモリシャス島を再発見し、この群島をイルハス・マ

1530迄 (2001件)

スカンハス(マスカン諸島)と名付けた

- 1513年-03:30|イラン| |||<即位>ホルムズ・シャー「トラウン・シャー4世」(~1521年没)
- 1513年-02:00|ギリシャ/イタリア| |||<就任>ヴェネツィアのカンデリア公「ルイジ・マリビエロ」(~1514年死去)
- 1513年-02:00|トルコ| |||オスマン朝総督ビリー・レイスが古地図を著す
- 1513年-01:00|クロアチア| |||<就任>クロアチアとスラヴォニアとダルマチアのバン「ペタル・ペリスラヴィッチ(ペーター・ペリスロ)」(~15200520没)
- 1513年-01:00|マルタ/イタリア| |||<就任>シチリア領マルタ副総督「Giacomo Falsone」(~1514年)
- 1513年-01:00|スペイン| |||<就任>スペイン領メリタ総督「Fernando de Abreu」(~1518年)
- 1513年-01:00|リヒテンシュタイン| |||<就任>ファートゥーツ執行官「ゲオルク・クレラー」(~1515年)
- 1513年-01:00|ボスニア・ヘルツェゴビナ/トルコ| |||<就任>ボスニア総督「ユヌス・ベイ」(~15150414)
- 1513年-01:00|モンテネグロ/トルコ| |||<就任>モンテネグロのサンジャク・ベイ「イスタンブル・ベグ・イヴァン・ベグ・ウイッチ」(~1528年)
- 1513年-01:00|スペイン| |||スペイン王室がインディアスに搬入される黒人奴隷に課税を開始
- 1513年-01:00|イタリア| |||マッキアベリが「君主論」を執筆
- 1513年 00:00|イギリス| |||<死去>2代ロズ・伯「ジョージ・レスリー」
- 1513年 00:00|イギリス| |||<就任>17代マー・伯(デ・ジュリ)「ジョン・アースキン」(~1552年)
- 1513年 00:00|イギリス| |||<就任>3代ロズ・伯「ウィリアム・レスリー」先代の弟(~同年死去)⇒4代ロズ・伯「ジョージ・レスリー」先代の息子(~15581124死去)
- 1513年 00:00|アイスランド/デンマーク| |||<就任>アイスランド(南と西)支配者「ハンス・エッケルトソン」(1回目~1517年)
- 1513年 00:00|イギリス| |||<就任>ソールズベリー伯「女伯マーガレット・ホール」(~1539.5剥奪)
- 1513年 00:00|カナダ/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル・ゴースト長官「アフォンソ・カルデイラ」⇒「アントニオ・フロイス」
- 1513年 00:00|ポルトガル/イメン| |||ポルトガル総督アルブケルケがアデン占領に失敗
- 1513年 01:00|カーボベルデ/ポルトガル| |||<就任>カーボベルデ諸島のコレクター治安判事「ペドロ・デ・キマンス」(~1517年)
- 1513年 05:00|パナマ/スペイン| |||<就任>カステリャ・デ・ロドリゴ・アリアス・デ・アビラ」(1回目~1520年)
- 1513年 05:00|パナマ/スペイン| |||カステリャ・デ・ロドリゴ・アリアス・デ・アビラと統合しカステリャ・デ・ロドリゴ・アリアス・デ・アビラ行政区(パナマのスペイン植民地)となる(~1519年)
- 1513年 05:00|キューバ/スペイン| |||ペラスケス, カナで原住民を大虐殺/疫病の流行もあり30万の原住民抹殺
- 1513年1月7日-09:00|日本|鳥取県|永正9年12月|<死去>因幡国守護「山名豊重」殺害される⇒弟の「山名豊頼」が継ぐ(~永正12(1515)年)
- 1513年1月9日-01:00|イタリア| |||<即位>ミラノ公「マッシミリアーノ・スフォルツァ」ルドヴィコの息子(~15151005退位)
- 1513年1月27日 06:00|アメリカ/プエルトリコ| |||カリブ族がサンファン島(プエルトリコ)を襲撃
- 1513年2月 04:00|プエルトリコ/スペイン| |||<就任>プエルトリコ副知事「Cristobal de Mendoza」(~15150715)
- 1513年2月6日-09:00|日本|静岡県|永正10年|斯波義達、反攻を図って遠江の国人である大河内貞綱や井伊直平と共に遠州に進撃したが、氏親配下の武将・朝比奈泰以と飯尾賢運の前に大敗
- 1513年2月6日-09:00|日本|神奈川県|永正10年1月|三浦介義同、鎌倉辺から相模野にかけて北条勢を攻めて敗退
- 1513年2月9日-04:00|レユニオン/ポルトガル| |||ポルトガルのインド植民地総督「ペドロ・デ・マスカレーニャス」が公式に発見, マスカレーニャ島と命名
- 1513年2月20日-01:00|デンマーク/ノルウェー/ドイツ| |||<死去>デンマーク王・ノルウェー王兼シュレースヴィヒ公・ホルシュタイン公「ハンス1世」58歳
- 1513年2月20日-01:00|デンマーク| |||<就任>デンマーク摂政「ルドヴィグ・グンナーセン」国務院議長(~7.22)
- 1513年2月20日-01:00|デンマーク/ドイツ| |||<即位>デンマーク王・シュレースヴィヒ公「クリスチャン2世」ハンスとクリスティーナ・フォン・ザクセンの次男(⇒7.22.兼ノルウェー王~15230413廃位~15590125死去)
- 1513年2月20日-01:00|ノルウェー| |||<即位>ノルウェー王「エーナ・ロス大司教エリック・ヴァルケントルフ(国務院議長)」(~7.22)
- 1513年2月21日-01:00|バチカン| |||<死去>第216代ローマ教皇「ユリウス2世」69歳(誕生1443年)
- 1513年3月6日-09:00|日本|神奈川県藤沢市|永正10年1月29日|相模の清浄寺が三浦義同と伊勢宗瑞の戦いの兵火で全山焼失
- 1513年3月9日-01:00|バチカン| |||<就任>第217代ローマ教皇「レオ10世」(~15211201死去)
- 1513年3月9日-01:00|イタリア| |||<就任>フィレンツェのシニョレ「ジュリアーノ・デ・メディチ(ヌル公爵)」(~15160317死去)
- 1513年3月10日 00:00|イギリス| |||<死去>13代オックスフォード・伯「ジョン・ド・ウァー」
- 1513年3月10日 00:00|イギリス| |||<就任>14代オックスフォード・伯「ジョン・ド・ウァー」先代の甥(~15260714死去)
- 1513年3月14日-01:00|イタリア/フランス| |||ヴェネツィア共和国が「対仏神聖同盟」を離脱し、フランス王ルイ12世と和睦
- 1513年3月23日-01:00|イタリア| |||ベネツィア, プロダ条約
- 1513年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「クリストファー・デ・ジョーロム」「クリストファー・マルテッリ」
- 1513年4月2日 07:00|メキシコ| |||ホンセ・デ・レオン, サウグステインに上陸. 復活祭(パスクワ・デ・フロリダ)の日に上陸したことからこの地をフロリダと名付ける
- 1513年4月6日-09:00|日本|静岡県掛川市|永正10年3月|朝比奈備中守、下総総寧寺8世越翁を請じて開山とし万年山乗安寺(南西郷)を開基
- 1513年4月6日-09:00|日本|静岡県浜松市西区|永正10年3月|曹洞宗恵徳庵(篠原町)の名が天照山萬松院に改まる
- 1513年4月11日-09:00|日本|静岡県静岡市葵区|永正10年3月6日|<死去>光鏡院(瀬名)開山恵雲用輪
- 1513年4月12日-09:00|日本|静岡県浜松市|永正10年3月7日|<第1次引馬城の戦い>今川上總守氏親が引間城主大河内貞綱を攻め、斯波治部大輔義達が大河内久綱に加勢、陥城
- 1513年4月18日 06:00|アメリカ/スペイン| |||プエルトリコ総督「ホセ・デ・レオン」, 第1回目のフロリダ探検. 花が咲き乱れていることから「フロリダ」と命名

1530迄 (2001件)

1513年4月22日-09:00|日本|滋賀県甲賀市|永正10年3月17日|將軍足利義植が大内義興・細川高国の専横に怒り近江甲賀郡へ出奔
1513年4月30日 00:00|イギリス| |||<死去>サフォーク公「エドムント・ド・ラ・ポール」処刑される
1513年5月-01:00|フランス| |||ルイ12世軍は、ミラノを奪回すべくイタリアに侵攻し、アレクサンドリアなどを難なく制圧
1513年5月6日-09:00|韓国/朝鮮| |||<就任>朝鮮国領議政「成希顔」(~8.27)
1513年5月15日-09:00|日本|愛知県岡崎市|永正10年4月11日|<死去>三河国大樹寺開山勢誉愚底
1513年5月15日-09:00|日本|静岡県掛川市|永正10年4月11日|和光山永江院(下垂木)3世然室興廓、靈光山円蔵寺(下垂木)開山
1513年5月16日-09:00|日本|愛知県西尾市|永正10年4月12日|大河内信綱、三河国八幡社の社殿を再興
1513年5月21日-09:00|日本|愛知県|永正10年4月17日|<死去>前尾張国守護「斯波義寛」57歳
1513年6月6日-01:00|イタリア/フランス/スイス| |||フランス軍司令官ルイ2世・ド・ラ・トレモイユが指揮するフランス軍、イタリア北東部の「ヴァーラの戦い」でスイス連邦軍に敗れ、「ミラノ公国」から追い出される
1513年6月8日-09:00|日本|愛知県|永正10年5月5日|尾張守護代織田五郎達定が斯波義達と合戦し生害。侍衆三十余人討死
1513年6月13日-09:00|日本|静岡県浜松市天竜区|永正10年5月10日|秋葉山瑞雲院(春野町堀之内)2世助岑祥佐が南林山意昌庵を開山
1513年6月20日-01:00|イタリア| |||<就任>ジェノヴァ共和国ドージェ「オットアヴィアノ・フレゴリー」(~15150907フランスが占領)
1513年7月3日-09:00|日本|京都府京都市左京区|永正10年6月|狩野元信「鞍馬寺縁起絵巻」成る
1513年7月9日-09:00|日本|静岡県浜松市天竜区|永正10年6月7日|久頭郷城主奥山大膳亮良茂、山住神社(浜松市天竜区水窪町山住)社殿造立
1513年7月22日-01:00|デンマーク/ドイツ| |||<死去>シュレースヴィヒ公「ハンス」
1513年7月22日-01:00|デンマーク| |||<就任>デンマーク王国執事「ニールス・ローゼンクランツ・ティル・ビョルホルム」(~15161102没)
1513年7月22日-01:00|ルウェー| |||<即位>ルウェー王「クリスチャン2世」デンマーク王・シュレースヴィヒ公(1回目~15240805)
1513年7月29日-09:00|日本|北海道松前郡松前町|永正10年6月27日|アイヌが蜂起し、松前大館を攻撃/守護相原季胤が自害
1513年8月16日-01:00|フランス/ドイツ/イギリス| |||イギリスのヘンリー8世と神聖ローマ帝国皇帝マクシミリアン1世の両軍が北フランスのキンガトでフランス軍を破る
1513年8月24日-09:00|日本|新潟県上越市|永正10年7月24日|上杉定実側の宇佐見房忠が小野城に籠もり為景が小野城を攻めた際に、定実側は春日山城を奪う
1513年8月31日-09:00|日本|静岡県浜松市|永正10年8月|遠州豊田郡岩水寺が再建される
1513年8月31日-09:00|日本|静岡県焼津市|永正10年8月|三輪津島神社(焼津市上小田)創立
1513年9月-02:00|リトアニア| |||<死去>リトアニア陸軍元帥(首相)「スタニスラフ・アス・ビャトワ・イツ」
1513年9月-02:00|リトアニア| |||<就任>リトアニア陸軍元帥(首相)代行「グリゴリ・ユス・アステイカス」(3回目~15140409)
1513年9月3日 00:00|アイルランド/イギリス| |||<死去>アイルランド 副卿「キルデア伯爵ジェラルド・フィッツジェラルド」
1513年9月3日 00:00|モロッコ/ポルトガル| |||アザモルをポルトガルが支配
1513年9月4日 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド 副卿代行「キルデア伯爵ジェラルド・フィッツジェラルド」(1回目⇒1513年12月、副卿~1515年5月)
1513年9月7日-01:00|イタリア/フランス/オーストリア| |||ウエネツィア軍、ライモン・デ・イ・カルドーナ指揮の神聖同盟軍に、ウイエンツァ近郊ルビで大激戦の末、破られる/ウエネツィア軍総指揮官ジャンパオロ・バリオーニなど捕虜となる
1513年9月9日 00:00|イギリス| |||<死去>2代モートン伯「ジョン・ダグラス」
1513年9月9日 00:00|イギリス| |||<死去>4代エロ伯「ウィリアム・ヘイ」
1513年9月9日 00:00|イギリス| |||<死去>初代モントローズ伯「ウィリアム・グラハム」
1513年9月9日 00:00|イギリス| |||<死去>第2代アーガイル伯「アーチボルド・キャンベル」
1513年9月9日 00:00|イギリス| |||<死去>第2代ホズウェル伯「アダム・ヘッパーン」
1513年9月9日 00:00|イギリス| |||<死去>スコットランド王「ジェームズ4世」イングランド北部に侵入し、イングランド軍と戦い死亡/40歳(誕生14730317)
1513年9月9日 00:00|イギリス| |||<死去>スコットランド 大法官「セントアンドリュース大司教アレクサンダー・スチュアート」
1513年9月9日 00:00|イギリス| |||<就任>3代モートン伯「ジェームズ・ダグラス」(~1548年死去)
1513年9月9日 00:00|イギリス| |||<就任>5代エロ伯「ウィリアム・ヘイ」(~15220728死去)
1513年9月9日 00:00|イギリス| |||<就任>7代クロフォード伯「アレクサンダー・リンジー」(~1517.5死去)
1513年9月9日 00:00|イギリス| |||<就任>第2代モントローズ伯「ウィリアム・グラハム」(~15710524死去)
1513年9月9日 00:00|イギリス| |||<就任>第3代アーガイル伯「コリン・キャンベル」(~15291009死去)
1513年9月9日 00:00|イギリス| |||<就任>第3代ホズウェル伯「ハトリック・ヘッパーン」(~1556.9死去)
1513年9月9日 00:00|イギリス| |||<即位>スコットランド王「ジェームズ5世」ジェームズ4世とマーガレット・テューダーの息子(~15421214死去30歳)
1513年9月23日-09:00|日本|大阪府|永正10年8月24日|畠山尚順、畠山義英を河内国に破り和泉国堺に放逐
1513年9月27日-12:00|太平洋/スペイン| |||スペインの探検家バスコ・ヌニェス・デ・バルブアが南海、太平洋を発見
1513年9月27日-09:00|日本| ||永正10年8月28日|<死去>覚円法親王(53歳)伏見宮貞常親王の皇子、真言宗の僧
1513年9月29日 00:00|イギリス| |||<就任>スコットランド 大法官「グラスゴー大司教(⇒15230605セントアンドリュース大司教)ジェームス・ビートン」(~15260724)
1513年9月29日 06:00|アメリカ| |||バルブア隊、太平洋岸に到達。サンミゲル湾と名付ける
1513年9月29日-09:00|日本|新潟県|永正10年9月|越後守護の上杉定実が長尾為景の傀儡であることに不満を持

1530迄 (2001件)

ち、蜂起/弟である上条氏の上条定憲や揚北衆と連合し、一時春日山城を占拠するが失敗に終わる
1513年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「アントニオ・ディ・ベネット」「ベネット・ディ・マリノ・ベネッティニ」
1513年10月4日-09:00|日本|島根県雲南市|永正10年9月6日|出雲守護の尼子経久・政久父子が阿用城を攻撃/政久(26)が戦死
1513年10月27日-09:00|日本|神奈川県三浦市|永正10年9月29日|<新井城の戦い>上杉朝興の武将太田資康、早雲に対し新井城に籠る三浦義同を救援の為出陣するが、三浦で討死
1513年10月29日-09:00|日本|静岡県掛川市|永正10年10月|朝比奈備中守、法華堂を建立し、身延山13世宝聚院日伝上人を請じて常住山正願寺(掛川市仁藤)開山
1513年11月-06:30|ミャンマー| |||<即位>ムラウー国王「ガザパティ」(~1515年1月)
1513年11月4日-09:00|日本|京都府京都市|永正10年10月7日|<就任>関白「近衛尚通」(~翌年8月24日)
1513年11月15日-02:00|キプロス| |||<就任>聖ヨハネ騎士団グランドマスター「ファブリス・デル・カレット」(~15210110没)
1513年11月16日-01:00|フランス/スロベニア| |||フランス王ルイ12世、スペイン王フェルナンド2世と和平を結ぶ
1513年11月19日-09:00|日本|新潟県|永正10年10月22日|為景は春日山城を攻め、上杉定実を自らの館に幽閉
1513年11月23日-09:00|韓国/朝鮮| |||<就任>朝鮮国領議政「宋軼」(~15140806)
1513年11月24日-02:00|キプロス| |||<死去>聖ヨハネ騎士団グランドマスター「ギ・ド・フランシュオール」ロードス島に向かう途中で死亡
1513年12月31日-09:00|日本|鹿児島県鹿児島市|永正10年12月5日|大川寺の開山、大通徳光禪師(竜室)没す
1514年-08:00|インドネシア| |||<即位>アチ王国スルタン「アリムハット・シャー」(~15300807死去)
1514年-08:00|インドネシア| |||<即位>サトラー・サイ王国第20代スルタン「ザイナル・アビディン4世」(~1517年)
1514年-08:00|インドネシア| |||<即位>ジャバロ・スルタン「Kaicil Yusuf」(~1521年)
1514年-05:30|インド| |||<即位>カシュミール・スルタン朝スルタン「Muhammad Shah」(~1515年)
1514年-03:30|イラン| |||<就任>サファヴィー朝宰相「ミザ・カマル・アルディン・シャー・セイン・イスファハニ」(~15230415)
1514年-02:00|ギリシャ/イタリア| |||<死去>ヴェネツィアのカンテリア公「ルイジ・マリチエロ」
1514年-02:00|ギリシャ/イタリア| |||<就任>ヴェネツィアのカンテリア公「ルイジ・エモ」(~1516年)
1514年-02:00|キプロス/イタリア| |||<就任>ヴェネツィアのキプロス副官「トナート・ディ・アントニオ・マルチェッロ」(~1516年)
1514年-02:00|トルコ| |||<即位>ラマタニス・ハン「Selim・ベイ」(~1516年)
1514年-02:00|トルコ| |||<復位>アイユーブ朝(ヒン・カイファ)アミール「Salih Khalil 2世」(2期目~1520年)
1514年-01:00|マルタ/イタリア| |||<就任>シチリア領マルタ副総督「Manfredo Caxaro」(~1516年)
1514年-01:00|セルビア| |||<即位>亡命セルビア専制公「ステファン・ベリスラヴィッチ」イヴァン・エトの息子(~1521年退陣)
1514年-01:00|イタリア| |||<即位>トレント司教公「Bernardo 3世 Clesio」(~1539年)
1514年 00:00|イギリス| |||<死去>9代サザランド伯「ジョン・ド・モラヴィア(ジョン・サザランド)」
1514年 00:00|イギリス| |||<就任>10代サザランド女伯「エリザベス・ゴートン(エリザベス・サザランド)」(~1535年)
1514年 00:00|アイスランド/デンマーク| |||<就任>アイスランド支配者「ソーレン・アンデルセン・ルビナー・アウガースレフ」(~1515年)
1514年 00:00|イギリス| |||<就任>コンウォール公「ヘンリー」ヘンリー8世の子(~同年死去)
1514年 00:00|モリタニア/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領アルギン長官「ペドロ・ヴァス・デ・アルメイダ」(~11月)
1514年 00:00|モロッコ/ポルトガル| |||マザガンはポルトガルの所有物
1514年 05:00|ジャマイカ/スペイン| |||<就任>スペイン領サンティアゴ総督「フランスコ・デ・ガライ」(~1523年没)
1514年 05:00|キューバ| |||島の中央部に小規模な金鉱が発見される
1514年 05:00|パナマ/スペイン| |||パナマの総督としてペドラーリス・ダビラが着任
1514年1月 05:00|キューバ| |||パナマ地方の制圧に成功したナルバエス軍、プエルトリコでペラスカスと合流。キューバ制圧を完了
1514年1月9日-01:00|フランス| |||<死去>ブルターニュ公・エタン伯「アンヌ」36歳(フランス王ルイ12世の王妃, 1477~、36歳)
1514年1月9日-01:00|フランス| |||<即位>ブルターニュ公「クロード」フランス王ルイ12世とアンヌの長女(~15240720死去24歳)兼エタン伯(~1515年)
1514年1月9日-09:00|日本|三重県伊勢市|永正10年12月14日|<伊勢山田永正10年の大火>山田西河原より出火、千有余戸を焼き、焼死者を生じた
1514年1月26日-09:00|日本|愛知県豊橋市|永正11年|戸田憲光、祖戸田宗光の菩提寺として、大洞院喜山派4世光国舜玉を開山に仙寿山全久院(東田町東郷)開基
1514年1月26日-09:00|日本|静岡県菊川市|永正11年|法山宗益、曹洞宗洞谷山竜雲寺(菊川町西方)を開山
1514年1月26日-09:00|日本|静岡県菊川市|永正11年|和光山永江院(垂木)4世雪窓鳳積、竜昌山安興寺(小笠町赤土)開山
1514年2月1日 00:00|イギリス| |||<就任>ウスター伯「チャールズ・サマセット」3代サマセット公の非嫡出子(~15260415死去)
1514年2月1日 00:00|イギリス| |||<就任>サフォーク公「チャールズ・ブルトン」(~15450822死去)
1514年2月1日 00:00|イギリス| |||<就任>サリ伯「トマス・ハワード」(~15470128剥奪、1553.8復権~15540825死去)
1514年2月1日 00:00|イギリス| |||<退任>サリ伯「トマス・ハワード」
1514年2月8日 00:00|イギリス| |||<就任>ノーフォーク公「トマス・ハワード」先代の子(~15240521死去)
1514年2月10日-09:00|日本|新潟県南魚沼郡湯沢町|永正11年1月16日|越後守護上杉定実方の八条・石川・飯沼ら、上田荘六日市で長尾為景方の長尾房長・同房景・中条藤資らと戦い敗死
1514年2月11日-09:00|日本|新潟県上越市|永正11年1月17日|長尾為景が小野城を攻め、宇佐見房忠を岩手城に退却させた
1514年3月6日-09:00|日本|山形県山形市|永正11年2月10日|出羽長谷堂城の戦いで伊達種宗が最上義定を破る(長谷堂城の戦い)

1530迄 (2001件)

1514年3月11日-09:00|日本|山形県山形市|永正11年2月15日|伊達高宗(植宗)が羽州探題最上義定の長谷堂城を攻撃、勝利/伊達高宗(植宗)の妹を最上義定の継室とさせ、最上氏を支配下に置く

1514年3月15日-09:00|日本|滋賀県|永正11年2月19日|<第二次伊庭氏の乱(近江国)>伊庭貞隆は息子の貞説と共に再び出奔して、六角氏と対立する北近江の京極氏および浅井氏の支援を受けて南近江で六角高頼と戦った

1514年3月26日-09:00|日本|北海道松前郡松前町|永正11年3月|蠣崎信広の遺志を継承した光広・良広の父子は「小船180余艘」に乗って松前の大館へ移住/蠣崎氏は、上之国方面ばかりでなく、松前方面における覇権をも掌握

1514年3月27日-09:00|日本|山梨県|永正11年3月2日|武田軍が優勢となり、甲斐の今川軍は孤立したため、今川氏親が和睦を申し出る。大井信達も降伏し、信直と和睦/大井信達の娘(大井の方)が信直に嫁ぎ、正室となる

1514年4月1日-01:00|サマリノ| ||<就任>サマリノ共和国執政「アントニオ・デ・マウリツィオ・ルナルディ・ニ」 「フランチェスコ・ジヤンツ」

1514年4月1日-09:00|日本|静岡県浜松市北区|永正11年3月7日|<三嶽山の戦い>今川氏親1万2千3百、楞嚴寺に陣。先陣朝比奈十郎右京亮泰以大菩薩山に陣。先手の将句坂政久・句坂長能父子、大河内軍を笠井河原に撃退/斯波義達・井伊次郎直平5千3百、三嶽山城に楯籠

1514年4月4日-09:00|日本|静岡県浜松市北区|永正11年3月10日|<三嶽城の戦い>朝比奈泰以、豪雨の中、三嶽山を一昼夜攻め数百人討ち取る/逃げ遅れた兵・婦女子、城の西麓小藪で集団自害/塵畑新太郎、斯波義達を逃がし討死/義達は奥山城から清洲へ引く/井伊氏降参。今川氏親42歳、三嶽城城番に作手亀山城主奥平監物貞昌在番させる/井伊直平は、同族井平安直の庇護を受け逼塞

1514年4月9日-02:00|リトアニア| ||<就任>リトアニア陸軍元帥(首相)「ミカジ・ユス・ラトヴィイ」 (~1522年3月没)

1514年4月21日-09:00|日本|京都府京都市|永正11年3月27日|<死去>元関白「一乗冬良」(51歳)

1514年4月25日-09:00|日本|佐賀県|永正11年4月|千葉胤繁(胤治の子)・胤勝の父子は千葉本家(千葉喜胤)と組んで千葉胤繁(千葉分家)を悩ました東尚盛を急襲し撃破

1514年4月30日-01:00|ハンガリー| ||ハンガリーでジェルジ・ド・ジョヤの農民戦争

1514年5月4日-09:00|日本| ||永正11年4月10日|幕府が「故戦防戦」を禁止する法令を公布

1514年5月11日-09:00|日本|愛知県|永正11年4月17日|<死去>尾張・越前・遠江守護「斯波義寛」(58歳)

1514年5月15日-01:00|フランス| ||<就任>ブルネユ公(カペティエンヌ・ド・ヴァロワ=オルアン家)クロード [フランス王ルイ12世とアンヌの長女] (~15240720死去24歳), フランソワ1世 [アンゲレーム伯シャルルとルイズ・ド・サヴォワの1人息子] (~1524年。15470331死去52歳) 結婚し共同統治

1514年5月15日-09:00|日本|茨城県|永正11年4月21日|<死去>常陸小田領主「小田成治」⇒養子の「小田政治」が継ぐ (~天文17年2月22日 (15480331) 死去)

1514年5月18日-01:00|フランス| ||<即位>ブルネユ公「フランソワ1世」アンゲレーム伯シャルルとルイズ・ド・サヴォワの1人息子 (~15150101)クロードと共同統治

1514年6月18日-09:00|日本|新潟県|永正11年5月26日|長尾為景が上杉定実方の宇佐美房忠を頸城郡の岩手で討つ

1514年6月21日 05:00|キューバ| ||<パトリアス, 黄金を求め、これまでバルブアが親交を結んできた首長を一人残さず逮捕・拷問。原住民数十万が虐殺される

1514年6月23日-01:00|ドイツ| ||<死去>ブランシュヴァイク=グオルフェンビュッテル侯「ハインリヒ1世」戦死

1514年6月23日-01:00|ドイツ| ||<就任>ブランシュヴァイク=グオルフェンビュッテル侯「ハインリヒ2世」ハインリヒ1世の息子 (~15680611 死去)

1514年6月23日-09:00|日本|千葉県|永正11年6月|大将里見義通及び次将同弟実堯、安房北郡へ打ち入る

1514年6月26日 05:00|ペルー| ||<ビサ、協力者アルマゴロの部下にリマで暗殺される

1514年7月 05:00|キューバ| ||<ナバエス、ラ・ベリヤ・デ・サンクリストバル・デ・ラ・ハバナを建設/現在とは逆に島の南側、マヤヘケ川の河口、現在のバタバノ郊外

1514年7月22日-09:00|日本|栃木県|永正11年7月|<宇都宮錯乱>宇都宮成綱が芳賀氏の反乱を鎮圧

1514年8月1日-04:00|ロシア/リトアニア| ||<モレンスクがリトアニアからモスクワに併合

1514年8月7日-01:00|フランス/イギリス| ||フランス王ルイ12世、イングランド王ヘンリ8世と講和

1514年8月15日 05:00|キューバ| ||<ラス・カサスがキューバでインディオ救済を訴え、自身の奴隷を解放

1514年8月21日-09:00|日本|宮城県遠田郡美里町|永正11年8月2日|蛭田原の戦い/大田原出雲守ら那須氏家臣が那須資永(白河義永次男)に勝利

1514年8月22日-09:00|日本|栃木県大田原市|永正11年8月3日|大田原出雲守他に囲まれた福原城の那須資永(白河義永次男)軍は関・田川らが山田城に潜入し資久を連れ福原城内に戻り斬首/資永切腹し上那須氏滅亡

1514年8月23日-03:30|イラン/トルコ| ||<チャルトラン平原の戦いでオスマン朝の第9代君主セルム1世の軍がイスマイル1世のサファヴィー朝軍を破り、タブリーズを占領

1514年9月-08:00|中国| ||明・正徳9年|<即位>ヤルカント・ハン「スルタン・サイード」東トルキスタンに建国 (~1533年7月、死去)

1514年9月 00:00|ガーナ/ポルトガル| ||<就任>ポルトガル・ゴールドコースト長官「ヌノ・ヴァズ・デ・カステル・ランコ」 (~1516年9月)

1514年9月4日-09:00|日本|栃木県宇都宮市|永正11年8月16日|<竹林の合戦>佐竹義舜・岩城由隆両軍は、撤退する宇都宮勢を追いかけて、下野国宇都宮竹林で再び両軍は対峙/父・宇都宮成綱や同盟関係である結城氏の結城政朝、結城家臣の山川朝貞、水谷勝之などの援軍により、佐竹義舜・岩城由隆連合軍は撤退。劣勢ながらも合戦は宇都宮・結城連合軍の勝利に終わった

1514年9月6日-09:00|日本|静岡県浜松市中区|永正11年8月18日|<第2次引馬城の戦い>大河内貞綱、飯尾賢連を追ひ、弟巨海新左衛門尉道綱と引馬城に立て籠もる/今川氏親攻め、駿河の土原右近が塀を越え城兵数人を殺し内より城門開く/大河内貞綱逃走

1514年9月12日-09:00|日本|群馬県渋川市|永正11年8月24日|<死去>上野国白井城主「長尾伊玄」72歳

1514年9月17日-09:00|日本|京都府京都市|永正11年8月29日|<就任>関白「鷹司兼輔」 (~永正15 (1518) 年3月27日)

1530迄 (2001件)

1514年9月18日-07:00|ベトナム| ||大越・洪順6年9月|レ・材(黎嵩)が「大越通鑑総論」を編纂
1514年10月1日-01:00|サンマリノ| ||<就任>サンマリノ共和国執政「フランチェスコ・デ・イ・シモーネ・ベルツツィ」「イノチェンツォ・デ・イ・メネット・ボネッリ」
1514年10月9日-01:00|フランス/イギリス| ||フランス王ルイ12世、イングランド王ヘンリー8世の妹マリー・テューダー(マリー・ダングルテル)と結婚
1514年10月18日-09:00|韓国/朝鮮| ||<就任>朝鮮国領議政「柳湊」(~15160510)
1514年10月21日-01:00|ドイツ| ||<死去>ツグアイブリュッケン公・フェルデナツ伯「アレクサンダー」
1514年10月26日-01:00|ドイツ| ||<即位>プファルツツグアイブリュッケン公・フェルデナツ伯「ルートヴィヒ2世」(~15321203死去)
1514年11月 00:00|モリタニア/ポルトガル| ||<就任>ポルトガル領アルギン長官「エステヴァン・ダ・ガマ」(~1517年)
1514年11月19日-01:00|ハンガリー| ||ハンガリーでヴェルベーツィの三部法典が承認
1514年11月28日-09:00|日本|静岡県浜松市天竜区|永正11年11月12日|大檀那奥山左馬尉実吉・綾付の公文七郎左衛門・地主七郎三郎・禰宜藤内三郎守家・守長朝西之光守・禰宜兵衛、平安寺(浜松市天竜区佐久間町相月)社殿再建
1514年12月16日-09:00|日本|静岡県浜松市天竜区|永正11年12月|松井信薫、天庵を開山に神谷山天竜院(豊岡村上野部神田谷)開基
1514年12月18日-02:00|トルコ| ||<就任>オスマン帝国大宰相「トカキズ・アト・アフメト・パシャ」(~1515. 3)
1515年-05:30|インド| ||<即位>カシュミール・スルタン朝スルタン「Fateh Shah」(~1517年)
1515年-04:00|ロシア| ||<即位>アストラハン・ハン「ジャニベク」(~1521年死去)
1515年-03:00|イラク/イラン| ||<就任>ペルシャのメソポタミア総督「クングフルス・スルタン」
1515年-01:00|フランス| ||<就任>エタンフ伯「Artus Gouffier」(~1519年)
1515年-01:00|フランス| ||<就任>シャテルロー公「フランソワ・ド・ブルボン=モンパンス」(~同年死去)⇒「シャルル・ド・ブルボン=モンパンス」(~15270506死去)
1515年-01:00|フランス| ||<就任>ヌール公「ジュリアノ・デ・メーティ」(~15160317死去、ヌールは再び王領となった)
1515年-01:00|ドイツ| ||<就任>バーテン=バーテン辺境伯「ヘルンハルト3世」(~15360629死去)
1515年-01:00|リヒテンシュタイン| ||<就任>ファドゥーツ執行官「ハンス・フォン・ブフィン」(~1521年)
1515年-01:00|ドイツ| ||<就任>プランドンブルク=クムバハ辺境伯「カジミール」(~15270921死去)アンスハツハ辺境伯
1515年 00:00|サントメ・プリンシペ/ポルトガル| ||<就任>プリンシペ植民地長官「Diogo Alcacova」(~1517年)
1515年 00:00|モロッコ/ポルトガル| ||マロウを一時的にポルトガルが占領、サン・ジョアン・ダ・モロウに改名
1515年 04:00|プエルトリコ/スペイン| ||モ島はアラゴンのフェルナンド2世が所有権(~1516年)
1515年 07:00|メキシコ| ||メキシコ中央高地でアステカが覇権を確立
1515年1月-06:30|ミャンマー| ||<即位>ムラウケー国王「ツウ・オー」(~7月)
1515年1月1日-01:00|フランス| ||<死去>フランス国王「ルイ12世」/52歳(誕生:14620627)
1515年1月15日-09:00|日本|愛知県岡崎市|永正12年|金蔵坊賢忠、三河国真福寺の仁王像を寄進
1515年1月15日-09:00|日本|愛知県豊橋市|永正12年|北条早雲家臣多米周防守元興、日還に帰依し、父元益発祥地多米村に本願寺(豊橋市多米町)開基
1515年1月15日-09:00|日本|大分県|永正12年|<交替>筑後・豊後国守護「大友義親(義長)」隠居⇒「大友義鑑」が継ぐ(~天文19年2月12日(15500228)死去)
1515年1月15日-09:00|日本|岡山県|永正12年|<死去>備中国守護「細川九郎二郎某」自害⇒「細川政春」が継ぐ(~永正15年1月9日(15180218)死去)
1515年1月15日-09:00|日本|神奈川県鎌倉市|永正12年|<死去>関東管領「上杉(山内)顕実」病死⇒兄弟の「上杉(山内)憲房」が継ぐ(~大永5年3月25日(15250417)死去)
1515年1月15日-09:00|日本|鳥取県|永正12年|<交替>因幡国守護「山名豊頼」⇒「山名豊治」(~大永7(1527)年死去)
1515年1月25日-01:00|フランス| ||<即位>フランス国王「フランソワ1世(人文の父にして回復者)」シャル5世の玄孫ルイ12世の従甥であり、最初の結婚により義子(~15470331)
1515年3月27日-09:00|日本| ||永正12年閏2月12日|<死去>仁悟法親王(34歳)後土御門天皇の皇子、天台宗の僧
1515年3月31日-02:00|モザンビーク/ポルトガル| ||<就任>ポルトガル領ソファラ・キャプテン代理「ペロウ・アス・ソアレス」(~1515年6月)
1515年4月1日-03:30|イラン/ポルトガル| ||ポルトガルによりホルムズ占領(~16220503)
1515年4月1日-01:00|サンマリノ| ||<就任>サンマリノ共和国執政「チャールズ・デ・イ・クリストファロ」「ジャコモ・デ・イ・ロ・ウ・イコ・カルチニ」
1515年4月14日-09:00|日本|広島県広島市西区|永正12年3月|<己斐城の戦い>銀山城主・武田元繁が己斐豊後守師道道入道宗端を攻撃し数か月にわたり包囲するが落城には至らなかった
1515年4月15日-04:00|オマーン/ポルトガル| ||マスカット(マスケート)をポルトガルが保護領化(~16500123)
1515年4月15日 04:00|ドミニカ共和国/スペイン| ||<就任>サントミンゴ 暫定総督「クリストバル・レブロン」(~1516年)
1515年4月17日-02:00|ウクライナ| ||<死去>クリミア・ハン国ハン「メンクリ1世ギレイ」
1515年4月17日-02:00|ウクライナ| ||<即位>クリミア・ハン国ハン「メフメト1世ギレイ」(~1523. 10死去)
1515年4月18日-01:00|アントラ| ||<就任>アントラ公国共同大公「ウルヘル司教ヨアン・デ・スパス」(~15301024)
1515年4月21日-09:00|日本|広島県廿日市市|永正12年3月8日|神領衆東方、小船70~80隻で厳島を奪取
1515年4月29日-09:00|日本|新潟県|永正12年3月16日|越後国白山社造立
1515年5月 00:00|アイルランド/イギリス| ||<就任>アイルランド 副卿「コーマンストン子爵ウィリアム・プレストン」(~9. 1)
1515年5月1日-09:00|日本|熊本県|永正12年3月18日|阿蘇惟豊は矢部を奪還
1515年6月-02:00|モザンビーク/ポルトガル| ||<就任>ポルトガル領ソファラ・キャプテン「サンチョ・デ・トバル」(2回目~7. 31)
1515年6月-02:00|トルコ| ||オスマン朝セルム1世がエルビスタンのズル・カーデイル候国を併合
1515年6月17日-08:00|中国| ||雲南、鶴慶地震/M7. 8、死者数千人

1530迄 (2001件)

1515年6月18日-02:00|トルコ| |||<就任>オスマン帝国大宰相「ハドゥム・シナン・パシャ」(1期目~9.8)
1515年7月-06:30|ミャンマー| |||<即位>ムラウケウ国王「サタ」(~1521年4月)
1515年7月6日-09:00|日本|奈良県北葛城郡広陵町|永正12年5月25日|大和国百済寺完成
1515年7月12日-09:00|日本|宮城県石巻市|永正12年6月|葛西宗清が陸奥七尾城を急襲し、山内首藤知貞ら山内首藤氏を滅亡させる
1515年7月14日-09:00|日本|長野県|永正12年6月3日|<死去>信濃国守護「小笠原貞朝」⇒次男の「小笠原長棟」が継ぐ(~天文11年10月8日(15421114)死去)
1515年7月15日 04:00|ポルトガル/スペイン| |||<就任>ポルトガル副知事「Juan Ponce de Leon」(3期目~15190912)
1515年7月25日-09:00|日本| ||永正12年6月14日|夜半より月蝕
1515年7月30日-09:00|日本|静岡県富士市|永正12年6月19日|<死去>太富山永明寺(富士市原田東滝川)開山行之正順/76歳
1515年7月31日-02:00|モザンビーク/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領ソファラ・キャプテン「クリストヴァン・デ・ヌノ」(~15180701)
1515年8月6日-09:00|日本|北海道松前郡松前町|永正12年6月26日|和人に対して蜂起したアイヌの首長ショヤコウ兄弟が、蛸崎光広によって蝦夷地徳山館で騙し討ちにされる
1515年8月15日-01:00|イタリア/フランス| |||フランス1世、大軍を率いてアルプスを越えイタリアに侵攻/サヴォーナを海から攻めて制圧し、ジェノヴァを押さえ、トルーナ、アレクサンドリア、アステなどを占領/フランス1世軍の侵攻と同時に指揮下のヴェネツィア軍もロンバルディアに出撃、マントヴァ、クレモナを制圧しフランス1世の名で占領
1515年9月1日 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド副卿「キルデア伯爵ジェラルド・フィッツジェラルド」(2回目~1519年9月)
1515年9月8日-05:30|インド/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領インド総督「ホセ・ソリス・デ・アルベラリア」(~1518年9月)
1515年9月8日-02:00|トルコ| |||<就任>オスマン帝国大宰相「ヘルセザード・アフメド・パシャ」(5期目~15160426)
1515年9月8日-09:00|日本|愛知県|永正12年8月|<交替>尾張国守護「斯波義達」隠居⇒「斯波義統」3歳
1515年9月8日-09:00|日本|静岡県浜松市|永正12年8月|斯波義達、引馬城で今川軍と再度戦ったが、またも大敗したうえ、今度は自身も捕虜となってしまう。虜囚となった義達は、同族である氏親の情けによって一命は取り留めたものの、剃髪を強いられ尾張に送り返される恥辱を受けた
1515年9月8日-09:00|日本|福井県|永正12年8月|長尾為景は越中に侵攻したが撃退された
1515年9月14日-01:00|イタリア/フランス/スイス| |||<マリニャーノの戦い>(13日~)フランス王フランス1世、ミラノ軍、スイス連邦軍をミラノ近郊マリニャーノで撃破/スイス連邦軍はイタリアから撤退し帰国
1515年9月19日-02:00|トルコ| |||オスマン朝が、東アナトリアのクルド族の地域デヤルバクルを併合
1515年10月1日-01:00|サマリノ| |||<就任>サマリノ共和国執政「フランチェスコ・デ・ジローラモ・ベルツツィ」
1515年10月2日-09:00|日本|鹿児島県|永正12年8月25日|<死去>薩摩・大隅・日向国守護「島津忠治」吉田松尾城主・吉田位清を攻撃中に病死⇒弟「島津忠隆」が継ぐ(~永正16年4月14日(15190512)死去)
1515年10月4日-01:00|イタリア/フランス| |||フランス王フランス1世、「ミラノ公国」を再占領/スフォルツァ家を追放
1515年10月5日-01:00|イタリア| |||<退位>ミラノ公「マッシミリアーノ・スフォルツァ」
1515年10月11日-01:00|イタリア| |||<即位>フランス1世「ヴァレンティナー」の曾孫(~15211120退位)
1515年10月14日-01:00|ポズナ・ヘルツェゴビナ/トルコ| |||<就任>ポズナ総督「ムスタファ・パシャ」(~15160417)
1515年11月7日-01:00|ドイツ/スイス| |||スイスでジュネーブの和平
1515年11月22日-09:00|日本|山梨県南アルプス市|永正12年10月17日|大井信達大軍を率いて反乱を起こした大井信達・信業の富田城を攻撃するが大敗
1515年11月25日-09:00|日本|石川県|永正12年10月20日|<死去>能登国守護「畠山義元」⇒「畠山義総」が継ぐ(~天文14年7月12日(15450819)死去)
1515年12月6日-09:00|日本|広島県|永正12年11月|神領衆西方の羽仁・野間・阿曾沼連合軍、五日市永明院を攻め、厳島を回復
1515年12月21日-09:00|日本| ||永正12年11月16日|日蝕
1515年12月24日 00:00|イギリス| |||<就任>イングランド連邦大法官「ヨーク大司教トマス・ウルジー」枢機卿(~15291018)
1516年-05:30|インド| |||<就任>ジャヤガル王国クリシュナデーヴァ・ラーヤがオリッサに遠征
1516年-04:00|ロシア| |||<就任>シベリ支配者「カシム」(~1530年死去)
1516年-04:00|ロシア| |||<即位>カシム・ハン国ハン「シャー・アリー」シャイ・アウリヤールの子(~1519年)
1516年-03:30|イラン/トルコ| |||アルビル、ホイ、マクはオスマン帝国の一部(~1620年)
1516年-02:00|エジプト| |||<再位>カイロ・アッバース朝カリフ「ムスタムスイク」(~1517年譲位)
1516年-02:00|ギリシャ/イタリア| |||<就任>ヴェネツィアのカンデリア公「マルコ・オリオ」(~1517年)
1516年-02:00|キプロス/イタリア| |||<就任>ヴェネツィアのキプロス副官「ファンティーノ・デ・ジローラモ・ミシエル」(~1518年)
1516年-02:00|エストニア/ドイツ| |||<就任>リウオニアのレヴァル司令官「サイモン・グラーフ・フォン・リートベルク」(~1523年死去)
1516年-02:00|トルコ| |||<即位>ラマタニス・ハン「Mahmud・ベイ」(~1517年)
1516年-02:00|ヨルダン/トルコ| |||ヨルダンがオスマン帝国の一部となる
1516年-01:00|アルジェリア| |||<就任>アルジェ支配者「ババ・アルジ(オルチ・バルハロッサ)」(~1518年5月戦死)
1516年-01:00|アルバニア/トルコ| |||<就任>オスマン帝国アヴロニャのサンジャクベイ「メフメト・ベグ・イサコヴィッチ」
1516年-01:00|マルタ/イタリア| |||<就任>シチリア領マルタ副総督「Matteo de Guevara」(~1517年)
1516年-01:00|モンテネグロ| |||<就任>モンテネグロ司教公「ヴァウイラ」(~1520年)
1516年-01:00|ドイツ/オーストリア| |||<即位>ハプスブルグ公「ルートヴィヒ10世」アルブレヒト4世の次男。ヴァイルヘルム4世と共同統治(~15450422死去)
1516年-01:00|スウェーデン| |||スウェーデンで摂政と大司教の内訌

1530迄 (2001件)

1516年-01:00|アルジェリア/トルコ| |||セリム1世のオスマン朝海軍がアルジェを占領
 1516年-01:00|フランス/バチカン| |||フランス王10世がローマ宗教協約を締結
 1516年 00:00|サントメ・プリンシペ/ポルトガル| |||<就任>サントメ植民地司令官「Diogo de Alcacova」(~1517年)
 1516年 03:00|ブラジル/ポルトガル| |||<就任>ブラジル総督「ペドロ・カピコ」(~1526年)
 1516年 04:00|パラグアイ/ウルグアイ/スペイン/アルゼンチン| |||スペイン人探検家フアン・デ・ソリスがラ・プラタ川を遡上しパラグアイまで探検
 1516年 04:00|プエルトリコ/スペイン| |||サ島の所有権は、フランス・ヒメネス・カルデナル・シメスに譲渡(~1520年)
 1516年 07:00|メキシコ| |||<即位>アステコ国王「カマ」サウル・リの子(~1520年スペイン人に殺される)
 1516年 07:00|メキシコ| |||ペドラーリアスが中米方面へ探検隊を派遣
 1516年1月4日-09:00|日本|京都府京都市|永正12年12月|足利義隆の三条新御所が完成
 1516年1月4日-09:00|日本|山梨県|永正12年12月|今川氏親が大井氏の援軍として福島助春ら(兵数1,000)を派遣、今川軍は甲斐へ侵攻し、油川信恵の拠点だった勝山城に入り、交戦を続ける
 1516年1月20日-07:00|カンボジア| |||<即位>カンボジア王国国王「オンチャン1世」(~1566年死去)
 1516年1月23日-01:00|スペイン| |||<死去>アラゴン国王・バルセロナ伯「フェラン2世(カトリック王)」兼カスティリヤ王「フェルナンド5世」63歳(誕生14520310)
 1516年1月23日-01:00|スペイン| |||<就任>バルセロナ伯「カラス1世」フェラン2世の孫(~15560827退位)
 1516年1月23日-01:00|スペイン| |||<即位>アラゴン国王・カスティリヤ国王「フアン」(~15550412死去75歳)
 1516年3月5日-09:00|日本|広島県三次市|永正13年2月2日|毛利軍、三次郡志和地城を切崩す
 1516年3月11日-09:00|日本|静岡県静岡市清水区|永正13年2月8日|朝比奈福寿庵恵妙・鍛冶大工荷村四郎・本願寺願坊清庵・別当法印三光坊頼祐・頭領神左衛門三郎・大工藤原沢瀬九郎三郎・真言宗鷲峰山靈山寺(静岡市清水区大内)仁王堂造立
 1516年3月13日-01:00|ハンガリー/チコ/クロアチア| |||<死去>ハンガリー・クロアチア王「ウラースロ2世」兼ボヘミア王「ラジスラフ4世」兼モラヴィア辺境伯「ラジスラフ2世」
 1516年3月13日-01:00|ハンガリー| |||<就任>ハンガリー王国摂政「タマス・ビホ・ロス・パコチ」(~15210611没)、「ヤーノシュ・ボルネツァ」、「アンパツハのゲオルク・マルク・ラフ・ツァー・ブランデンブルク」(~15211211)
 1516年3月13日-01:00|チコ| |||<就任>ボヘミア摂政「オレシュニツキのミンスターバー公、クラツク伯「ジエフ・ラティのカル1世」、「ロジューミタルのステニェク・レフ」(1期目)、「リス・ベルカのブレティスラフ・シュヴァイク」(~15220328)
 1516年3月13日-01:00|チコ/スロバキア| |||<就任>モラヴィア辺境伯「ルト・ヴァイク」(ボヘミア王・ハンガリー・クロアチア王ラジスラフ2世~15260829死去)
 1516年3月14日-01:00|スペイン/イタリア| |||<即位>アラゴン国王・カスティリヤ国王・ナバラ王・シチリア王「カルロス1世」フアンとフェリペ1世の息子(~15560116息子に譲位~15580921死去)兼ナポリ王「カルロ4世」(シヨヴァンナの代行~15550412~15540725退位~15580921死去58歳)
 1516年3月17日-01:00|フランス| |||<死去>ヌール公「ジュリアン・ド・メーイ」ヌールは再び王領となった
 1516年3月17日-01:00|イタリア| |||<死去>フィレンツェのシニョレ「ジュリアン・ド・メーイ(ヌール公爵)」
 1516年3月17日-01:00|イタリア| |||<即位>ウルビーノ公「ロレンツォ2世・ド・メーイ」兼フィレンツェのシニョレ(~15190504死去)
 1516年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「カミッロ・ディ・メネッティ・ボネリ」(シローラ・ド・ディ・ジュリアン・ノ・コジ)
 1516年4月2日-07:00|ベトナム| ||大越・洪順8年3月|大越の陳ウが海陽の水棠県で反乱、天応と改元
 1516年4月17日-01:00|ボスニア・ヘルツェゴビナ/トルコ| |||<就任>ボスニア総督「ガジ・ハサン・ベイ」(1回目~1517年)
 1516年4月18日-09:00|日本|静岡県浜松市|永正13年3月17日|大河内備中守貞綱・弟巨海新左衛門尉道綱、引馬城(浜松市中区元城町)落し豊田郡池田・敷智郡入野辺押領/大河内軍、社山城(豊岡村社山)菅沼大膳亮定忠・新三郎定広父子を攻め、援軍勾坂政久・長能父子・向笠氏・菅沼織部正定則、大河内軍撃退
 1516年4月23日-01:00|ドイツ| |||ハインリッヒ公「ハインリッヒ4世」が「ビール純粋令」制定(食品世界最古の法律)
 1516年4月26日-02:00|トルコ| |||<就任>オスマン帝国大宰相「ハトウム・シナン・パシャ」(2期目~15170122)
 1516年5月5日-09:00|日本|石川県|永正13年4月4日|<死去>九条政基(72歳)元関白、左大臣
 1516年5月8日-07:00|ベトナム| ||大越・光紹1年4月7日|<死去>後黎朝(大越)前期第9代皇帝「襄翼帝」
 1516年5月8日-07:00|ベトナム| ||大越・光紹1年4月7日|<即位>後黎朝(大越)前期第10代皇帝「中廢帝黎光治」(~1523後死去)
 1516年5月10日-09:00|韓国/朝鮮| |||<就任>朝鮮国領議政「鄭光弼」(~15200107)
 1516年5月11日-07:00|ベトナム| ||大越・光紹1年4月10日|<死去>後黎朝(大越)前期第10代皇帝「中廢帝黎光治」
 1516年5月13日-01:00|スペイン| |||<即位>トラスタマラ公(ハプスブルク家)「カルロス1世」(母フアンナの代行~15560116最愛の息子に譲位)15580921死去
 1516年5月26日-01:00|イタリア| |||ベネチアでブレシア再び獲得
 1516年5月28日-07:00|ベトナム| ||大越・光紹1年4月27日|<即位>後黎朝(大越)前期第11代皇帝「昭宗黎椅」(~1522年)/光紹と改元(~1522旧7月)
 1516年6月3日-09:00|日本|佐賀県小城市|永正13年5月3日|東尚盛は旧領小城晴気城奪回を目指したが千葉分家胤勝は東尚盛を破り戦死させた
 1516年6月14日-01:00|アントワープ| |||<死去>アントワープ公国共同大公「フォア伯爵ジャン2世」
 1516年6月14日-01:00|スペイン| |||<死去>ナバラ王「フアン3世」47歳
 1516年6月22日-01:00|ドイツ| |||<死去>アンハルト・デッサウ侯「Ernest1世」
 1516年6月22日-01:00|ドイツ| |||<就任>アンハルト・デッサウ侯「Joachim1世」(~15611206死去、アンハルト・ツェルブスト侯国へ統合)、「John5世」(~1544年)、「George3世」(~1544年)共同統治
 1516年6月23日-01:00|イタリア| |||<即位>ナポリ王・シチリア王「スペイン王カルロス1世」(~15560116)

1530迄 (2001件)

1516年6月30日-09:00|日本|鹿児島県南さつま市|永正13年6月1日|薩摩・大隅・日向守護の島津忠隆は琉球征服を企む備前の三宅国秀を幕府の許可を得て坊津で討伐

1516年7月25日-09:00|日本|栃木県宇都宮市|永正13年6月26日|<縄釣の戦い(下野国)>常陸国の戦国大名佐竹義舜は再び陸奥国の戦国大名岩城由隆とともに大軍を率いて下野国に侵攻/下野国の戦国大名宇都宮成綱・忠綱父子が出陣し迎え撃ち、下野国上那須庄浄法寺縄釣で対峙し戦い、成綱・忠綱方の優勢となり佐竹・岩城連合軍が撤退し合戦は宇都宮軍の大勝

1516年7月30日-09:00|日本|神奈川県鎌倉市|永正13年7月|扇谷上杉朝興、新井城救援のため江戸より出撃、玉縄城辺で敗退

1516年8月5日-09:00|日本|奈良県|永正13年7月7日|<死去>親世信光、大和で(82歳)猿楽師、能作者

1516年8月9日-09:00|日本|神奈川県|永正13年7月11日|<死去>相模国守護「三浦義同」戦死66歳(誕生:宝徳3(1451))

1516年8月9日-09:00|日本|神奈川県逗子市|永正13年7月11日|伊勢宗瑞が住吉城を攻略、三浦義同・義意父子を三崎城(新井城)に追い込み陥す。三浦義同、義意は自害、三浦家滅亡

1516年8月13日-01:00|イタリア/フランス/オーストリア| ||フランス王フランソワ1世、神聖ローマ皇帝マクシミリアン1世と「ワイン条約」を結び和解/フランス王フランソワ1世、「ミラノ公国」を獲得する代わりに「ナポリ王国」を放棄

1516年8月18日-01:00|イタリア/フランス/パチン| ||フランス王フランソワ1世、イタリア北部のポロニャでローマ教皇レオ10世と会談し、「コンコルダト(コンコルダ 政教協約)」を成立させる/フランス王の「教会」に対する優位性を認めさせる/フランス王が高位聖職者(大司教・司教・修道院長)の叙任権を有する/「教会」による課税にフランス王が厳しい制限を設ける権利を有する/「カトリシズム」が確立する

1516年8月23日-02:00|パレスチナ/トルコ| ||パレスチナはオスマン帝国の一部

1516年8月24日-02:00|エジプト/シリア・アラブ| ||<死去>ブルジョア(フェルナンド・マムルーク朝スルタン「アシュラフ・カヌス・フ・ガウリ」)殺害された

1516年8月24日-02:00|イスラエル/トルコ| ||イスラエルはオスマン帝国、ダマスカス-シリア(州)エラットの一部

1516年8月24日-02:00|シリア・アラブ/トルコ| ||セルム1世のオスマン朝軍がアレクサンドリア近郊マルジ・ダビクの戦いでマムルーク軍を破る

1516年8月28日-09:00|日本|大分県|永正13年8月|大友親安(親敦/義鑑)の家督継承に不満を持つ大友家臣朽網親満が、田原親述・政定兄弟や佐伯氏と組み、大聖院宗心(13代当主大友親綱の六男)を擁立して挙兵

1516年8月28日-09:00|日本|静岡県|永正13年8月|谷川大信院・石川地蔵寺・牛飼大福寺が不琢によって開かれる

1516年9月-02:00|シリア・アラブ/トルコ| ||<就任>ダマスカス・ワリス(総督)「ユヌス・パシャ」(~同年)

1516年9月-02:00|シリア・アラブ/トルコ| ||オスマン朝セルム1世がダマスカス入城

1516年9月 00:00|ガーナ/ポルトガル| ||<就任>ポルトガル・ゴールドコースト長官「フェルナン・ロペス・コレア」(~1519年)

1516年9月19日-09:00|日本|千葉県千葉市中央区|永正13年8月23日|上総真名城主三上但馬守の手勢、千葉城を襲って各所に火を放つ/弥富原氏・東氏・上田衆ら討死(三上の乱)

1516年9月21日-09:00|日本|広島県安芸高田市|永正13年8月25日|<死去>安芸吉田郡山城城主「毛利興元」が酒毒で(24歳)/興元の嫡男幸松丸(2歳)が家督を継ぐが、幼少のため元就が後見人となる

1516年10月-02:00|シリア・アラブ/トルコ| ||<就任>ダマスカス・ワリス(総督)「シハブ・アド・ディン・アフマド・ビン・ヤヒヤ」(~1517年)

1516年10月1日-01:00|サマリヤ| ||<就任>サマリヤ共和国執政「デ・イタレグ・ホ・コルベリ」「サマリタノ・デ・イ・アント・レア・ティニ」

1516年10月4日-09:00|日本|福井県|永正13年9月9日|越後の守護長尾為景が越中に出陣し、神保慶宗らと戦う

1516年10月17日-02:00|エジプト/シリア・アラブ| ||<即位>ブルジョア(フェルナンド・マムルーク朝スルタン「アシュラフ・トゥーマンバ・イ」) (~15170815死去)

1516年10月23日-09:00|日本|山梨県|永正13年9月28日|今川軍、普賢寺(山梨市)・大蔵経寺(笛吹市石和町)・円楽寺(甲府市)に火をかけながら笛吹川沿いに遡り、万力(山梨市)で武田信虎と合戦/扇山での戦闘で武田信虎は敗れて、恵林寺に逃げ込み

1516年10月26日-09:00|日本|奈良県大和郡山市|永正13年10月|<第五次筒井城の戦い(大和国)>越智氏・古市氏が筒井城を攻め成身院順盛軍は敗れ去った

1516年10月30日-09:00|日本|奈良県磯城郡川西町|永正13年10月5日|越智家全・古市氏、筒井順盛(順宣)・十市氏を唐院に破る

1516年11月2日-01:00|デンマーク| ||<死去>デンマーク王国執事「ニールス・ローゼンクランツ・ティル・ビョルンホルム」

1516年11月2日-01:00|デンマーク| ||<就任>デンマーク王国執事代行「モーゲンス・ゾー・ティル・クレンケル」(⇒15230326執事~15440405没)

1516年11月11日 04:00|トミカ共和国/スペイン| ||ラス・カサスがインデオ保護官に任命されエスパニョラ島へ出発

1516年11月29日-01:00|フランス/スイス| ||フランス、スイスとスイス西部のフリブールで、永久和平条約「フリブールの和約」を締結

1516年12月 00:00|イギリス| ||トマス・モアが「ユートピア」を刊

1516年12月1日-09:00|日本|栃木県|永正13年11月8日|<死去>下野国守護「(下野宇都宮氏17代当主)宇都宮成綱」(49歳)

1516年12月9日-09:00|日本|愛知県豊川市|永正13年11月16日|牧野田三信成、一宮砥鹿大明神造営

1516年12月14日 04:00|トミカ共和国/スペイン| ||<就任>サント・ミンゴ 総督「王立裁判所政府:フレイ・ルイス・デ・フィゲロア/フレイ・ベラルデ・イ・ノ・デ・マンサネート/聖ヒエロニムス騎士団フレイ・イルデフォンソ・デ・サント・ト・ミンゴ」(~1519年)

1516年12月28日-02:00|イスラエル/トルコ| ||オスマン帝国がエルサレム占領

1517年-05:30|インド| ||<即位>カシュミール・スルタン朝スルタン「Muhammad Shah」(~1528年)

1517年-03:00|イエメン| ||<即位>タリド・スルタン「Ahmad bin Amir」(~1518年)

1517年-02:00|ギリシャ/イタリア| ||<就任>ヴェネツィアのカンデリア公「アントニオ・ロレーノ」(~1519年)

1517年-02:00|エジプト/トルコ| ||<就任>オスマン帝国領エジプト総督「ユヌス・パシャ」(~同年、汚職で総督職が取り消される)

1530迄 (2001件)

⇒「ハイルベイ」(~1522年、在職中に死去)

1517年-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>ダマスカス(総督)代行「ノア・セルビ」(~1518年)
1517年-02:00|ギリシャ| |||<即位>ナクソス公「ジョヴァンニ4世」(~1564年没)
1517年-02:00|トルコ| |||<即位>ラマダニズ・ハン「Kubad Pasa」(~1520年)
1517年-02:00|トルコ/イェメン| |||オスマン軍イェメンを占領(~1635)
1517年-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||オスマン軍トレムセンを攻略
1517年-01:00|マルタ/イタリア| |||<就任>シチリア領マルタ副総督「Giovanni di Mazara」(1期目~1518年)
1517年-01:00|ポズニア・ヘルツェゴビナ/トルコ| |||<就任>ポズニア総督「ガジ・メフメト・ベイ・ミハルザード」(~1519年)
1517年-01:00|アルジェリア| |||<即位>サイヤーン朝スルターン「アフマド・ハム3世」(~1527年)
1517年-01:00|フランス| |||<即位>ベリー公「マルグリット」フランス王1世の姉、ナバラ王エンリケ2世の妃(~15491211死去)
1517年 00:00|アイスランド/デンマーク| |||<就任>アイスランド支配者「ティリ・ペトルソン」(~1520年)
1517年 00:00|サントメ・プリンシペ/ポルトガル| |||<就任>サントメ植民地司令官「Joao de Mello」(~15221219)
1517年 00:00|カナリア諸島/スペイン| |||<就任>スペイン王国植民地グラン・カナリア島知事「Pedro Suarez de Castilla」(1期目~1518年)
1517年 00:00|サントメ・プリンシペ/ポルトガル| |||<就任>プリンシペ植民地長官「Joao Fialho」
1517年 00:00|モリタニア/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領アルギン長官「アントニオ・ポルトカレイロ」(~1521年)
1517年 00:00|マン島/イギリス| |||<就任>マン島知事「Ralph Rushton」(2期目~1518年)
1517年 00:00|モロッコ| |||<即位>サット朝スルターン「アフマド・アル・アラジ」(~1544年)
1517年 00:00|ポルトガル/サウジアラビア| |||ポルトガル艦隊がメッカとジッダを攻撃
1517年 01:00|カーボベルデ/ポルトガル| |||<就任>カーボベルデ諸島のコレヒョール治安判事「ジョン・ジヤーマン」(~1521年)
1517年 06:00|ペリズ/グアテマラ/メキシコ| |||コルドバがユカタン半島に到達しメソアメリカの高文化に接触
1517年1月2日-01:00|アントラ| |||<死去>アントラ公国共同大公「ナバラ女王・フォア女伯カリナ」
1517年1月7日-01:00|イタリヤ| |||ベネチア、元老院、皇帝との条約を受け入れる
1517年1月18日-09:00|日本|山梨県南都留郡富士河口湖町|永正13年12月26日|国境警備の西之海衆西海右近進・平八3兄弟・大石与五郎、今川軍と戦い討死
1517年1月19日-09:00|日本|栃木県小山市|永正13年12月27日|古河公方家の古河城の足利高基に追われ、父政氏が小山城から岩槻城へ退去
1517年1月22日-09:00|日本|和歌山県|永正14年|<交替>紀伊国守護「畠山尚順」隠居⇒「畠山植長」尚順の子(~天文14年5月15日(15450623)死去)
1517年1月22日-02:00|エジプト| |||<死去>カイロ・アッパース朝カリフ「ムタワッキル3世」アッパース朝は完全に滅亡
1517年1月22日-02:00|トルコ| |||<就任>オスマン帝国大宰相「ユヌス・パシャ」(~9. 13)
1517年1月22日-02:00|エジプト/トルコ| |||ライダニーヤの会戦でオスマン軍に破れ、マムルーク朝が滅亡
1517年1月24日-02:00|エジプト/トルコ| |||エジプトはオスマン帝国の一部(エヤレト・イムスルとして)
1517年2月 07:00|メキシコ| |||コルドバの艦隊、カパチを経てチャポトンに達するが原住民の襲撃にあい57名が死亡
1517年2月5日-09:00|日本|広島県廿日市市|永正14年1月15日|(14日~)神領東方衆、小船70~80隻で厳島に押寄せるが敗北
1517年2月9日 07:00|メキシコ| |||コルドバの艦隊、航海途中に嵐にあい、ユカタン半島北東部のカトチ岬に漂着。マヤの神殿都市を発見し「新カイロ」と命名/先住民の攻撃を受けるが撃退
1517年2月12日-01:00|スペイン| |||<死去>ナバラ王「カリナ」49歳
1517年2月12日-01:00|アントラ| |||<就任>アントラ公国共同大公「フォア伯爵エンリケ2世」(~15550525死去)
1517年2月12日-01:00|スペイン| |||<即位>ナバラ王「エンリケ2世」アン3世とカリナの男子(~15550525死去52歳)
1517年2月17日-09:00|日本|山梨県富士吉田市|永正14年1月27日|武田信直側の小林尾張入道、吉田城を攻略、この方面の今川軍は小山田氏と和睦
1517年2月21日-09:00|日本|大分県|永正14年2月|豊後で大友氏に反した朽網親満が松木合戦で敗れて敗走
1517年2月21日-09:00|日本|静岡県菊川市|永正14年2月|今川氏親、林叟院の大樹宗光和尚を開山に、今川義忠を開基に賢仲派「国源山昌桂寺(高橋)」を開創
1517年2月21日-09:00|日本|静岡県菊川市|永正14年2月|真言宗の一堂を村松宇兵衛の村に移し、村松宇兵衛・橋本六兵衛の協力で国源山正林寺(小笠町高橋)完成
1517年2月28日-03:00|イェメン/トルコ| |||<就任>オスマン帝国サ総督「Barsbay bey」(~7月)
1517年3月6日-09:00|日本|鹿児島県鹿児島市|永正14年2月14日|島津忠隆、大隅国の吉田位清を攻め破る
1517年3月11日-01:00|フランス/スペイン| |||フランス国王フランス王1世とスペイン国王カルロス1世の間に相互不可侵条約が結ばれる。イタリアの支配権を巡り合意成立(ノワイヨン条約)。スペインはポリを、フランスはミラノを支配することとなる
1517年3月22日-09:00|日本|静岡県浜松市|永正14年3月|大河内氏(斯波氏被官)が今川氏より引間城奪還、武衛斯波義達も引間城に入る
1517年3月22日-09:00|日本|福島県|永正14年3月|<改名>陸奥国「伊達高宗」⇒「伊達植宗」
1517年3月23日-09:00|日本|山梨県|永正14年3月2日|甲斐の武田信虎と今川氏親が和睦し、今川軍が甲斐から引き揚げる
1517年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「チャールズ・ド・クリストファロ」「ジャコモ・デ・イ・ロダゴ・イコ・カルチーニ」
1517年4月3日-09:00|日本|茨城県|永正14年3月13日|<死去>常陸佐竹氏第15代当主常陸太田城主「佐竹義舜」48才/義篤が継ぐ
1517年4月22日-02:00|ルーマニア| |||<死去>モルダヴィア総督「ボグダノ3世盲目侯」
1517年4月22日-02:00|ルーマニア| |||<就任>モルダヴィア総督「ステファン4世若公」ボグダノ3世の息子(~15270114死去)

1530迄 (2001件)

1517年5月 00:00|イギリス| |||<死去>7代知フォード伯「アレクサンダー・リンジー」
1517年5月 00:00|イギリス| |||<就任>8代知フォード伯「デヴィッド・リンジー」(~15421127死去)
1517年5月1日 00:00|イギリス| |||ロンドンでの外国人居留者への迫害事件が起こる(災いのメーデー)
1517年5月5日-09:00|日本|香川県丸亀市|永正14年4月15日|立石嶋阿弥陀院(広島)の阿弥陀堂建立され、秀和法師を導師として開眼供養を行う
1517年6月-01:00|フランス| |||フランス王フランソワ1世、「タイユ」(人頭税、一般所得税)、「エド」(消費税、都市の援助金)、「ガベール」(塩の専売収益)の諸税を見直し、大増税を行う
1517年6月4日-09:00|日本|千葉県佐倉市|永正14年5月15日|上総真里谷の武田氏が原氏の拠点弥富(岩富)郷へ攻め入る
1517年6月6日-09:00|日本|千葉県佐倉市|永正14年5月17日|下総臼井城の臼井俊胤が没し臼井氏が千葉氏から離反
1517年6月17日-09:00|日本|静岡県静岡市駿河区|永正14年5月28日|今川氏親願主に、八幡神社(八幡山)再興
1517年6月19日-09:00|日本|大阪府|永正14年6月|<交替>河内国守護「畠山尚順」隠居⇒「畠山植長」尚順の子(~天文3(1534)年8月解任)
1517年6月20日-09:00|日本|福井県|永正14年6月2日|丹後国守護代延永春信の軍が若狭に侵入、幕府、越前守護朝倉孝景に武田氏支援、若狭・丹後に出兵を命ず、敦賀郡司の教景(宗滴)出陣する、丹後軍へ反撃
1517年7月-03:00|イェメン/トルコ| |||<就任>オスマン帝国サ総督「Iskender Bey」(~1521年)
1517年7月-03:00|サウジアラビア/トルコ| |||メッカのシャリーフがオスマン朝の保護下に入る
1517年7月6日-09:00|日本|静岡県浜松市|永正14年6月18日|<第3次引間城の戦い>今川氏親9千、洪水の天竜川を東側より、敵大河内備中守貞綱68歳・巨海新左衛門尉成綱・高高橋善次郎修理亮重友の射矢の中3百艘の舟橋(竹の大縄10、20重)で渡る/引間城の支城6、7つ攻略し、引間城斯波義達7、8千を包囲
1517年7月14日-09:00|韓国/朝鮮| ||朝鮮・正徳12年6月26日|朝鮮政府が「呂氏郷約」を全国に頒布
1517年7月31日-09:00|日本|山梨県笛吹市|永正14年7月13日|甲斐に暴風雨。石和が洪水に覆われ、国府の大中寺・門前町・春日居の加茂春日神社が流出される
1517年8月-03:00|サウジアラビア| |||ハジャーズはオスマン帝国の一部(1554~1802年、1813~1872年、ジッダとハバシュのイヤレトの一部)
1517年8月15日-02:00|エジプト/シリア・アラブ| |||<死去>ブルギー(チルクス)・マムルーク朝スルタン「アシュラフ・トゥーマンバーク」
1517年8月17日-09:00|日本|愛知県|永正14年8月|<交替>尾張国守護「斯波義達」退任⇒子の「斯波義統」(~天文23(1554)年7月12日殺害される)
1517年8月17日-09:00|日本|静岡県焼津市|永正14年秋|某氏(中興開基は長谷川次郎左衛門正長)、通山芳釈大和尚開山に、賢仲派長谷山信香院(焼津市小川)開基
1517年8月17日-09:00|日本|奈良県|永正14年8月|筒井、越智、古市氏の間で和議が成立
1517年8月18日-09:00|日本|京都府舞鶴市|永正14年8月2日|武田氏支援の朝倉軍丹後倉橋城を攻撃し落とす
1517年9月4日-09:00|日本|静岡県浜松市|永正14年8月19日|駿河・遠江守護の今川氏親が尾張守護の斯波義達と大河内貞綱を引馬城に破る⇒遠江完全平定に成功
1517年9月12日-09:00|日本|静岡県湖西市|永正14年8月27日|中山生心入道、遠州新居二宮神社を中之郷釜崎に移す
1517年9月13日-09:00|日本|京都府京都市東山区|永正14年8月28日|京都の知恩院が炎上
1517年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「アントニオ・デ・イ・ボニファツィオ」「アントニオ・デ・イ・マウリツィオ・ルナルディ・イニ」
1517年10月3日-09:00|日本|兵庫県淡路市|永正14年9月18日|三好之長が讃岐の寒川某らと謀り阿波・讃岐の兵を率いて淡路に侵入
1517年10月15日-09:00|日本|愛知県稲沢市|永正14年10月|前野宗信、尾張国長暦寺に阿弥陀如来像を寄進
1517年10月15日 00:00|ポルトガル/中国| ||明・正徳12年10月|ポルトガル使節のトメ・ピレスが広州に上陸を強行し、広東を交易の拠点化
1517年10月25日-09:00|日本|京都府京丹後市|永正14年10月11日|武田軍、丹後竹野郡吉沢城で合戦。武田氏丹後加佐郡を領有
1517年10月27日-09:00|日本|千葉県茂原市|永正14年10月13日|真里谷城主武田信康、早雲衆の助力をえて原胤隆の三上城(真名城)を攻略
1517年10月29日-09:00|日本|千葉県千葉市中央区|永正14年10月15日|真里谷城主武田信康、早雲衆の助力をえて原胤隆の小弓城を攻略
1517年11月5日-09:00|日本|広島県山県郡北広島町|永正14年10月22日|<有田中井手の戦い>武田元繁、吉川元経の属城有田城を攻め、有田へ進軍した毛利・吉川連合軍は、武田方の熊谷元直率いる500騎と対峙、戦いの最中に元直に矢が命中そのまま落馬、宮庄経友に首を取られた/熊谷勢は勢いを失って潰走/武田元繁は伴繁清・品川信定と手勢700程を有田城の包囲に残し、自ら主力を率いて毛利・吉川連合軍を迎撃、元繁は矢を受けて又打川の河畔に転落、討ち死に、武田軍は総崩れとなって今田城に撤退/香川行景・己斐宗瑞らは弔い合戦として再戦を主張し手勢を率いて毛利軍に突撃、壮絶な討死を遂げた
1517年11月21日-05:30|インド| |||<死去>ローデュー朝第2代スルタン「シナダール・ローデュー」
1517年11月21日-05:30|インド| |||<即位>ローデュー朝スルタン「イブラヒム・ローデュー」(~15260421死去)
1517年12月-01:00|オランダ/スペイン| |||カイクはスペインが行政(~1602年)
1517年12月1日-09:00|日本|京都府京都市|永正14年閏10月18日|<死去>鷹司政平(73歳)元関白、太政大臣
1517年12月13日-09:00|日本|愛知県豊橋市|永正14年11月|渡辺雅楽助、榎本八幡社(豊橋市石巻本町)造営

1530迄 (2001件)

1518年-08:00|インドネシア| |||<即位>ドゥマク王国スルタン「アデ・イパ・ティ・ウス」(~1521年死去)建国/さらにジャワ北岸を次第に服属させ、マジャパヒトを包囲・攻略
1518年-05:30|インド| |||<即位>ゴールコンダ王国スルタン「スルタン・クリー・クトゥブ・シャー」独立を宣言してゴールコンダ王国をうちたてた(~15430902死去)
1518年-05:30|インド| |||<即位>マラタ帝国に併合(~1731年)
1518年-05:00|トルクメニスタン/ウズベキスタン| |||<即位>ヒヴァハン国第2代ハン「スルタン・ハージ」イルハルス1世の甥(~1519年)
1518年-05:00|モルデイヴ/ポルトガル| |||ポルトガルがジョアン・ゴメスの下でマレを占領(~1521年)
1518年-04:00|ロシア| |||<死去>カザン・ハン「ムハンマト・アミン」
1518年-04:00|ジョージア/イラン| |||カティはベルシャの家臣
1518年-03:00|ソマリア/ジブチ/エチオピア| |||<即位>アダル・スルタン国スルタン「Muhammad Abu Bakr」(~1519年)、「Abubakar Mahamed」(~1526年)
1518年-03:00|イエメン| |||<即位>タリド・スルタン「Amir bin Abd al-Malik」(~1519年)
1518年-02:00|キプロス/イタリア| |||<就任>ヴェネツィアのキプロス副官「(ルイジ)アルヴィーゼ・デ・イ・シモネ・ダルメル」(~1519年)
1518年-01:00|マルタ/イタリア| |||<就任>シチリア領マルタ副総督「Ambrogio Falsone」(1期目~1519年)
1518年-01:00|スペイン| |||<就任>スペイン領メリラ総督「Gonzalo Marino de Ribera」(2期目~1522年)
1518年-01:00|スペイン/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領セウタ提督「Joao da Silva」(~1519年)
1518年 00:00|カリヤ諸島/スペイン| |||<就任>スペイン王国植民地ケラン・カリヤ島知事「Fernan Perez de Guzman」(~1520年)
1518年 00:00|マン島/イギリス| |||<就任>マン島知事「John Fazakerley」(~1521年)
1518年 05:00|キューバ| |||ペラスケス、ハラコアを首都と定める
1518年 07:00|メキシコ/スペイン| |||ゲリナルバがコスミル島を発見しメキシコ湾岸を航海
1518年1月5日-09:00|日本|愛知県豊川市|永正14年11月24日|地頭牧野平次利侯、久保神社(豊川市久保町)宝殿造営
1518年1月10日 07:00|メキシコ/スペイン| |||エルナン・コルテスがメキシコ探検に出発(第2次コタン遠征)
1518年1月24日-09:00|日本|三重県|永正14年12月13日|<死去>前伊勢国守護「(伊勢国司北畠家第6代当主)北畠材親」50歳
1518年1月25日-02:00|トルコ| |||<就任>オスマン帝国大宰相「ピリ・メフメト・パシャ」(~15230627)
1518年2月6日-09:00|日本|静岡県静岡市|永正14年12月26日|連歌師宗長、雪中の吐月峰柴屋寺(泉ヶ谷)で自叙伝の随筆「宇津山記」を書く
1518年2月7日-09:00|日本|岐阜県|永正14年12月27日|美濃国守護「土岐政房」が、守護代「斎藤利良」と合戦に及び、敗退
1518年2月10日-09:00|日本|大分県大分市|永正15年|朽網親満は高崎山城を大友義鑑に攻撃され、敗北
1518年2月10日-09:00|日本|静岡県掛川市|永正15年|和光山永江院(掛川市下垂木)4代雪窓鳳積、龍穴庵をを永江院と改める
1518年2月10日-09:00|日本|山梨県甲府市|永正15年|甲斐国守護「武田信直(信虎)」は拠点石和館(川田館)から甲府へ移す
1518年2月18日-09:00|日本|岡山県|永正15年1月9日|<死去>備中国守護「細川政春」
1518年3月-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>タマスカ・ワリス(総督)「ジャン・ド・イ・アル・ガザリー」(~1521年)
1518年3月11日-09:00|日本|愛知県豊橋市|永正15年1月30日|今川氏親、今橋城戸田金七郎宣光を攻略し、牧野伝左衛門成三・牧野伝蔵信成兄弟に与える/戸田金七郎宣光は、大崎城に拠る
1518年4月 07:00|メキシコ| |||第2次メキシコ探検隊がコタン半島東北岸の神殿都市トゥルムに上陸/カト・チェ、カンペ・チェを通過しチヤンホトンを制圧
1518年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「カミッロ・デ・イ・メネット・ボネリ」「レオナルド・デ・イ・ジ・ヨヴァンニ・ベルツツィ」
1518年4月9日-09:00|日本|広島県庄原市|永正15年2月29日|宮尚盛、大檀那として、奴可郡西城熊野神社の社殿を造立
1518年4月17日-09:00|日本|広島県廿日市市|永正15年3月8日|安芸国の諸将、東西に分かれて戦い東党の兵が西党を厳島で撃破
1518年5月-01:00|アルジェリア| |||<死去>アルジェ支配者「バハ・アルジ(オル・ハルハ・ロサ)」戦死
1518年5月-01:00|アルジェリア| |||<就任>アルジェのバイルベイ「ハルハ・ロス・ハイルベイン・パシャ・ヒトル・レイス」(1回目~1520年)
1518年5月9日-09:00|日本|京都府京都市|永正15年3月30日|<就任>関白「二条尹房」(~大永5(1525)年4月4日)
1518年5月10日-09:00|日本|静岡県袋井市|永正15年4月|曹洞宗萬松山可睡斎(袋井市久能)5世大路一遵、龍松山大通寺(袋井市上久能)開創
1518年5月13日-09:00|日本|滋賀県大津市|永正15年4月4日|延暦寺の根本中堂が竣工
1518年5月30日-09:00|日本|東京都千代田区|永正15年4月21日|<死去>江戸城主「上杉朝良」扇谷上杉家(44歳)⇒「上杉朝興」が継ぐ
1518年6月18日-09:00|日本|熊本県|永正15年5月11日|<死去>相良氏第13代当主「相良長毎」(50歳)
1518年6月26日-09:00|日本|山梨県|永正15年5月19日|調停者長池九郎左衛門親能・福島道宗入道助春と武田方内野渡辺式部丞との間で、今川と都留郡衆が和睦
1518年7月1日-02:00|モザンビーク/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領ソファラ・キャプテン「サンチョ・デ・トバル」(3回目~1522年7月)
1518年7月7日-09:00|日本|岐阜県|永正15年5月30日|<死去>飛騨国司「姉小路済継」(49歳)
1518年7月8日-09:00|日本|静岡県富士市|永正15年6月1日|嵐で富士山参詣者13人暴風に吹き飛ばされて死亡

1518年8月15日-09:00|日本|滋賀県|永正15年7月9日|<死去>近江国守護「六角氏綱」⇒父の「六角高頼」再任(〜永正16(1519)年)

1518年8月17日-09:00|日本|神奈川県三浦市|永正15年7月11日|伊勢早雲新井城を攻め、三浦道寸父子討ち死に

1518年8月18日-01:00|スペイン| |||イスパニョーラの砂糖工場の労働力導入要請に応えるため奴隷供給請負制度発足/カルロス一世は、勅許状を与え奴隷貿易を許可

1518年8月18日-09:00|日本|北海道|永正15年7月12日|<死去>蠣崎氏3代当主「蠣崎光広」(63歳)

1518年8月19日-09:00|日本|千葉県千葉市中央区|永正15年7月13日|<就任>小弓公方「足利義明」下総国小弓城に移る(〜天文7年10月7日(15381029)死去)

1518年9月5日-09:00|日本| |||永正15年8月|日本の歌謡集「閑吟集」成る

1518年9月5日-09:00|日本|愛媛県今治市|永正15年8月|僧中信ら、越智郡東禅寺薬師堂を再建

1518年9月5日-09:00|日本|京都府京都市|永正15年8月|<交替>山城国守護「大内義興」退任⇒「細川高国」(〜享禄4年6月8日(151310721)死去)

1518年9月5日-09:00|日本|静岡県焼津市|永正15年8月|磐石寺3世東積雪堂大和尚、曹洞宗不動山長徳寺(飯淵)再興

1518年9月7日-09:00|日本|静岡県静岡市葵区|永正15年8月3日|<死去>大森山長源院(静岡市葵区沓谷)開基朝比奈丹波守吉俊

1518年9月8日-05:30|インド/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領インド 総督「デ・イコ・ロペス・セウラ」(〜15220122)

1518年9月14日-09:00|日本|岐阜県|永正15年8月10日|美濃国守護、土岐政房の次子頼芸、兄政頼の軍を撃破

1518年9月15日-09:00|日本|大分県|永正15年8月11日|<死去>豊後国大友氏19代当主「大友義長」(41歳)

1518年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「フランチェスコ・デ・ジョー・ローモ・ベッリツィ」「アントニオ・オブ・ホリノ・ルナルデ・イニ」

1518年10月1日-09:00|日本|静岡県湖西市|永正15年8月27日|中山生心入道、遠州新居二宮神社を中之郷釜崎に移す

1518年10月2日-01:00|フランス/ドイツ/バチカン/スペイン/イギリス| |||ウルジーの提案により、イギリス、フランス、スペイン、ドイツ、教皇が和約する(ロンドン条約)

1518年10月4日-01:00|イタリア| |||<死去>モンフェッラート侯「ク・リエル9世」

1518年10月4日-01:00|イタリア| |||<就任>モンフェッラート侯「ボニファチオ4世」ク・リエル9世の子(〜15300606死去)

1518年10月5日-09:00|日本|静岡県伊豆の国市|永正15年9月|<交替>伊豆・相模国主「伊勢宗瑞」隠居⇒子の「伊勢氏綱」が継ぐ(〜天文10年7月19日(15410810)死去)

1518年10月8日 00:00|イギリス| |||対オスマン同盟のロンドン条約が結ばれる

1518年12月11日-09:00|日本|岡山県備前市|永正15年11月9日|播磨守護の赤松義村、備前・三石城の有力被官浦上村宗を攻撃

1518年12月27日-05:30|インド| |||<死去>ハフマニ朝第14代スルタン「シハブッディーン・マフムド・シャー」

1518年12月27日-05:30|インド| |||<即位>ハフマニ朝第15代スルタン「アフマド・シャー4世」(〜15201215)

1519年-08:00|マレーシア| |||<死去>ハフマニ朝第15代スルタン「アフマド・シャー4世」(〜15201215)

1519年-08:00|マレーシア| |||<即位>ハフマニ朝第15代スルタン「アフマド・シャー4世」(〜15201215)

1519年-05:45|ネパール| |||<即位>マラ(Bhaktapur)国王「Prana Malla」(〜1547年)

1519年-05:30|スリランカ| |||<死去>ジャファ王国国王「シンガ・イ・ハラセガラム」

1519年-05:30|インド| |||<死去>ベンガル・スルタン朝スルタン「アラウッディーン・フサイン・シャー」

1519年-05:30|スリランカ| |||<即位>ジャファ王国国王「カンキリ1世」(〜1561年)

1519年-05:30|インド| |||<即位>ベンガル・スルタン朝スルタン「Nasiruddin Nasrat Shah」(〜1533年死去)

1519年-05:00|トルクメニスタン/ウズベキスタン| |||<即位>ヒヴァ・ハン国第3代ハン「ハサン・クリルバリス1世」の従兄弟(〜1524年)

1519年-05:00|パキスタン| |||ハーフールがハイバル峠を越え、シエラ河まで侵攻

1519年-04:00|ロシア| |||<即位>カザン・ハン「シャー・アリー」カシムの子(1回目〜1521年)

1519年-04:00|ロシア| |||<即位>カシム・ハン「シャー・アリー」カシムの弟(〜1532年)

1519年-03:00|ソマリア/ジブチ/エチオピア| |||<即位>アダル・スルタン国スルタン「Garad Abun 'Adadshe」(〜1525年)

1519年-03:00|イェメン| |||<即位>アハド・スルタン「Ahmad bin Muhammad」(〜1520年)

1519年-02:00|ギリシャ/イタリア| |||<就任>ヴェネツィアのカンテリア公「アントニオ・モシニ」(〜1520年死去)

1519年-02:00|キプロス/イタリア| |||<就任>ヴェネツィアのカンテリア公「アントニオ・モシニ」(〜1520年死去)

1519年-01:00|フランス| |||<死去>リニー伯「Anthony1世」

1519年-01:00|フランス| |||<就任>エタンブ 伯「Claude of France」(〜1524年)

1519年-01:00|マルタ/イタリア| |||<就任>シチリア領マルタ副総督「Luguterra de Nava」(〜1520年)

1519年-01:00|ポスニア・ヘルツェゴビナ/トルコ| |||<就任>ポスニア総督「ガシ・バリ・ベイ」(〜15210915)

1519年-01:00|スペイン/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領セウラ提督「Gomes da Silva de Vasconcelos」(1期目〜1521年)

1519年-01:00|フランス| |||<就任>リニー伯「Anthony1世」アントニオ1世の息子(〜1530年死去)

1519年-01:00|アルジェリア/トルコ| |||オスマン朝がハイル・アッディーンをアルジェ総督に任命

1519年-01:00|スペイン/アメリカ| |||スペインの探検家ピネダがアメリカ東海岸を探索

1519年 04:00|トミニカ共和国/スペイン| |||イスパニョーラ島サンファン・デ・ラ・マグアナのカーケ、エンリケ・ニコ、スペイン人の暴虐に抗議し反乱

1519年 05:00|パナマ/スペイン| |||カスティージャ・デ・ボカからチコ州分離

1519年1月-01:00|ドイツ/オーストリア| |||<廃位>グェルテンベルク公「ウルリヒ」グェルテンベルクはオーストリアに占領された(〜1534.5)

1519年1月12日-01:00|ドイツ/オーストリア/イタリア/チェコ/スロベニア/フランス| |||<死去>神聖ローマ皇帝・イタリア王・オーストリア大公・シチリア王「マクシミリアン1世」(〜15500712死去)

1530迄 (2001件)

マルク公・ケルテン公・チロル伯「マクシミリアン1世」59歳 (誕生14590322)
1519年1月12日-01:00|ドイツ/オーストリア/イタリア/フランス| |||<即位>神聖ローマ帝国皇帝代理「(ライン川のプファルツ伯爵)ルートヴィヒ5世」、「(ザクセンのプファルツ伯爵、ザクセン公)フリードリヒ3世」(~6. 17)
1519年1月12日-01:00|オーストリア| |||<即位>オーストリア大公「カール1世」シチリア王・ナポリ王・スเปน王カロス1世 (~15210421讓位~15580921死去58歳)
1519年1月28日-09:00|日本|長野県諏訪郡下諏訪町|永正15年12月28日|諏訪頼満、金刺昌春の籠もる萩倉要害を攻め落として追放し、諏訪地方を統一
1519年1月31日-09:00|日本|京都府|永正16年|<交替>丹後国守護「一色義清」⇒「一色義幸」(~永禄元(1558)年4月隠居)
1519年1月31日-09:00|日本|滋賀県|永正16年|<交替>近江国守護「六角高頼」⇒「六角義実」(~天文6(1537)年出家)
1519年2月5日-01:00|ハンガリー| |||<死去>ハンガリー王国パラティン「イムレ・フェジエ・レム・ペレーニャ・シクロシ」
1519年2月5日-01:00|ハンガリー| |||<就任>ハンガリー王国パラティン代行「ロリンク・ウヅラキ」(~15190528)
1519年2月9日-09:00|日本|兵庫県|永正16年1月10日|細川澄元が四国の兵を率いて上洛を企て兵庫に上陸
1519年3月 07:00|メキシコ/スペイン| |||コルテス、タパスコで原住民とのあいだに戦闘。大勝利
1519年3月26日-09:00|日本|長野県|永正16年2月26日|長尾為景、信州島津貞忠と和議を結ぶ
1519年3月27日-09:00|日本|兵庫県尼崎市|永正16年2月27日|細川高国が摂津尼ヶ崎に大物城(尼崎城)を築城
1519年3月29日-01:00|イタリア| |||<死去>マントヴァ侯「フランチェスコ2世・ゴンザーガ」
1519年3月31日-01:00|フランス| |||<即位>オルレアン公「アンリ1世」フランス王アンリ2世 (~15360810)
1519年4月-02:00|トルコ| |||アナトリアでジェーラーレ反乱
1519年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ジローラモ・デ・イ・ジュリアーノ・ゴジ」
1519年4月3日-01:00|イタリア| |||<就任>マントヴァ侯「フェデリコ2世・ゴンザーガ」フランチェスコ2世の息子(⇒15300325マントヴァ公⇒15330430兼モンフェッラート侯~15400628死去)
1519年4月6日-09:00|日本|広島県廿日市市|永正16年3月7日|厳島弥山神護寺の造立成る
1519年4月12日-09:00|日本|愛媛県松山市|永正16年3月13日|善応寺の土球、地藏菩薩の木像を造る
1519年4月22日 07:00|メキシコ/スペイン| |||コルテスがベラクルス海岸に上陸し、アステカ帝国の征服を開始
1519年4月29日-09:00|日本|山梨県|永正16年4月|今井信是が武田信直に降伏し内乱終結
1519年5月2日-04:00|ロシア| |||<死去>ロシア女帝「カタリナ1世」[1452年04月15日生~] (享年67)
1519年5月2日-01:00|イタリア| |||<死去>レオナルド・ダ・ヴィンチがクルーの館で/67歳 (誕生:14520415)
1519年5月4日-01:00|イタリア| |||<死去>ウルビーノ公「ロレンツォ2世・デ・メディチ」兼フィレンツェのシニョーレ
1519年5月4日-01:00|イタリア| |||<就任>フィレンツェのシニョーレ「ジュリオ・デ・メディチ」(~15231119教皇(クレメン7世)に選出されたためローマに移る)
1519年5月12日-09:00|日本|鹿児島県|永正16年4月14日|<死去>薩摩・大隅国守護「島津忠隆」⇒弟の「島津忠兼」が継ぐ(~大永7(1527)年6月解任)
1519年5月12日-09:00|日本|宮崎県|永正16年4月14日|<死去>日向国守護「島津忠隆」⇒弟の「島津忠兼」が継ぐ(~大永7(1527)年6月解任)
1519年5月15日-01:00|アルジェリア/トルコ| |||アルジェリアのバハ・ロスがオスマン朝に帰順し、大総督に任命
1519年5月18日-01:00|ハンガリー| |||<就任>ハンガリー王室総督「イシュトヴァーン・バートリ・エケセーイ」(1回目~15250705)
1519年5月18日-09:00|日本|愛媛県|永正16年4月20日|<死去>伊予国守護「河野通宣」来島城で病死⇒子の「河野通直」が継ぐ(~天文19(1550)年)
1519年5月26日-09:00|日本|島根県出雲市|永正16年4月28日|出雲守護の尼子経久が造営した杵築大社の上棟遷宮が行われる
1519年5月27日-09:00|日本|岡山県備前市|永正16年4月29日|浦上村宗、真木貞邦を遣わして宍粟範高を八塔寺に襲撃/範高、播磨国上月城に走る
1519年5月29日-09:00|日本|群馬県沼田市|永正16年5月|沼田泰輝、沼田台地に幕岩城を築き、小沢城より移る
1519年6月7日-09:00|日本| |||永正16年5月10日|連歌師宗長、連歌論「雨夜記」成る
1519年6月8日-09:00|日本|兵庫県淡路市|永正16年5月11日|<死去>淡路国守護「細川尚春」細川澄元の将三好之長に殺害される
1519年6月28日-01:00|ドイツ/オーストリア/イタリア/フランス| |||<即位>ドイツ王・イタリア王「カール5世」(戴冠式15300224~15560826没)
1519年7月10日-08:00|中国| |||明・正徳14年6月14日|江西省の寧王宸濠が帝位乗っ取りの陰謀が発覚し、反乱を起こすが王陽明が平定
1519年7月12日-09:00|日本|岐阜県|永正16年6月16日|<死去>美濃国守護「土岐政房」
1519年7月25日-01:00|イタリア| |||<死去>スレート公「フランチェスコ・シーボ」
1519年8月15日 05:00|パナマ/スペイン| |||スペインのパナマ総督ペドロ・リアスが高温多湿のダリエンを嫌い、太平洋岸のガジネロ川(リオ・アパホ)河口にオルト・パナマ市建設
1519年8月15日-09:00|日本|愛媛県|永正16年7月20日|<死去>伊予河野氏当主「河野通宣」(不明)
1519年8月25日-09:00|日本|山梨県甲府市|永正16年8月|御崎明神、躑躅ヶ崎館三の郭に遷座
1519年8月25日-09:00|日本|山梨県甲府市|永正16年8月|大神宮、甲府城下町(甲府市屋形2丁目)に移転
1519年8月25日-09:00|日本|山梨県甲府市|永正16年8月|府中八幡宮、躑躅ヶ崎館の西に遷座
1519年8月25日-09:00|日本|山梨県甲府市|永正16年8月|武田信虎が躑躅ヶ崎館を築城
1519年8月31日 07:00|メキシコ/スペイン| |||コルテス軍、トラスカ族連合軍と最初の交戦。3千人の敵兵を撃破。その後もトラスカ

1530迄(2001件)

う族と二回にわたり戦闘

1519年9月 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド 副卿「ラッカのモーリス・フィッツジェラルド」(~15200523没)

1519年9月 04:00|プエルトリコ/スペイン| |||<就任>プエルトリコ副知事「Antonio de la Gama」(1期目~15210115)

1519年9月2日 00:00|カナ/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル・コールド・コスト長官「トウアルテ・パチェコ・ペレイラ」(~15220110)

1519年9月8日-09:00|日本|静岡県伊豆の国市|永正16年8月15日|<死去>前相模・伊豆国主「伊勢宗瑞」伊豆韮山城にて/87歳(誕生:永享4(1432)年)

1519年9月12日-09:00|日本|千葉県市原市|永正16年8月19日|古河公方足利高基、結城・羽生・菅谷らを率いて真里谷武田氏の拠点、上総椎津城を攻める

1519年9月19日-09:00|日本| |||永正16年8月26日|<死去>亮胤法親王(63歳)第161世天台座主

1519年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「イノチェンツォ・デ・イ・メネッティ・ボネリ」「フランチェスコ アントニオ・ベルツィ」

1519年10月2日-09:00|日本|新潟県|永正16年9月9日|長尾為景が、一向一揆と結んだ神保慶宗らと境川で戦い破る

1519年10月13日 07:00|メキシコ| |||コルテス、 Cholula 族のアステカへの内通を疑い、奇襲により三千人を大虐殺

1519年10月24日-09:00|日本|岐阜県|永正16年10月|<任命>美濃国守護「土岐頼武」(~享禄3(1530)年追放)

1519年10月29日-09:00|日本|富山県下新川郡朝日町|永正16年10月6日|<境川の戦い>長尾軍が神保慶宗を境川で敗退させる

1519年10月31日-01:00|イタリア| |||ベネチア、半ドゥカート貨幣鑄造

1519年11月14日 07:00|メキシコ| |||コルテス、ベラクルス砦の守備隊がアステカ軍に襲われたことを知り、無抵抗のモンテスマをたらえ軟禁/事実上の支配権獲得

1519年11月14日-09:00|日本|大阪府高槻市|永正16年10月22日|<田中城の戦い>夜半より細川高国軍が田中城を夜討ちするが城方は十分な防備を整えを待ち構え首級30余りを討ち取られ惨敗

1519年11月22日-09:00|日本|岡山県備前市|永正16年11月|赤松義村、再度三石城の浦上村宗を攻撃

1519年11月22日-08:00|中国| |||明・正徳14年11月|明の正徳帝が宸濠に対する親征と称して南京に至る

1519年11月30日-09:00|日本|兵庫県西宮市|永正16年11月9日|細川澄元と之長、1万の軍勢で阿波より兵庫に渡海し摂津・越水城を攻撃

1519年12月12日-09:00|日本|兵庫県西宮市|永正16年11月21日|細川高国、細川澄元・三好之長討伐のため山城・摂津・丹波衆を率いて摂津に出陣

1519年12月13日 03:00|プエルトリコ/スペイン| |||マゼランがリオデジャネイロに到着し、アメリカに初上陸

1519年12月17日-09:00|日本|福井県|永正16年11月26日|<交替>若狭国守護「武田元信」出家落飾し入道紹壮と号す⇒子の「武田元光」(~天文8(1539)年隠居)

1519年12月22日 04:00|ドミニカ共和国/スペイン| |||<就任>サント・ミンゴ 総督「ロドリゴ・デ・フィゲロア」(~1520年)

1520年-08:00|フィリピン| |||<即位>マギンダナオ王国スルタン「Sharif Muhammad Kabungsuwan」建国(~1543年死去)

1520年-08:00|インドネシア| |||東部ジャワのマジャパヒト王国が数個の土侯国に分裂して消滅

1520年-07:00|オーストラリア| |||<死去>ランサン王朝国王「ウイソン・ナート(ブー・ハー・ン)」

1520年-07:00|オーストラリア| |||<即位>ランサン王朝国王「ボ・ティサラ」(~1548年死去)

1520年-05:45|ネパール| |||<即位>マラ(Kantipur) 国王「Surya Malla」(~1530年)

1520年-05:30|インド| |||<即位>ファルギー朝ハン「Miran Muhammad Shah1世」(~1537年)

1520年-05:30|インド| |||グイジャヤガール王国がアデール・シャーヒー朝に大勝

1520年-05:30|インド/ポルトガル| |||チャウルをポルトガルが所有

1520年-04:30|アフガニスタン| |||コント・ウスはバダフشانに併合(~1545年)

1520年-03:00|イェメン| |||<即位>タリド・スルタン「Abd al-Malik bin Muhammad」(~1527年)

1520年-03:00|マダガスカル| |||<即位>メラ王国君主「女王Rangita」(~1530)

1520年-02:00|ギリシャ/イタリア| |||<死去>ヴェネチアのカンティア公「アントニオ・モロシーニ」

1520年-02:00|ギリシャ/イタリア| |||<就任>ヴェネチアのカンティア公「マルコ・ラント(副公爵)」(~1521年)

1520年-02:00|トルコ| |||<即位>アイユブ 朝(ヒスン・カイファ)アミール「Malik Hussayn」(~1521年)

1520年-02:00|トルコ| |||<即位>ラマダニス・ハン「Piri Mehmed Pasa」(~1568年)

1520年-01:00|アルジェリア| |||<就任>アルジェのベイルベ「アフメド・ベルカデ」カビレ指導者(~1525年)

1520年-01:00|マルタ/イタリア| |||<就任>シチリア領マルタ副総督「Giovanni di Mazara」(2期目~1521年)

1520年-01:00|リビア/スペイン| |||<就任>スペインのトリポリタニア総督「フランソワ・ウエラスケス」(~15300725)

1520年-01:00|モンテネグロ| |||<就任>モンテネグロ司教公「トイツ2世」(~1530年)

1520年-01:00|ドイツ| |||<即位>リュネブルク侯「エルスト1世告白公」(~15460111死去),「オットー」(~1527年)

1520年 00:00|イギリス| |||<死去>デズモンド 伯「モーリス・フィッツジェラルド」

1520年 00:00|カリヤ諸島/スペイン| |||<就任>スペイン王国植民地ケラン・カリヤ島知事「Bernardino de Anaya」(~1521年)

1520年 00:00|イギリス| |||<就任>デズモンド 伯「ジェームス・フィッツジェラルド」(~15290618死去)

1520年 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| |||<就任>プライアドナリア長官「Alvaro Martins Homem2世」(~1535年死去)

1520年 04:00|ドミニカ共和国/スペイン| |||<復元>サント・ミンゴ 大審問院(~1797年)(キューバ[1764年まで]、フロリダ[1763年まで]、ベネズエラ[1739年まで]、ジャマカ[1655年まで]、プエルトリコ、トリニダード[1739年まで]管轄)

1520年 04:00|プエルトリコ| |||サ島はプエルトリコに併合

1520年 04:00|プエルトリコ/スペイン| |||サ島所有権はフランス・デ・ハ・リオヌールに移る(~1524年)

1520年 05:00|パナマ/スペイン| |||<就任>カステイリャ・デ・ロサ総督「ロペ・デ・ソサ・マ」(~5. 20没)

1520年 07:00|メキシコ| |||<即位>タラスカ王タンガシュアン2世(~15300214死去)

1520年1月10日 03:00|アルゼンチン/スペイン| |||マゼラン隊がラプラタ河岸に上陸し、高身のチヨク人と遭遇

1530迄 (2001件)

1520年1月10日-09:00|日本|山梨県甲府市|永正16年12月20日|甲斐国守護「武田信虎」石和館から躑躅ヶ崎館に移転

1520年1月20日 07:00|メキシコ/スペイン| |||コルテスが再度アステカのテノチティトランの攻略に向かう

1520年1月21日-09:00|日本| ||永正17年|宗長、三河国水野近守のために宗長の師宗祇の句集「老葉」に注釈を加えた「老葉集」を記す

1520年1月21日-09:00|日本|山口県山口市|永正17年|山口八坂神社本殿できる

1520年1月30日-09:00|日本|兵庫県西宮市|永正17年1月10日|細川高国、瓦林正頼を助けて摂津越水城を包囲する
細川澄元と戦い敗れる

1520年2月1日-09:00|日本|京都府京都市|永正17年1月12日|京畿土一揆蜂起し京に攻め入る/蘆山寺・足利義植第を焼く

1520年2月19日-09:00|日本|大阪府|永正17年2月|<交替>摂津国守護「細川高国」⇒「細川澄元」(~5月)

1520年2月19日-09:00|日本|京都府|永正17年2月|<交替>丹波国守護「細川高国」⇒「細川澄元」(~5月)

1520年2月19日-09:00|日本|熊本県|永正17年2月1日|<交替>肥後国守護「菊池武包」解任⇒「菊池重治(義武)」(~天文12(1543)年解任)

1520年2月20日-09:00|日本|山形県|永正17年2月2日|<死去>羽州探題「最上義定」⇒「最上義守」が継ぐ(~元亀元(1570)年8月隠居)

1520年2月21日-09:00|日本|兵庫県西宮市|永正17年2月3日|<第一次越水城の戦い>細川澄元、摂津国越水城をおとし城主正頼敗走、細川高国は伊丹・尼崎などへ撤退

1520年3月1日-09:00|日本| ||永正17年2月12日|幕府が徳政令を出す

1520年3月3日-09:00|韓国/朝鮮| |||<就任>朝鮮国領議政「金詮」(~15230227)

1520年3月5日-09:00|日本|兵庫県尼崎市|永正17年2月16日|細川澄元・三好之長と細川高国が尼崎・長洲(摂津国)で戦い、澄元・之長が勝利

1520年3月6日-09:00|日本|兵庫県伊丹市|永正17年2月17日|伊丹城が落ち伊丹但馬守以下は自刃、細川高国が摂津から軍勢を退き、翌日近江坂本へ走る

1520年3月25日-09:00|日本| ||永正17年3月7日|永正地震(M7.0)紀伊・京都で地震、熊野・那智の寺院破壊、津波有り

1520年3月30日-09:00|日本|静岡県浜松市北区|永正17年3月12日|藤原井伊直広・代官小野源左衛門尉貞久、六所大明神(引佐町川名)社殿再建

1520年3月31日 03:00|アルゼンチン/スペイン| |||マゼラン隊がパタゴニアに到着し越冬、テウエルチ族と遭遇

1520年4月 07:00|メキシコ| ||中旬|ナハ・イス軍、セボ・アラを占領し、ペラクルスの守備隊に降伏を迫る

1520年4月1日-01:00|サマリヤ| |||<就任>サマリヤ共和国執政「アントニオ・デ・マウリツィオ・ルナルディ・エニ」(マリノ・ディ・セブルス)

1520年4月3日-09:00|日本|大阪府羽曳野市|永正17年3月16日|義英・越智氏が尚順の子植長・遊佐氏を高屋城に攻める

1520年4月4日-09:00|日本|長野県|永正17年3月17日|<死去>北信濃大名「村上顯平」病没/村上義清が家督を引き継ぐ

1520年4月6日-01:00|イタリア| |||<死去>ラファエロ/37歳(誕生14830406)イタリアの画家

1520年4月8日-09:00|日本|広島県尾道市|永正17年3月21日|尾道光明寺の本堂再興

1520年4月11日 07:00|メキシコ| |||ナハ・イス軍、サン・デ・ウルアに到着。セボ・アラを占領し、ペラクルスの守備隊に降伏を迫る。
守備隊はエスカランテが戦死、残された40人をサント・バルが指揮していたが、降伏を拒否

1520年5月16日 07:00|メキシコ| |||右腕アルカ・ラート、テノチティトランで行われたアステカの儀式に乱入し、神官・貴族を大虐殺

1520年5月17日-09:00|日本|大阪府|永正17年5月|<交替>摂津国守護「細川澄元」⇒「細川高国」(~大永4(1524)年4月21日隠居)

1520年5月17日-09:00|日本|京都府|永正17年5月|<交替>丹波国守護「細川澄元」⇒「細川高国」(~大永4(1524)年4月21日隠居)

1520年5月17日-09:00|日本|山梨県甲府市|永正17年5月|武田信直は国衆へ屋敷を甲府に移すよう命じるが国衆は反発、大井信達、今井信是、栗原信友らが蜂起

1520年5月20日-01:00|クロアチア| |||<死去>クロアチアとスラヴォニアとダルマチアのバン「ペタル・ヘルスラヴィッチ(ペーター・ヘルスロ)」

1520年5月20日 05:00|パナマ/スペイン| |||<死去>カステリャ・デ・ロサ総督「ロペ・デ・ソサ・マサ」

1520年5月20日 05:00|パナマ/スペイン| |||<就任>カステリャ・デ・ロサ総督「ペドロ・アリアス・デ・アベラ」(2回目~1526年)

1520年5月21日-09:00|日本|京都府京都市|永正17年5月5日|細川高国が大軍を率いて入京し、細川澄元方の三好之長を破る

1520年5月23日 00:00|アイルランド/イギリス| |||<死去>アイルランド 副卿「ラッカのモリス・フィッツジェラルド」

1520年5月23日 07:00|メキシコ| |||アステカ内の反スペイン派が反乱。モンテスマの呼びかけで戦闘は抑えられたが、宿舎は包囲される

1520年5月24日 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド 副卿「サリ伯爵トマス・ハワード」(~15211201)

1520年5月24日-09:00|日本|奈良県奈良市|永正17年5月8日|筒井勢が古市方超昇寺・山村・柴屋の在所を焼き、古市公胤を油山城に攻め落とす/古市氏内衆の井上九郎・山村・藤原氏が筒井方へ寝返る

1520年5月27日-09:00|日本|京都府京都市東山区|永正17年5月11日|三好之長が等持院の東南で管領の細川高国軍に破れ知恩院で自殺

1520年5月29日 07:00|メキシコ| |||コルテス軍はセボ・アラのナハ・イス軍を夜襲/倍の軍勢に打ち勝ち、ナハ・イスを逮捕

1520年6月14日-09:00|日本|奈良県奈良市|永正17年5月29日|古市・高山・超昇寺氏が奈良の筒井方中坊氏の陣へ夜討ちを掛け、中坊氏を破る/奈良は古市氏の支配下に置かれる

1530迄 (2001件)

1520年6月15日-09:00|日本|岩手県紫波郡紫波町|永正17年6月|南部安信、陸奥紫波郡で和賀氏を破る
1520年6月15日-09:00|日本|神奈川県相模原市|永正17年6月|里見上野入道(義通)、敵城近辺の田井・横山・小沢要害・根小屋の諸城を攻める
1520年6月15日-09:00|日本|山梨県甲府市|永正17年6月|躑躅ヶ崎館の北方の積翠寺丸山に要害山城(石水寺城/積翠寺城)を後詰めの城として築城
1520年6月17日-09:00|日本|奈良県奈良市|永正17年6月3日|中坊美作守・筒井勢が古市勢を破り、古市勢は大平尾へ退く
1520年6月19日-09:00|日本| ||永正17年6月5日|連歌師宗長、三河国水野藤九郎近守のために「老葉集」を記す
1520年6月22日-09:00|日本|山梨県笛吹市|永正17年6月8日|<都塚合戦>武田信虎は東郡都塚で戦い栗原信友軍を撃破し、栗原氏の居館を包囲
1520年6月24日-09:00|日本|徳島県板野郡藍住町|永正17年6月10日|<死去>前丹波・摂津・讃岐・土佐国守護「細川澄元」阿波勝瑞城で病死/32歳
1520年6月24日-09:00|日本|山梨県南アルプス市|永正17年6月10日|<今諏訪合戦>西郡今諏訪において、武田信虎は逸見氏(今井氏)と大井氏と戦い撃破。曾根大学助が戦死。栗原信友は武蔵国秩父へ逃亡、武田信虎は大井氏や今井氏と和睦/のちに栗原信友は許されて帰参する/武田信虎は再び反旗を翻した栗原氏、今井氏、大井氏らをわずか半年で一掃
1520年6月25日 07:00|メキシコ| ||クイトワクの指導する反乱開始/アステカ兵の果敢な戦いによりコルテス軍は街の中心部に追い込まれる
1520年6月27日-09:00|日本|富山県|永正17年6月13日|<境川の戦い>長尾為景、越中に出陣し、ついで境川に神保慶宗を攻める
1520年6月29日 07:00|メキシコ| ||アステカ帝国で、祭りのさなかスペイン人がアステカ神官や貴族を虐殺
1520年6月30日 07:00|メキシコ| ||「悲しき夜」。アステカ軍が総攻撃。スペイン兵の半数にあたる450人とインディア同盟軍4千人が倒れる
1520年6月30日 07:00|メキシコ| ||モテマ2世(モクテマ2世)が前日のスペイン人のアステカでの虐殺で死亡する。(誕生:1480?)。アステカ皇帝
1520年6月30日-09:00|日本|福島県会津若松市|永正17年6月16日|猪苗代盛光が蘆名盛舜を黒川に攻めるが、敗北
1520年7月1日 07:00|メキシコ| ||<即位>アステカ第11代国王クイトワク[アウツォルの息子](~15250227)
1520年7月7日 07:00|メキシコ| ||コルテス軍、湖の北岸を回りトラスカウを目指す。アステカ軍はオトゥンパでコルテス軍を迎え撃つ。コルテス軍は激戦の末、アステカ軍指令官を倒し、包囲突破に成功
1520年7月10日-01:00|ドミニカ共和国/ハイチ| ||ハイチのヘンリ8世とカール5世がカレ協約を結び、両国の同盟が成る
1520年7月13日-09:00|日本|山口県山口市|永正17年6月29日|大内義興、周防国山口に伊勢大神宮を勧請し、遷宮を行う
1520年8月-01:00|スペイン| ||スペイン国王カルロス1世の圧政に対してカステリャの諸都市が蜂起する(コムネラの反乱)
1520年8月18日-09:00|日本|宮崎県都城市|永正17年7月6日|伊東軍、都城に押し寄せるが乱戦となる/城ヶ尾を落とす
1520年9月 07:00|メキシコ| ||2か月にわたりアステカ人のあいだに天然痘大流行/クイトワクを含む数千人が死亡
1520年9月4日-09:00|日本|富山県|永正17年7月23日|長尾為景、越中新川郡で椎名勢を破る
1520年9月8日-09:00|日本|滋賀県近江八幡市|永正17年7月27日|<岡山城の戦い>六角定頼、細川高国に攻められ、伊庭貞説と九里浄椿は水荃岡山城で40日間の籠城戦を戦ったが、敗れて開城
1520年9月12日-09:00|日本|和歌山県|永正17年8月|畠山尚順、内衆との戦いに敗れ紀伊から追放される
1520年9月14日-09:00|日本|富山県下新川郡朝日町|永正17年8月3日|<境川の戦い(越中国)>長尾為景、越中境川城に神保慶宗と戦いこれを陥落させる、慶宗は二上山城に籠城
1520年9月21日-02:00|トルコ| ||<死去>オスマン帝国第9代スルタン「セリム1世」/50歳(誕生1467年)
1520年9月22日-09:00|日本|滋賀県|永正17年8月11日|<第二次伊庭氏の乱(近江国)>六角軍は伊庭氏の有力被官である九里氏の拠点であった九里城を攻めて伊庭氏・九里氏を六角領から排除
1520年9月26日-09:00|日本|栃木県那須郡那珂川町|永正17年8月15日|縄釣台の戦い/13日より白河義永・岩城常隆軍と資房軍を戦い撤退
1520年9月26日-09:00|日本|栃木県矢板市|永正17年8月15日|山田城の戦い/12日から白河義永・岩城常隆軍が那須政資を山田城を攻囲していたが退却
1520年9月30日-02:00|トルコ| ||<即位>オスマン帝国第10代スルタン「スレイマン1世」先代の長男(~15660906死去)
1520年10月-02:00|シリア・アラブ/トルコ| ||タマスクス総督ジャンバルディエーがオスマン朝に反乱
1520年10月1日-01:00|サンマリノ| ||<就任>サンマリノ共和国執政「アントニオ・デ・イ・ボニファツィオ」「フランチェスコ・デ・イ・ジローラモ」
1520年10月19日 03:00|サンピエール島/ミクロン島/ポルトガル| ||ポルトガルの航海士セルバレスファゲンデスによって発見され、1100パーセント諸島と名付けられたが、宮廷はそれらをグリーン諸島と名付けた
1520年10月21日 04:00|チリ/ポルトガル/スペイン| ||マゼランが、南米の最南端マゼラン海峡を発見
1520年10月28日-12:00|太平洋/チリ/ポルトガル/スペイン| ||マゼランが大きな海に抜ける/マゼランはこの海を「太平洋(イル・パシフィコ)」と名付ける
1520年10月30日-09:00|日本|静岡県周智郡森町|永正17年9月19日|城下牛頭天王社(谷本神社)創建
1520年11月 04:00|ドミニカ共和国/スペイン| ||<就任>サント・ミンゴ 総督「ディエゴ・コロンブス・イ・ベレストロ」(2回目~1524年)
1520年11月1日-01:00|スウェーデン| ||<即位>スウェーデン王国国王「クリスティアン2世」ルウエー・デ・ノマーク王(~15210823)
1520年11月8日-01:00|スウェーデン/デンマーク| ||<ストックホルムの血浴>10日にかけてデンマーク王クリスティアン2世が反連合派のスウェーデン人有力者を大量に処刑

1530迄 (2001件)

1520年11月28日-12:00|太平洋/刊| |||マゼランが大きな海に抜ける。「太平洋(イル・パシフィコ)」と名付ける
1520年12月3日 07:00|メキシコ| |||即位>アステカ第10代国王クイトラク[アツカトルの息子]
1520年12月9日-09:00|日本|滋賀県|永正17年6月10日|<死去>南近江六角氏12代当主「六角高頼」(65歳)
1520年12月10日-09:00|日本|岡山県|永正17年11月|<交替>備前・美作国守護「赤松義村」解任⇒「赤松晴政」任命(〜大永2(1522)年)
1520年12月10日-09:00|日本|兵庫県|永正17年11月|<交替>播磨国守護「赤松義村」解任⇒「赤松晴政」任命(〜永禄8年1月16日(15650216)死去)
1520年12月28日-05:30|インド| |||即位>バフマニ朝第16代スルタン「アラー・ウッデーン・シャー」(〜15230305)
1521年-08:00|インドネシア| |||<死去>トウマク王国スルタン「アデ・イン・ティ・ウス」
1521年-08:00|インドネシア| |||即位>スダガ・ガル王国マハラジャ「Prabu Surawisesa Jayaperkosa/Ratu Sang Hiang」(〜1535年)
1521年-08:00|インドネシア| |||<復位>トウマク王国スルタン「ラテン・パター2世」(2期目〜1546年死去)
1521年-07:00|カンボジア| |||<死去>カンボジア王国国王「コン」
1521年-05:30|スリランカ| |||即位>コッテ王国国王「プーガ・アンカバ 77世」(〜15501229死去)
1521年-05:30|スリランカ| |||即位>シータワカ王国国王「マヤ・ウンネ」(〜1581年死去)
1521年-05:30|スリランカ| |||コッテ王国が、コッテ王国、シータワカ王国、ライガマ王国の3国に分裂
1521年-05:00|ガザフスタン| |||<死去>ガザフ汗国ハン「カシム・ハン」
1521年-05:00|ガザフスタン| |||即位>ガザフ汗国ハン「マシュ」カシムの長男(〜1523年死去)
1521年-05:00|ガザフスタン| |||即位>ガ・イ・オルム・ハン「Sheidiak」(〜同年)
1521年-04:00|ロシア| |||<死去>アストラハン・ハン「ジャン・ベク」
1521年-04:00|ロシア| |||即位>アストラハン・ハン「フェイン」(1回目〜1523年)
1521年-04:00|ロシア| |||即位>カザン・ハン「サヒブ・ゲレイ」(〜1524年)
1521年-04:00|オスマン/ポルトガル/イラン| |||フェイン・ビン・サイードとポルトガル軍によってペルシャ守備隊はマーンから追放された
1521年-03:30|イラン| |||即位>ホムズ・シャー「ソルタン・ムハンマド・シャー2世」(〜1534年)
1521年-03:00|イェメン/トルコ| |||<就任>オスマン帝国サ総督「Kemal Bey al-Rumi」(〜1524年)
1521年-02:00|ギリシャ/イタリア| |||<就任>ヴェネツィアのカンティエ公「マルコ・ミニオ」(〜1524年)
1521年-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>ダマスカス・ワリス(総督)「アヤス・メフメト・パシャ」(〜1522年)
1521年-02:00|トルコ| |||<復位>アイユーブ朝(ヒスン・カイファ)アミール「Adil Sulayman2世」(2期目〜1524年)
1521年-01:00|フランス| |||<死去>スガール伯「Charles2世」
1521年-01:00|クロアチア| |||<就任>クロアチアとスガール・オニアとダルマチアのハン「イヴァン・カルロウ・イチ」(1回目〜1524年8月)
1521年-01:00|マルタ/イタリア| |||<就任>シチリア領マルタ副総督「Pietro de Stuniga」(〜1522年)
1521年-01:00|リビア/トルコ| |||<制定>オスマン帝国のキレイク部分(トリポリに從属)
1521年-01:00|フランス| |||即位>スガール公「Francois1世」(〜15610213死去)
1521年-01:00|セルビア| |||<退陣>亡命セルビア専制公「ステファン・ペリスラウ・イチ」
1521年-01:00|ベルギー| |||プロイセンはリエージュ司教区の一部(〜1552年)
1521年 00:00|アイスランド/デンマーク| |||<就任>アイスランド支配者「ハンス・エッケルトソン」(2回目〜1524年)
1521年 00:00|カリヤ諸島/スペイン| |||<就任>スペイン王国植民地グラン・カリヤ島知事「Pedro Suarez de Castilla」(2期目〜1523年)
1521年 00:00|モロッコ| |||<就任>タンジール首長代行「エンリケ・デ・メネス」(〜1522年)
1521年 00:00|モリタニア/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領アルギン長官「ゴンサロ・ダ・フォンセカ」(〜1522年)
1521年 00:00|マン島/イギリス| |||<就任>マン島知事「Thomas Denisport」(〜1522年)
1521年 00:00|ポルトガル/インドネシア| |||ポルトガルがモルッカ諸島のトルナテに要塞を築く
1521年 01:00|カーボベルデ/ポルトガル| |||<就任>カーボベルデ諸島のコレヒョール治安判事「ロニス・コレイア」(〜1527年)
1521年 06:00|アメリカ| |||サンファン島が正式にプエルトリコの首都と制定される
1521年 07:00|メキシコ/中米/アメリカ/スペイン| |||<制定>スペイン領ヌエバ・エスパニーヤ(〜1821年)
1521年1月10日-02:00|キプロス| |||<死去>聖ヨハネ騎士団グランド・マスター「ファブリス・オ・デル・カレット」
1521年1月14日-09:00|日本|長崎県対馬市|永正17年12月6日|<死去>対馬国守護「宗義盛」⇒「宗盛長」が継ぐ(〜大永6(1526)年死去)
1521年1月15日 04:00|プエルトリコ/スペイン| |||<就任>プエルトリコ副知事「Pedro Moreno」(1期目〜1523.5)
1521年1月22日-02:00|キプロス| |||<就任>聖ヨハネ騎士団総長「アイルランド領主フィリップ・ド・ウーリエ」(⇒15301026、マルタ騎士団総長〜15340821)
1521年1月29日-09:00|日本|富山県富山市|永正17年12月21日|<新庄の戦い(越中国)>長尾為景が一向一揆と結んだ神保慶宗と越中新庄で戦い、神保・遊佐・椎名・土肥氏ら数千人を敗死させる
1521年1月30日-09:00|日本|富山県富山市|永正17年12月22日|新庄城の戦いで長尾為景軍に敗北して越中守護代・神保慶宗が自刃し、壊滅状態
1521年2月4日-13:30|カリバス/ポルトガル| |||フェルデ・イナント・マゼランがフリント島を発見
1521年2月8日-09:00|日本|静岡県駿東郡小山町|永正18年|密堂秀嚴、大雄山宝鏡寺(小山町竹之下)を再興
1521年2月8日-09:00|日本|静岡県浜松市|永正18年|曹洞宗寺院で可睡齋末の竜秀院(浜松市有玉北町)創建
1521年2月8日-09:00|日本|鳥取県|永正18年|<任命>伯耆国守護「山名澄之」(〜大永4(1524)年)
1521年2月8日-09:00|日本|長野県佐久市|永正18年|前山城主伴野貞祥は祖父伴野光利の三十三回忌、父伴野光信の七周忌の追善のために前山に貞祥寺を開基
1521年2月8日-09:00|日本|福井県小浜市|永正18年|武田元光、発心寺創建(小浜市伏原)

1530迄 (2001件)

1521年2月8日-09:00|日本|山梨県甲府市|永正18年|武田信虎、大泉寺を創建して甲斐国曹洞宗の僧録所とする
1521年3月 05:00|パナマ| |||ティエラフィルムのカピチとマカパナ沿岸のインディオ、アソツ・デ・マカパの奴隷狩に抗議して反乱/サント・ドミンゴのアウディエンスはゴンサロ・デ・カンボをおくりこれを鎮圧
1521年3月6日-10:00|北マリア諸島/スペイン| |||フェルディナント・マゼランによって発見され、スペインのためラス・アイルス・デ・ラス・ペラス・ティエラス[ティエセルの島]と名付け領有宣言
1521年3月6日-10:00|グアム/スペイン| |||フェルディナント・マゼランによってグアムが発見され、スペインのためにラス・アイルス・デ・ラス・ペラスの一部として領有宣言
1521年3月7日 03:00|日本|兵庫県姫路市|永正18年1月28日|赤松義村、浦上村宗方の御着城を攻撃
1521年3月9日-10:00|北マリア諸島/スペイン| |||ラス・アイルス・デ・ラス・ペラス・ティエラス[ティエセルの島]を泥棒島に名前変更
1521年3月15日-01:00|ドイツ/オランダ| |||<死去>クレフェ公・マルク伯「ヨハン2世」62歳
1521年3月15日-01:00|ドイツ/オランダ| |||<即位>ユリヒ=クレフェ公・マルク伯・ラフェンスベルク伯「ヨハン3世」(~15390206死去)
1521年3月17日-08:00|フィリピン/スペイン| |||スペイン艦隊を率いたフェルディナント・マゼランがフィリピン諸島を発見、サラザール群島と名付け領有宣言
1521年3月20日 03:00|日本|和歌山県伊都郡高野町|永正18年2月12日|<高野山永正18年の大火>午の刻(昼ごろ)、炎は西院の福智院からあがり、次々と延焼、わずか奥の院を残したのみで、開祖を祀る御影堂をはじめ金堂(本堂)、真言密教根本道場の中心である大塔、往生院など堂塔、伽藍のすべて300宇余、衆徒(僧兵など)、行人(修行僧)などの人たちの坊(宿坊:居宅)3900宇(軒)を焼失し、仏像から顕密の聖経をはじめ多くの経巻を焼き尽くした
1521年4月-06:30|ミャンマー| |||<即位>ムラウケー国王「ミンカウ」(~15310527)
1521年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「バルトロメオ・デ・アントニオ・アマンティ」「バルトロメオ・デ・シモーネ・ベルツィ」
1521年4月5日-09:00|日本|山梨県|永正18年2月28日|駿河今川軍が甲斐河内に侵入/穴山信風が今川方となる
1521年4月16日-09:00|日本|兵庫県淡路市|永正18年3月10日|將軍足利義植が管領細川高国の専横に怒り、和泉から淡路沼島へ渡る(島公方と呼ぶ)
1521年4月19日-01:00|ドイツ/パチン| |||ゲオルクスで、カル5世と教皇レオ10世の間に対仏秘密同盟が結ばれる
1521年4月20日-08:00|中国| |||明・正徳16年3月14日|<死去>明第11代皇帝「武宗正徳帝(朱厚照)」親征途中で
1521年4月21日-01:00|オーストリア/スロベニア| |||<譲位>オーストリア大公・ケルテン公・シュターアマルク公「カール1世」
1521年4月21日-01:00|オーストリア/スロベニア| |||<即位>オーストリア大公・ケルテン公・シュターアマルク公・カルニオラ公「フェルディナント1世」(~15640725死去61歳)
1521年4月23日-01:00|スペイン| |||コムネロスの反乱/カル5世の出帆に怒ったコムネロスたちが武装蜂起し、国王軍とビジャール・ル・デ・ロス・コムネロスで衝突/しかし反乱は鎮圧される
1521年4月26日-08:00|フィリピン/ポルトガル| |||マゼラン、フィリピンのマクタン島攻略を試みる。マクタンの首長ラフ・ラフ、マゼランの攻撃を打ち破り殺害
1521年4月27日-08:00|フィリピン/ポルトガル| |||マゼランが、マクタン島で不用意な討伐を行ったため、原住民の策略にかかり12人の部下とともに戦死する。(誕生:1480)
1521年4月28日-01:00|フランス| |||<死去>ブルボン公「シュザンヌ」
1521年4月28日-01:00|フランス| |||<就任>ブルボン公「シャルル3世」(~15270506死去)
1521年4月28日 07:00|メキシコ| |||コルテス、テスココで帆船13隻を進水させアステカ軍のカヌーを撃滅し水上戦を制覇
1521年5月3日-01:00|イタリア| |||ベネチア、皇帝カール5世とウルムス条約
1521年5月7日-09:00|日本|長崎県五島市|永正18年4月1日|五島の宇久盛定は、旧臣を集め玉之浦を攻め納を自刃させ旧領を回復/玉之浦大宝勢はやがて敗走し自刃
1521年5月13日 00:00|イギリス| |||<死去>バッキンガム公・スタッフォート 伯「エドワード・スタッフォート」大逆罪で処刑、私権剥奪
1521年5月17日-08:00|中国| |||明・正徳16年4月12日|明の世宗嘉靖帝と閣臣の間で父の興献王を祭る儀式に関して対立が起こる(大礼の議)
1521年5月23日 00:00|マン島/イギリス| |||<死去>マン島主・ダートマス・伯「Thomas 3世 Stanley」
1521年5月23日 00:00|マン島/イギリス| |||<就任>マン島主・ダートマス・伯「Edward Stanley」(~15721024死去)
1521年5月25日-09:00|日本|山梨県|永正18年4月19日|<改名>甲斐国守護「武田信直」⇒「武田信虎」
1521年5月27日-08:00|中国| |||明・正徳16年4月22日|<即位>明第12代皇帝「世宗嘉靖帝(朱厚圻)」成化帝の孫・正徳帝の従兄弟(~嘉靖45年12月14日(1567年1月23日))、楊廷和が擁立
1521年5月28日-01:00|フランス/ドイツ| |||神聖ローマ帝国とフランスの4度にわたる戦争が開始
1521年5月30日-01:00|ポーランド| |||<死去>レグニツァ公「ジョージ1世」
1521年6月-01:00|ドイツ/イタリア| |||神聖ローマ皇帝カール5世がミラノからフランス軍を駆逐するためにイタリア遠征を開始
1521年6月11日-01:00|ハンガリー| |||<死去>ハンガリー王国摂政「タマス・ビロロス・バコチ」
1521年6月18日 00:00|ポルトガル| |||<就任>ダゲイェウ公「マリア」(~15771010死去)マヌエル1世の3度目の結婚で産んだ娘
1521年6月21日-01:00|イタリア| |||<死去>ヴェネチア共和国第75代ドージェ(元首)「レオナルド・ロダゴン」
1521年6月23日 07:00|メキシコ/スペイン| |||アルバート、タパ提道上より市内突入を図るが、甚大な被害を出し敗退
1521年6月30日 07:00|メキシコ/スペイン| |||スペインのエルナン・コルテス軍、テノチティトランにたてこもるクアウテモク軍に対し総攻撃を開始するが、アステカ軍の激しい反撃にあいいったん撤退
1521年7月-04:00|ロシア| |||リザンがモスクワに併合(モスクワが他のロシア公国の併合を完了)
1521年7月-03:00|バーレーン/ポルトガル| |||ポルトガルがバーレーン占領(~同年)
1521年7月4日-09:00|日本|千葉県松戸市|永正18年6月|里見義通の軍勢が小金方面へ侵入して高城氏の根木内城に火をかける

1530迄 (2001件)

1521年7月6日-01:00|イタリア| |||<就任>ヴェネツィア共和国第76代ドージェ(元首)「アントニオ・グリマーニ」(~15230507死去)
1521年7月16日-09:00|日本|三重県伊勢市|永正18年6月13日|伊勢大神宮遷宮/伊勢内宮の別宮高宮正遷宮が今川氏親の奉加によって行われる
1521年7月19日-09:00|日本|福島県会津若松市|永正18年6月16日|猪苗代盛光が蘆名盛舜を黒川に攻めるが、敗北
1521年7月24日-09:00|日本|千葉県松戸市|永正18年6月21日|<行人台の戦い>小弓公方足利義明が根木内城の南西、谷津を隔てて対峙する行人台城を攻め高城氏家臣「鈴木帯刀」らを討ち取る
1521年7月28日 07:00|メキシコ/スペイン| |||コルテス軍と西方から侵入したアズテカ軍がトラテロコ広場で合流。アステカ軍、兵糧ぜめにあい崩壊
1521年8月-01:00|ハンガリー/トルコ| |||オスマン朝が第1回ハンガリー遠征、ベオグラードを占領
1521年8月2日-07:00|ベトナム| ||大越・光紹6年7月|大越でマック・ダン・ズン(莫登庸)が実権をにぎる
1521年8月9日-09:00|日本|福島県南相馬市|永正18年7月7日|<死去>陸奥小高領主「相馬盛胤」⇒嫡男の「相馬顕胤」が継ぐ(~天文18年2月2日(15490301)死去)
1521年8月13日 07:00|メキシコ/スペイン| |||<就任>ヌエバ・イスパニア総督「エルナン・コルテス・デ・モンroi・イ・ピサロ・アルタミラ」(1回目~12.24)
1521年8月13日 07:00|メキシコ/スペイン| |||アステカ王国がエルナン・コルテスのスペイン軍によって滅亡させられる
1521年8月17日-09:00|日本|山梨県|永正18年7月15日|河内の武田八郎(穴山信友)が武田信虎の許しを得て再び武田に従属
1521年8月19日-09:00|日本|愛知県瀬戸市|永正18年7月17日|尾張国尾張戸神社・同神宮寺が焼失
1521年8月23日-01:00|スウェーデン| |||<就任>スウェーデン王国摂政「ゲスタフ・エリクソン・ヴァーサ」(後のスウェーデン王ゲスタフ1世) (~15230606スウェーデン王ゲスタフ1世)
1521年8月23日-01:00|スウェーデン| |||<退位>スウェーデン王国国王「クリスティアン2世」
1521年8月29日-01:00|セルビア/トルコ| |||オスマン帝国がベオグラードを併合
1521年9月7日-09:00|日本|京都府京都市|永正18年8月7日|<死去>政所執事「伊勢伊勢守貞陸」59歳
1521年9月10日-09:00|日本|山梨県甲府市|永正18年8月10日|要害山城落成/武田信虎、駒井昌頼に城番を命じる
1521年9月15日-02:00|ルーマニア| |||<死去>ワキア総督・領主「ネコエ・バサラフ5世」
1521年9月15日-01:00|ボスニア・ヘルツェゴビナ/トルコ| |||<就任>ボスニア総督「ガジ・フスル・ベイ」(1回目~1525年6月)
1521年9月16日-02:00|ルーマニア| |||<就任>ワキア総督・領主「テオドシウス」(~15220125死去)
1521年9月23日-09:00|日本| ||大永1年8月23日|「大永」に改元
1521年9月28日-09:00|日本|埼玉県川越市|大永1年8月28日|関東管領上杉憲房、上杉朝興の河越城を攻撃
1521年9月28日-09:00|日本|千葉県|大永1年8月28日|小弓軍、高城氏の拠点下総小金を攻めたが双方に討死多数を出す
1521年9月28日-09:00|日本|山梨県|大永1年8月28日|武田信虎軍、河内を総攻撃/今川方の富士勢敗退
1521年9月30日-09:00|日本| ||大永1年8月30日|大内義興が義晴の仲介によって尼子経久と和睦
1521年10月-02:00|ルーマニア| |||<就任>ワキア対抗総督・領主「ウラト6世修道士」(~同年没)
1521年10月1日-01:00|サマリノ| |||<就任>サマリノ共和国執政「クリストファロ・マルテリ」 「ジャコモ・ディ・ロドヴィゴ・カルチーニ」
1521年10月6日-09:00|日本|山梨県南巨摩郡身延町|大永1年9月6日|<大島の戦い>今川方の土方城(高天神城)主福島助春(兵数5000)が出陣、甲斐の河内へ侵攻。武田信虎は河内の大島で迎え撃つが、甲斐の国衆からの参戦はなく、兵力で劣る武田軍は敗北/波木井三河守義実が今川軍に通ず
1521年10月16日-09:00|日本|山梨県南アルブス市|大永1年9月16日|今川氏親軍福島正成は大井氏の属城富田城(甲西町戸田)を攻めとる
1521年10月17日-09:00|日本|兵庫県たつの市|大永1年9月17日|<死去>播磨守護「赤松義村」(不明) 浦上村宗の放った刺客により室戸において暗殺された⇒播磨・備前・美作の支配権を備前三石領主「浦上村宗」が奪う(~享禄4年6月4日(15310717)死去)
1521年10月23日-09:00|日本|静岡県沼津市|大永1年9月23日|<死去>青野山妙泉寺(沼津市青野)開山日蓮
1521年11月15日-09:00|日本|山梨県甲斐市|大永1年10月16日|<飯田河原の戦い>甲斐に進攻した福島正成軍は武田軍に襲い掛かる/武田軍の奮戦で、福島軍は押し切れずに龍地台に引き揚げた/今川氏に与していた穴山信綱が討死。穴山信風は武田信虎に服従
1521年11月19日-01:00|フランス/ドイツ/バチカン/イタリア| |||神聖ローマ皇帝軍と教皇軍がフランス占領下のミラノに侵攻、ミラノからフランス・ヴェネツィア軍追い出される
1521年11月20日-01:00|イタリア| |||<退位>ミラノ公「フランソワ1世」
1521年11月23日-09:00|日本|大阪府堺市|大永1年10月24日|尚順と義英が和睦し堺に入った足利義植に応じ、高国は植長に義英を討たせる/越智・筒井両軍が植長勢に合流、義英勢を破る
1521年11月29日-09:00|日本|静岡県静岡市葵区|大永1年11月1日|朝比奈紀伊守弥一郎泰満、如意輪観音菩薩をご本尊として長源院三世大雄崇偉(厚覚禪師)開山に、見昌寺(真言宗)を曹洞宗に改宗し、楠谷山見性寺(静岡市葵区新聞)開基
1521年12月-01:00|イタリア| |||<復位>カルビーノ公「フランチェスコ・マリーア1世・デッラ・ローヴェレ」(~15381020死去)
1521年12月1日-01:00|バチカン| |||<死去>217代ローマ教皇「レオ10世」45歳(誕生14751211)
1521年12月1日 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド 副卿「オモンド 伯ヒューズ・バトラ」(1回目~15240804)
1521年12月12日-09:00|日本|群馬県佐波郡玉村町|大永1年11月14日|川井城の戦い/宇都宮俊綱・岩城常隆、河井出雲守・大膳の守る那須領川井城を攻撃/城兵は烏山へ落ちた
1521年12月12日-09:00|日本|奈良県|大永1年11月14日|古市・万歳・岡・箸尾・片岡各氏の義英方加担が判明したため筒井順興が古市・鹿野園・鉢伏・藤原ら古市方へ大軍を派遣して焼き討ちする

1530迄 (2001件)

1521年12月13日 00:00|ポルトガル| |||<死去>ポルトガル王「マヌエル1世」/52歳 (誕生14690531)
1521年12月13日 00:00|ポルトガル| |||<就任>ポルトガル公 (王位継承者)「ルイス」 (~15260224) 兼ベージャ公 (~15551127死去) マヌエル1世の息子
1521年12月13日 00:00|ポルトガル| |||<即位>ポルトガル王「ジョアン3世信心王」 (~15570611死去) マヌエル1世の子
1521年12月15日 04:00|トリニダード・トバゴ/スペイン| |||<制定>スペイン植民地トリニダード (サント・ミンコのアウティエンシアに従属 ~1739年)
1521年12月21日 09:00|日本|山梨県甲斐市|大永1年11月23日|<上条河原の戦い>午後6時、荻原常陸介昌勝の武略により、今川軍6百人討死/福島上総介正成、原能登守友胤により討死/小幡山城守虎盛、山県淡路守討つ。萩慶徳14歳・吉川次郎左衛門頼茂 (淡路小守護の子)・福島備前守勝格討死。残衆3千富田城に籠る/三田崎・奈良川・土肥・佐田・神原討死/福島左衛門尉助春・福島三郎右衛門平盛助・福島豊後守平春久ら福島一類が全滅/武田家家臣飯室越前守義昌討死/福島一統が全滅したため、小笠原春茂が高天神城入城/福島に同心した波木井城波木井三河守義実、武田信虎に攻められ討死
1521年12月24日 07:00|メキシコ/スペイン| |||<就任>ヌエバ・イスパニヤ総督「クリストバル・デ・セラ」 (~30日)
1521年12月26日-09:00|日本|京都府京都市|大永1年11月28日|<任命>室町幕府管領「細川高国」 (~12月28日)
1521年12月30日 07:00|メキシコ/スペイン| |||<就任>ヌエバ・イスパニヤ総督「エルナン・コルテス・デ・モンロイ・イ・ヒサロ・アルタミラノ」 (2回目 ~15241012)
1521年12月30日-09:00|日本|福井県|大永1年12月3日|<死去>元若狭守護「武田元信」67才
1522年-08:00|インドネシア/ポルトガル| |||<就任>モルッカ諸島ポルトガル司令官「Antonio de Brito」 (~1525年)
1522年-08:00|マレーシア| |||<即位>クランタン・スルタン国スルタン「スルタン・ゴンバク・イブン・ニアル・マルフム・スルタン・マンスール・シャー」 (~1526年)
1522年-08:00|インドネシア| |||<即位>テルナテ・スルタン「Boheyat2世」 (~1529年)、「Hidayatullah」 (~1529年)
1522年-02:00|エジプト/トルコ| |||<死去>オスマン帝国領エジプト総督「ハイルベイ」
1522年-02:00|キプロス/イタリア| |||<就任>ヴェネツィアのキプロス副官「ヤコボ・デ・イセバ・ステイアーノ・パドエル」 (~1523年)
1522年-02:00|エジプト/トルコ| |||<就任>オスマン帝国領エジプト総督「チョバン・ムスタファ・パシャ」 (~1523年)
1522年-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>ダマスカス・ワリス (総督)「ファハド・パシャ」 (~1523年)
1522年-01:00|マルタ/イタリア| |||<就任>シチリア領マルタ副総督「Leonardo de Bordino」 (~同年) ⇒「Ambrogio Falsone」 (2期目 ~1524年)
1522年-01:00|スペイン| |||<就任>スペイン領メリウ総督「Francisco de Medina Monsivay」 (~1535年)
1522年-01:00|リベチンシュタイン| |||<就任>ファトウツ執行官「カスパー・マンメント・ルファー」 (~1534年)
1522年-01:00|スペイン/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領セウタ提督「Joao de Noronha」 (~1524年死去)
1522年-01:00|チャド| |||<即位>バギルミ王国スルタン「Birni Besse, Mbangi」 (~1536年)
1522年-01:00|スペイン/ドミニカ共和国| |||スペイン領西インドのイスパニョラ島で黒人奴隷が反乱
1522年 00:00|モロッコ| |||<就任>タンジール首長「ドゥアルテ・デ・メネス・オ・デ・ウラ」 (~1532年)
1522年 00:00|モリタニア/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領アルギン長官「ルイ・コトリム」 (~1525年)
1522年 00:00|マン島/イギリス| |||<就任>マン島知事「Sir John Ireland」 (2期目 ~1526年)
1522年 00:00|ポルトガル/インドネシア| |||ポルトガルがバジジャラン王国 (ジャワ島西部のスダ人の王国) と条約を結び香料独占権を得る
1522年 05:00|パナマ| |||バスクル・デ・アンタゴニャがパナマから南方へ航海
1522年 06:00|ニカラグア/スペイン| |||<就任>ニカラグア総督「ギル・ゴンサレス・ダ・ビラ」 (~1524年)
1522年 06:00|ニカラグア/スペイン| |||ニカラグアをスペインが領有。サント・ドミンゴに従属 (~1538年)
1522年1月7日-09:00|日本|愛知県瀬戸市|大永1年12月11日|尾張国尾張戸神社・同神宮寺再建
1522年1月9日-01:00|バチカン| |||<就任>第218代ローマ教皇「ハドリアヌス6世」 (~15230914死去)
1522年1月10日 00:00|カナ/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル・コールド・コースト長官「アフォンソ・デ・アルバ・カキ」 (~1524年)
1522年1月19日-09:00|日本|神奈川県足柄下郡箱根町|大永1年12月23日|北条氏綱、相模国に早雲寺を建立
1522年1月19日-09:00|日本|山梨県甲斐市|大永1年12月23日|武田信虎は福島軍と上条河原 (敷島町荒川河原) で二度目の合戦/福島正成戦死
1522年1月21日-09:00|日本|京都府京都市|大永1年12月25日|<解任>室町幕府第11代征夷大將軍「足利義植」
1522年1月21日-09:00|日本|京都府京都市|大永1年12月25日|<任命>室町幕府第12代征夷大將軍「足利義晴」 (~15461220)
1522年1月22日-05:30|インド/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領インド総督「ドゥアルテ・デ・メネス」 (~15240905)
1522年1月25日-02:00|ルーマニア| |||<死去>ワキ7総督・領主「テオ・シウス」
1522年1月25日-02:00|ルーマニア| |||<就任>ワキ7総督・領主「ラドゥ5世アマーティ出身」 (1回目 ~1523年4月)
1522年1月28日-09:00|日本|愛知県豊橋市|大永2年|牧野伝蔵信成、今橋城を吉田城と改める
1522年1月28日-09:00|日本|愛知県名古屋市中区|大永2年|今川氏親50歳、庵原安房守縄張りにより那古屋城築城
1522年1月28日-09:00|日本|岡山県|大永2年|<交替>備前国守護「赤松晴政」 ⇒「浦上村宗」 (~享禄4 (1531) 年6月4日死去)
1522年1月28日-09:00|日本|静岡県浜松市|大永2年|浄土宗の法林寺 (浜松市成子町) 創建
1522年1月28日-09:00|日本|静岡県富士宮市|大永2年|大石寺 (富士宮市上条) 12世日鎮、本堂・御影堂・垂迹堂・総門を造営
1522年1月28日-09:00|日本|福井県小浜市|大永2年|若狭守護武田元光、後瀬山城を築城
1522年1月28日-09:00|日本|山梨県甲府市|大永2年|武田信虎、甲府に信立寺創建
1522年1月28日-09:00|日本|山梨県甲府市|大永2年|武田信虎、万蔵院 (後の清水寺/甲府市大工町) を創建
1522年1月28日-08:00|中国| ||明・嘉靖1年1月1日|明・嘉靖と改元

1530迄 (2001件)

1522年1月30日-01:00|ベルギー/オーストリア/スペイン| |||ブリュッセル協定/ハプスブルク家スペイン領とオーストリア領が分離される
1522年2月10日-09:00|日本|山梨県南アルプス市|大永2年1月14日|甲斐に進攻した富田城の今川氏親軍が開城し、甲斐から駿河へ撤退
1522年2月26日-09:00|韓国/朝鮮| ||朝鮮・嘉靖1年2月|朝鮮政府が備辺司を置く
1522年3月-02:00|リトアニア| |||<死去>リトアニア陸軍元帥(首相)「ミカロジス・ラトヴィラ」
1522年3月-02:00|リトアニア| |||<就任>リトアニア陸軍元帥(首相)代行「ユルギス・イヴァン・イリニチス」(~5月)
1522年3月5日-05:30|インド| |||<即位>ハプスブルク朝第17代スルタン「ワリ・ウッラー・シャー」(~1526年)
1522年3月18日-01:00|フランス/スペイン| |||スペイン大尉ファンセバ・スチャネルカノによってアムステルダム島発見
1522年3月28日-09:00|日本|静岡県掛川市|大永2年3月|浄土宗善譽慶印上人、宮路弥太郎次郎跡地に三頭山長福寺を建立
1522年3月28日-09:00|日本|広島県|大永2年3月|大内義興、安芸国に入り尼子経久の属城を落とす
1522年3月28日-09:00|日本|静岡県浜松市|大永2年3月1日|堀江城、今川軍により落城/堀江氏は舟で小島に逃げ自害、堀江清泰は助けられる
1522年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ジ・ローモ・デ・イ・ジュリアーノ・ゴジ」/「ジュリアーノ・デ・イ・バルトロメ」
1522年4月4日-01:00|イタリア| |||<即位>ミラノ公「フランチェスコ2世・スフォルツァ」ルドヴィーコの子、マッシミリアーノの弟(~1535/1101死去)
1522年4月22日-09:00|日本|京都府京都市|大永2年3月26日|1467年以来途絶えていた県召除目が復活し、内裏で行われる
1522年4月29日-01:00|イタリア/フランス/ドイツ| |||フランスがビッコカの戦いで神聖ローマ帝国に敗れ、ミラノを失う
1522年4月29日-09:00|日本|宮崎県宮崎市|大永2年4月4日|伊東軍、伊東相模守祐梁と武蔵守祐武を大将に兵力10000で本/原に押し寄せる/攻略できずに梶山に引き返す
1522年5月-02:00|リトアニア| |||<就任>リトアニア陸軍元帥(首相)「ジ・ヨナス・ヨナ・イヴァン・ザブジエシキ」(~1537年9月没)
1522年5月6日-09:00|パラオ/スペイン| |||ゴンサロ・コメステ・エスピノサが指揮するマゼラン艦隊のスペイン船トリニダードは、北緯5度にある2つの小さな島を発見、「サン・ファン」と名付けた
1522年5月21日-09:00|日本|宮崎県北諸県郡三股町|大永2年4月26日|山田城の北郷勢、1000の兵で梶山城に押し寄せるが、敗北し山田城に引き上げる
1522年5月22日-09:00|日本|愛知県津島市|大永2年4月27日|尾張国津島社の遷宮が行われる
1522年5月31日-01:00|イタリア| |||<就任>ジェノヴァ共和国ドージェ「アントニオ2世・アドルノ」(~1527.8月はじめフランスが支配)
1522年6月19日-01:00|ドイツ/イギリス| |||カル5世がイギリスを訪問し、ヘンリ8世と対仏同盟条約を結ぶ
1522年7月-02:00|モザンベーク/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領ソファラ・キャプテン「デ・イゴ・デ・セグールベダ」(~1525年10月)
1522年7月2日-01:00|スペイン| |||<死去>アンブリアス伯「Henry2世」
1522年7月2日-01:00|スペイン| |||<就任>アンブリアス伯「アルフォンソ1世」(~1563年)
1522年7月8日-09:00|日本|大阪府四条畷市|大永2年6月15日|細川晴元の依頼を受けた本願寺光教は、木沢長政の居城河内飯盛を包囲していた河内国の畠山義宣を攻め自刃させた
1522年7月13日-09:00|日本|大阪府堺市|大永2年6月20日|本願寺光教は木沢長政らとともに三好元長を和泉の堺南荘に攻め自刃させた
1522年7月28日 00:00|イギリス| |||<死去>5代エール伯「ウィリアム・ヘイ」
1522年7月28日 00:00|イギリス| |||<就任>6代エール伯「ウィリアム・ヘイ」(~1541/0411死去)
1522年7月29日-01:00|イタリア/トルコ| |||トルコ軍が、ロードス包囲戦の火蓋を切る
1522年8月8日-09:00|日本|滋賀県蒲生郡日野町|大永2年7月17日|六角定頼、蒲生秀紀を近江日野城に囲みついで攻略
1522年8月21日-09:00|日本|兵庫県|大永2年7月30日|浦上村国が赤松才松丸を擁して浦上村宗と播磨国で交戦
1522年8月21日-07:00|ベトナム| ||大越・統元1年8月1日|<即位>後黎朝(大越)前期第12代皇帝「恭皇黎椿」(~1527/0615死去)/統元と改元(~1527年旧6月)
1522年8月22日-09:00|日本|長野県佐久市|大永2年8月|<大井原合戦>武田信虎、佐久郡大井城の大井貞隆を攻める/大井貞隆は村上義清に後詰を要請して村上義清、武田信虎を追い返す
1522年9月-05:30|インド/アフガニスタン| |||パールがガンダーハを占領
1522年9月-01:00|ドイツ| |||ジッキンゲン率いる南西ドイツの帝国騎士団が蜂起(~1923/0507)
1522年9月-01:00|ドイツ| |||ルターによる聖書のドイツ語訳が完成
1522年9月6日-01:00|スペイン/ポルトガル| |||マゼランのビクトリア号がスペインに帰港し世界一周成功(1519/0920、スペインのセリタ港から出発)
1522年9月7日-09:00|日本|富山県|大永2年8月17日|<死去>越中国守護「畠山尚順」⇒「畠山植長」が継ぐ(~天文14年5月15日(1545/0623)死去)
1522年9月8日-09:00|日本|広島県安芸高田市|大永2年8月18日|毛利幸松丸、大檀越として、吉田社々殿を造立
1522年9月17日-09:00|日本|山梨県南アルプス市|大永2年8月27日|甲斐の武田信乗が諏訪社を建立
1522年9月20日-09:00|日本|神奈川県高座郡寒川町|大永2年9月|伊勢氏綱が相模国の一ノ宮たる寒川神社を再建
1522年9月24日-02:00|ギリシャ/トルコ| |||オスマン軍が、精兵イェニチェリを繰り出してロードスへの第1回総攻撃をかける/しかし城壁は堅固で攻撃は失敗し、オスマン軍が大被害を受ける
1522年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「アントニオ・ワッ・ホリノ・ルナルディニ」/「マリノ・デ・イ・アントニオ」
1522年10月5日-02:00|エジプト| |||エジプト総督ハイル・ベイが没し、エジプトに騒乱
1522年10月20日-09:00|日本|山梨県韮崎市|大永2年10月|佐久郡の平賀成頼、村上義清の支援を貰って韮崎に乱

1530迄 (2001件)

入

1522年10月20日-09:00|日本|山梨県南アルプス市|大永2年10月|村上義清は勢いによって平賀源心斎(大井成頼)の求めに応じ逆に甲斐若神子へ出兵/武田信虎の重臣馬場虎貞が撃退
1522年10月22日 00:00|ポルトガル| ||ポルトガル・アゾレス諸島で地震、死者5千人
1522年11月18日-08:00|中国| ||明・嘉靖1年11月|山東で王堂の率いる廣徒の反乱がおこる
1522年11月19日-09:00|日本|山梨県山梨市|大永2年11月2日|武田信虎が大檀那として遷宮を行った山梨郡天神社の新社造宮が成る
1522年11月28日-09:00|日本|兵庫県|大永2年11月11日|村上村宗・村国和睦し、播磨国に進出した但馬国守護山名誠豊を破る
1522年12月-02:00|ギリシャ/トルコ| ||イリアはオスマン帝国の一部(1533年から、ジェザイル・イ・パール・イ・セフイットのエイヤトの一部)
1522年12月 00:00|サントメ・プリンシペ/ポルトガル| ||サントメはポルトガル王領植民地となる
1522年12月20日-02:00|ギリシャ/トルコ| ||ロードス島騎士がトルコのスレイマン1世(豪華帝)に敗れ、降伏を受入れる
1522年12月24日-02:00|ギリシャ/キプロス| ||聖ヨハネ騎士団はロードス島から追放される
1522年12月24日-02:00|ギリシャ/トルコ| ||トデカニサ諸島とロードス島はオスマン帝国の一部
1522年12月24日-09:00|日本|福島県|大永2年12月7日|<任命>陸奥国守護「伊達植宗」(~天文17(1548)年9月隠居)
1522年12月29日-02:00|トルコ| ||トルコ(オスマン)のスレイマン1世(豪華帝)がロードスに入城
1523年-05:30|インド| ||グジャラタ王国がグジャラト、ヒジャブを攻略
1523年-05:30|インド/ポルトガル| ||クランガノレをポルトガルが所有(~16620115)
1523年-05:30|インド/ポルトガル| ||ポルトガル人がサントメ・メリアポアに入植(~1662年)
1523年-05:00|ガザフスタン| ||<死去>ガザフ汗国ハン「マシュ」
1523年-05:00|ガザフスタン| ||<即位>ガザフ汗国ハン「ターヒル」ジャニール・ベクの三男アディクの長男(~1533年死去)
1523年-04:00|ロシア| ||<即位>アストラハン・ハン「パハムル・ゲライ」(~同年)⇒「フセイン」(2回目~1527年)
1523年-04:00|ロシア| ||アストラハンがクリミアに短期間占領された
1523年-04:00|シヨージア/イラン| ||カトリはペルシャの家臣
1523年-02:00|エストニア/ドイツ| ||<死去>リガ・オニアのレアル司令官「サイモン・グラーフ・フォン・リートベルク」
1523年-02:00|キプロス/イタリア| ||<就任>ヴェネツィアのキプロス副官「トメニコ・デ・イ・カルロ・カベツロ」(~1525年)
1523年-02:00|エジプト/トルコ| ||<就任>オスマン帝国領エジプト総督「ハイン・アフメド・パシャ」(~1524年死去)
1523年-02:00|エストニア/ドイツ| ||<就任>リガ・オニアのレアル司令官「パウル・フォン・シュタイン」(~1525年没)
1523年-02:00|ウクライナ| ||<廃位>ヴァシコ・セムジャキンス公「Vasilij Semjajins」外患罪に問われて捕縛された
1523年 00:00|サントメ・プリンシペ/ポルトガル| ||<就任>サントメ植民地司令官「Vasco Esteves」⇒「Fernao Lopes de Segura」(~1531年)
1523年 00:00|カリブ諸島/スペイン| ||<就任>スペイン王国植民地グアン・カリア島知事「Diego de Herrero」(~1526年)
1523年 00:00|イギリス| ||イギリス王ヘンリー8世が鉄砲の所有を制限
1523年 05:00|ジャマイカ/スペイン| ||<就任>スペイン領サンティアゴ総督「ペドロ・デ・マシロ」(~1526年)
1523年 06:00|ニカラガ/コスタリカ/パナマ/スペイン| ||<就任>スペイン領ベラクルア総督「ペドリウス・ダビラ」(~15310303)
1523年 06:00|ロシア| ||クリストバル・コロンがロシア方面へ遠征
1523年1月5日-09:00|日本|愛知県豊川市|大永2年12月19日|熊谷善次郎直政・賛将監成秀・金原甚右衛門勝幸、八幡神社(豊川市2葉町)再興
1523年1月13日-01:00|スイス| ||ツインクリがチューリッで再洗礼派を創出
1523年1月17日-09:00|日本|愛知県豊橋市|大永3年|西郷弾正左衛門尉信員、八名郡嵩山の一族右京亮を逐い、月ヶ谷城(豊橋市嵩山町)築き今川氏に属す
1523年1月17日-09:00|日本|大阪府|大永3年|<任命>河内北半国守護「畠山義堯」(~享禄5年6月15日(15320717)死去)
1523年1月17日-09:00|日本|静岡県藤枝市|大永3年|小田市郎兵衛、春誉上人を開山に、池龍山養命寺(藤枝市本町)開基
1523年1月17日-09:00|日本|千葉県|大永3年|<死去>下総真里谷領主「真里谷信勝」⇒子の「真里谷惣鑑」が継ぐ(~天文3年7月1日(15340810)死去)
1523年1月17日-09:00|日本|広島県廿日市市|大永3年|厳島神社の摂社大元神社々殿再興
1523年1月20日-01:00|デンマーク| ||<交替>シュレースヴィヒ公「クリスチャン2世」解任⇒「クリスチャン3世」(~15590101死去)共同統治
1523年1月20日 06:00|グアテマラ| ||アルバラードがグアテマラ征服に着手
1523年2月1日-09:00|日本|静岡県静岡市葵区|大永3年1月16日|<死去>大森山長源院開山覚山見知
1523年3月5日-05:30|インド| ||<即位>ハフニ朝スルタン「ワリ・ウッラー・シャー」(~1525年)
1523年3月10日-09:00|日本|山梨県甲府市|大永3年2月23日|駒井信家家来の窪寺豊前守、平瀬郷の細草明神社を再建
1523年3月16日-01:00|チェコ| ||<就任>ホヘミア摂政「オレシュニツキのミンスターバー公、クラツク伯ボジエフ・ラティのカル1世」国家最高司令官(~15260829)
1523年3月18日-09:00|日本|熊本県|大永3年3月2日|阿蘇惟豊、菊池武包の肥後国の小代山城を攻略
1523年3月24日-09:00|日本|滋賀県蒲生郡日野町|大永3年3月8日|六角定頼、近江国日野城主蒲生秀紀を降伏させ城を破壊
1523年3月25日-09:00|日本|滋賀県|大永3年3月9日|京極氏の後継者会議を機に浅井亮政がクワター

1530迄 (2001件)

1523年3月25日-09:00|日本|滋賀県長浜市|大永3年3月9日|<尾上城の戦い>京極家の老臣の上坂信光が浅見貞則や浅井亮政達と近江の尾上城で戦い浅見らが勝利

1523年3月25日-09:00|日本|長野県千曲市|大永3年3月9日|小田政治、屋代城合戦で山内上杉氏方に大敗

1523年3月28日-09:00|日本|滋賀県長浜市|大永3年3月12日|<今浜城の戦い>京極家の老臣の上坂信光は軍兵を今浜城に集め尾上城にほど近い安養寺を拠点として軍勢を配したが尾上城から迎撃に出陣した浅見・浅井らの一揆勢に撃ち破られた。敗れた上坂勢は今浜城へ逃げ戻ったが一揆勢はこれを追撃して今浜城に猛攻撃をかけそのまま今浜城をも攻め落とした

1523年3月29日-09:00|日本|山梨県笛吹市|大永3年3月13日|小山城主穴山伊予守信永、南部氏に攻められ、二之宮常楽院で自害

1523年4月-02:00|ルーマニア| |||<就任>ラキア総督・領主「ウラジスラフ3世」(~10月)

1523年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「バルトロメオ・ディ・アントニオ」「ジ・ローラモ・ディ・エウ・アンジ・エリスタ・ベルツィ」

1523年4月13日-01:00|デンマーク/ドイツ| |||<即位>シュレーズヴィヒ公「クリスチャン3世」(1533年まで父フレデリク1世と共同統治~15590101死去)

1523年4月13日-01:00|デンマーク| |||<即位>デンマーク王「フレデリク1世」シュレーズヴィヒ公(⇒15240823、兼ノルウェー王)

1523年4月13日-01:00|デンマーク/ノルウェー/スウェーデン/ドイツ| |||<廃位>カルマル同盟国王・ホルシュタイン公・シュレーズヴィヒ公「クリスチャン2世」(~15590125死去77歳)

1523年4月15日-03:30|イラン| |||<就任>サファヴィー朝宰相「ジャラル・アッディーン・ムハンマド・タブリジ」(~1524年殺害される)

1523年4月16日-09:00|日本|滋賀県|大永3年閏3月|京極高、浅井亮政の攻撃を避け尾張国へ走る

1523年5月 04:00|プエルトリコ/スペイン| |||<就任>プエルトリコ暫定副知事「Alonso Manso, obispo de San Juan」(~1524年)

1523年5月3日-09:00|韓国/朝鮮| |||<就任>朝鮮国領議政「南袞」(~15270410)

1523年5月7日-01:00|イタリア| |||<死去>ヴェネツィア共和国第76代ドーージェ(元首)「アントニオ・グリマニ」

1523年5月15日-09:00|日本|千葉県君津市|大永3年4月1日|里見義堯が上総国久留里城を築きて之れに居住

1523年5月20日-01:00|イタリア| |||<就任>ヴェネツィア共和国第77代ドーージェ(元首)「アントニオ・グリッティ」(~15381228死去)

1523年5月23日-09:00|日本|徳島県鳴門市|大永3年4月9日|<死去>室町幕府第10代将軍「足利義植(義材)」撫養(阿波国)にて/58歳(誕生:文正1(1466)0730)

1523年5月25日-09:00|日本| ||大永3年4月11日|<死去>飛鳥井雅俊(62歳)権大納言、歌人

1523年5月28日-01:00|ドイツ| |||<死去>ナッサウ＝ヴァイルブルク伯「Louis1世」

1523年5月28日-01:00|ドイツ| |||<就任>ナッサウ＝ヴァイルブルク伯「Philip3世」(~15591004死去)

1523年6月-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>ダマスカス・ワリス(総督)「ハーレム・ハッシャ」(~1525年)

1523年6月6日-01:00|スウェーデン| |||<即位>スウェーデン王国国王「グスタフ1世」(~15600929死去)

1523年6月6日-01:00|スウェーデン/デンマーク/ノルウェー| |||スウェーデン国王グスタフ1世が反乱を起こしてデンマークからの独立を成就、カルマル同盟崩壊

1523年6月7日-09:00|日本|山梨県甲府市|大永3年4月24日|武田信虎、甲府の湯村山に山城を築く

1523年6月10日-08:00|中国/日本| ||大永3年4月27日|<寧波の乱(明/寧波)>細川高国が対抗、失効していた前の明元号「弘治」の勘合符で鸞岡瑞佐を正使として派遣した遣明船が周防の大内義興が派遣した謙道宗設を正使とする遣明船より寧波に遅れて到着すると、細川方の副使宋素卿が明の市舶司(入港管理所)に賄賂を贈り、大内氏より先に入港検査を受ける/これに怒った大内方の謙道宗設ら100名が倉庫を襲撃して武器を手に入れ、細川氏の船を焼き討ちにして鸞岡瑞佐を殺害し、内陸へ逃亡した宋素卿を追って西へ100km進みながら各地の村里や官吏を襲う事件が起きる。謙道宗設は官吏を人質に取って寧波に戻り、船を奪って脱出

1523年6月27日-02:00|トルコ| |||<就任>オスマン帝国大宰相「パルカル・イブラヒム・ハッシャ」(~15360314)

1523年7月13日-09:00|日本|神奈川県高座郡寒川町|大永3年6月|安富筑前守、寒川元政の神前城を攻める。ついで、寒川郡塩木で合戦となるがともに引き分ける

1523年7月13日-09:00|日本|島根県江津市|大永3年6月|尼子経久は石見波志浦を攻略

1523年7月24日-09:00|日本|神奈川県足柄下郡箱根町|大永3年6月12日|伊勢氏綱相模国箱根社を再建

1523年8月9日-09:00|日本|広島県東広島市|大永3年6月28日|(13日~)<鏡山城の戦い(安芸国)>尼子経久が大内領の安芸鏡山城を攻撃。毛利元就は吉川国経らと共に鏡山城を攻撃、元就の計略により城を占領

1523年8月11日-09:00|日本|宮城県登米市|大永3年7月|葛西胤信と大崎義直が陸奥佐沼・深谷で戦う

1523年8月22日-01:00|モロコシ| |||<死去>モロコシ領主「ルアーン」

1523年8月22日-01:00|モロコシ| |||<就任>モロコシ領主「オラート1世」(~15811007没)、摂政「ド・グレース司教アゴスティノ・グリマルディ」(~15320414没)

1523年8月24日-09:00|日本|静岡県静岡市駿河区|大永3年7月14日|台風で吐月峰柴屋寺(泉ヶ谷)客殿倒壊

1523年8月25日-09:00|日本|広島県廿日市市|大永3年7月15日|<死去>安芸国吉田郡山城主「毛利幸松丸」(9歳)

1523年9月-01:00|イタリア| |||フランス軍がミラノを再包囲するが、カル5世に撃退される

1523年9月3日-09:00|日本|広島県廿日市市|大永3年7月24日|<第一次桜尾城の戦い>大内方は当主の大内義興・義隆父子も出陣。豊前、筑前、周防、長門、安芸、石見の全領国から動員された軍勢をもって桜尾城を包囲、城の二重まで陶氏の軍勢が侵入して合戦となるなど激しい戦闘が繰り広げられた/興藤ら城方の士気は高く大内軍は攻めあぐね、大内氏は石見国人・吉見頼興に和談工作を依頼。興藤の神主引退を条件に桜尾城は開城

1523年9月6日-01:00|フランス| |||ムランで、シャルル・ド・ブルボン元帥が、フランス1世に対して反乱を起こし、神聖ローマ皇帝カル5世側に付く/フランス王フランス1世、「ブルボン公領」を没収

1523年9月10日-09:00|日本|栃木県宇都宮市|大永3年8月|<猿山合戦(下野国)>結城政朝は宇都宮領に侵攻し、宇

1530迄 (2001件)

都宮忠綱は猿山で迎え撃った。境界付近にある中村城は中村玄角が守り切るも猿山の合戦では結城方は風上からの強風の下、火攻め・煙攻めを敢行。宇都宮方は一門の今泉盛高が討たれるなど大敗し結城方は念願の旧領回復を果たした

- 1523年9月14日-01:00|パチン| |||<死去>第218代ローマ教皇「ハドリアヌス6世」[1459年03月02日生~](享年64)
- 1523年9月19日-09:00|日本|広島県廿日市市|大永3年8月10日|<就任>安芸国吉田郡山城主「毛利元就」家督を継ぐ
- 1523年9月27日-09:00|日本|広島県廿日市市|大永3年8月18日|弘中武長、大内方の警固船を率い、神主友田興藤方から厳島を奪回
- 1523年10月-02:00|ウクライナ| |||<死去>クリミア・ハン国ハン「メフメト1世ギレイ」
- 1523年10月-02:00|ルーマニア| |||<就任>ワラキア総督・領主「ラドゥ6世バーディカ」(~1524年1月没)
- 1523年10月-02:00|ウクライナ| |||<即位>クリミア・ハン国第12代ハン「カースィー1世ギレイ」(~1524.4死去)
- 1523年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「フランチェスコ・デ・イ・シモーネ・ベッルツィ」[「サンテ・デ・イ・ビッジオ」のフランス]
- 1523年10月5日-01:00|ポーランド/ドイツ| |||<死去>ボヘミア公「ボギスワフ10世大公」
- 1523年10月5日-01:00|ポーランド/ドイツ| |||<就任>ボヘミア公「ゲオルク1世」(~15310510死去)、「ハルニム9世敬虔公」(~15310510~15731102死去)
- 1523年10月9日-09:00|日本|神奈川県|大永3年9月|<改姓>相模・伊豆国主「伊勢氏綱」⇒「北条氏綱」
- 1523年10月25日-09:00|日本|広島県廿日市市|大永3年9月17日|大内方警固船、佐西郡廿日市と同能美・江田島へ押懸け、敵船1隻を奪取
- 1523年10月29日-09:00|日本| ||大永3年9月21日|<死去>冷泉政為(78歳)権大納言、歌人
- 1523年11月8日-09:00|日本| ||大永3年10月|東素純、「古今和歌集抄」を著す
- 1523年11月10日-09:00|日本|広島県廿日市市|大永3年10月3日|神領衆の船、厳島に押懸るが、大内方警固船、これを即時追散らす
- 1523年11月19日-01:00|イタリア| |||<就任>フィレンツェのシニョレ「イッポリト・デ・メディチ」[「アレクサンドロ・デ・メディチ」(~15270516市民により追放、共和制に復帰)]
- 1523年11月19日-01:00|イタリア| |||<退任>フィレンツェのシニョレ「ジュリオ・デ・メディチ」教皇(クレメン7世)に選出されたためローマに移る
- 1523年11月26日-01:00|パチン| |||<就任>第219代ローマ教皇「クレメン7世」(~15340925死去)
- 1523年12月6日 06:00|グアテマラ/スペイン| |||<就任>スペイン領グアテマラ副総督「ペドロ・デ・アルバラド・イ・コントレラス」(~15271218)
- 1523年12月7日-09:00|日本|広島県広島市佐伯区|大永3年11月1日|小幡興行、佐東衆に攻められ、佐西郡三宅円明寺で切腹
- 1523年12月9日-09:00|日本|栃木県栃木市|大永3年11月3日|第二次河原田の戦い/壬生綱重は皆川氏・小山氏の援を得て宇都宮忠綱の軍勢を破った/皆川氏秀とその子成明・宗成は討死
- 1523年12月14日-09:00|日本|宮城県|大永3年11月8日|<死去>日向都於郡領主「伊東尹祐」戦死⇒子の「伊東祐充」が継ぐ(~天文2年8月28日(15330916)死去)
- 1523年12月14日-09:00|日本|宮城県都城市|大永3年11月8日|伊東尹祐、北原氏と共同で野々美谷城を攻め落とす
- 1523年12月16日-09:00|日本|栃木県栃木市|大永3年11月10日|<河原田合戦(下野国)>宇都宮忠綱は1800-2500の兵で皆川領に侵攻。皆川宗成は700の兵で出陣し両軍は下野国皆川領河原田で対峙。合戦は宇都宮勢の大勝で当主の皆川宗成、宗成の弟の平川成明を討ち取るなど皆川氏に壊滅的な被害を与えた/その後、小山氏、結城氏が1800の兵を率いて皆川氏の援軍として来て衝突。宇都宮勢は劣勢となり退かざるを得なくなったため撤退
- 1523年12月16日-09:00|日本|栃木県栃木市|大永3年11月10日|<死去>下野皆川領主「皆川宗成」⇒子の「皆川成勝」が継ぐ(~天文20年2月26日(15510402)死去)
- 1523年12月21日-09:00|日本|千葉県松戸市|大永3年11月15日|小弓軍が再び小金へ攻め入る
- 1523年12月23日-01:00|フランス| |||フランス「貯蓄国庫局」が設置される/王領地収入と租税収入を統合
- 1523年12月25日-09:00|日本|兵庫県|大永3年11月19日|山名誠豊、但馬国へ敗退し播磨国平定
- 1524年-08:00|ブルネイ| |||<死去>ブルネイ・スルタン「ホムバ」
- 1524年-08:00|モンゴル| |||<死去>モンゴル帝国(北元)皇帝「タヤン・ハーン」
- 1524年-08:00|ブルネイ| |||<即位>ブルネイ・スルタン「アブドゥル・カハル」(~1530年退位)
- 1524年-08:00|モンゴル| |||<即位>モンゴル帝国皇帝「ハルス・ボラト・サイン・アラク晋王」(~同年没)⇒「ボディ・アラク・ハーン」(~1547年没)
- 1524年-08:00|インドネシア| |||アチ王国(スマトラ北部のアチ族が築いた王国)胡椒の積出港「サイ」を占領
- 1524年-05:30|インド| |||<建国>パリア国
- 1524年-05:00|トルクメニスタン/ウズベキスタン| |||<即位>ヒヴァ・ハン国第4代ハン「フチュク」イルハス1世の従兄弟(~1529年)
- 1524年-04:00|アゼルバイジャン/ロシア| |||<死去>シルヴァンシャー「Ibrahim2世Sheykhshah」
- 1524年-04:00|ロシア| |||<即位>カザン・ハン「サファ・ゲライ」サヒブ・ギライの兄弟フエトフ・ギライの子(1回目~1531年)
- 1524年-04:00|アゼルバイジャン/ロシア| |||<即位>シルヴァンシャー朝国王「Khalilullah2世」(~1535年死去)
- 1524年-03:30|イラン| |||<死去>サファヴィー朝宰相「ジャラル・アッディーン・ムハンマド・タブリジ」殺害される
- 1524年-03:30|イラン| |||<就任>サファヴィー朝宰相「ミザ・ジャファル・サウアージ」(~1531年)
- 1524年-03:00|イェメン/トルコ| |||<就任>オスマン帝国サ総督「Karamanli Iskender Bey」(~1524.5)
- 1524年-03:00|イラク/イラン| |||<就任>ペルシャのメソポタミア総督「スルフェル・イブン・ナホ」(オスマン帝国に反乱~1530年)
- 1524年-02:00|エジプト/トルコ| |||<死去>オスマン帝国領エジプト総督「ハイン・アフメト・パシャ」
- 1524年-02:00|ギリシャ/イタリア| |||<就任>ヴェネツィアのカンデリア公「ニコロ・ジョルジョ」(~1526年)

1530迄 (2001件)

1524年-02:00|エジプト/トルコ| |||<就任>オスマン帝国領エジプト総督「ゲゼルツェ・カシム・パシヤ」(1回目~1525年)
 1524年-01:00|スペイン/ポルトガル| |||<死去>ポルトガル領セウタ提督「Joao de Noronha」
 1524年-01:00|フランス| |||<就任>オーペルニュ伯「Catherine de' Medici」(~1589年)
 1524年-01:00|マルタ/イタリア| |||<就任>シチリア領マルタ副総督「Giovanni di Mazara」(3期目~1525年)
 1524年-01:00|フランス| |||<就任>ヌメル公「ルイス・ド・サヴォワ」(~1528年)
 1524年-01:00|スペイン/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領セウタ提督「Pedro de Meneses」(2期目~1525年)
 1524年-01:00|クロアチア/トルコ| |||スラヴォニアがオスマン帝国に編入(~17000714)
 1524年 00:00|フェロー諸島| |||<死去>フェロー諸島法執行者「Jorundr Skogdrifsson」
 1524年 00:00|アイスランド/デンマーク| |||<就任>アイスランド支配者「ヨハン・ペトルソン」(~1529年)
 1524年 00:00|フェロー諸島| |||<就任>フェロー諸島法執行者「Thormodr Sigurdsson」(~1531年死去)
 1524年 00:00|カナ/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル・ゴールド・コースト長官「ジョアン・デ・パロス」(~1525年)
 1524年 04:00|トミニカ共和国/スペイン| |||<就任>スペイン王立サント・ミンゴ大審問院判事「カスパー・デ・エスピノサ/アロンソ・デ・スアゾ」(~1527年)
 1524年 04:00|プエルトリコ/スペイン| |||<就任>プエルトリコ知事兼提督「Pedro Moreno」(2期目~1529. 6)
 1524年 06:00|ニカラグア/スペイン| |||<就任>ニカラグア総督「フランシスコ・エルナンデス・コルトバ」(~1526年没)
 1524年 06:00|ニカラグア/スペイン| |||グラタガスペインによって設立された
 1524年 06:00|ニカラグア/パナマ| |||パナマ総督ペトリアスがニカラグアへ進出開始
 1524年 06:00|ニカラグア/スペイン| |||レオンがスペインによって設立された
 1524年1月-02:00|ルーマニア| |||<再任>ワキア総督・領主「ラトク5世アマーティ出身」(2回目~3月)
 1524年1月-02:00|ルーマニア| |||<死去>ワキア総督・領主「ラトク6世バーティカ」
 1524年1月12日-09:00|日本|鹿児島県曾於市|大永3年12月7日|<月野伊屋松の戦>宗家14代勝久、伊地知重周に新納氏の梶野城を攻めさせるが、8代忠勝これを破る。重周ほか730余人戦死
 1524年1月17日-01:00|フランス/カナダ| |||フランス王フランソワ1世が北アメリカ探検にイタリア人ヴァエチーノを派遣、カナダに到着
 1524年1月21日 00:00|イギリス| |||<死去>3代ハントリー伯「アレクサンダー・ゴードン」
 1524年1月21日 00:00|イギリス| |||<就任>4代ハントリー伯「ジョージ・ゴードン」(~15621028死去) 1563年剥奪
 1524年1月24日 04:00|プエルトリコ| |||現存する新大陸最古の教会サン・セバスティアン教会が建設される
 1524年2月5日-09:00|日本| |大永4年|山崎宗鑑、俳諧連歌集「犬筑波集」成る
 1524年2月5日-09:00|日本|青森県|大永4年|南部安信(南部政康の子/南部氏二十三代当主)津軽地方を平定
 1524年2月5日-09:00|日本|大阪府|大永4年|<交替>和泉下半国守護「細川高基」⇒「細川勝基」(~享禄4(1531)年)
 1524年2月5日-09:00|日本|鳥取県|大永4年|<交替>伯耆国守護「山名澄之」⇒「山名豊興」(~不詳)
 1524年2月14日-09:00|日本|東京都千代田区|大永4年1月10日|上杉朝興、上杉憲房と和睦、同盟を結ぶ。両上杉家は武田家とも同盟を結ぶ
 1524年2月17日-09:00|日本|東京都千代田区|大永4年1月13日|武蔵国江戸城主の上杉朝興が高縄原に北条氏綱と戦い、江戸城を追われる
 1524年2月20日 06:00|アルバニア| |||アルバラード軍、キエの精鋭3万人と対決しこれを殲滅/ウトランの町を占拠
 1524年2月22日-09:00|日本|佐賀県三養基郡みやき町|大永4年1月18日|馬場頼周は策略をもって筑紫満門を自分の城に招きこれを暗殺/続いて満門の子をもその居城綾部城に攻めて殺してしまった
 1524年2月23日-09:00|日本|大分県|大永4年1月19日|<死去>豊後国大友氏18代当主「大友親治」(64歳)
 1524年2月24日-01:00|フランス/イタリア| |||ハゲイアの戦い/失った領土を取り戻そうと侵入したフランス軍が、ドイツ、スペイン、イタリアの連合軍に敗北し、フランス国王フランソワが捕虜となりマドリッドに幽閉される
 1524年2月26日 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| |||<就任>ガラオザ島トリア長官「Alvaro Coutinho2世」(~1552年)
 1524年3月-02:00|ルーマニア| |||<就任>ワキア総督・領主「ウラジスラフ3世」(1回目~8月)
 1524年3月-01:00|イタリア/フランス| |||「ミラノ公領」奪還のため、イタリアに派遣されていた国王総代ボニファチオ・コッセル、裏切った「モンパネー伯」シャルル・ド・ブルボンと神聖ローマ皇帝カル5世の攻勢を受け撤退を余儀なくされる
 1524年3月5日-09:00|日本|静岡県湖西市|大永4年2月|築城奉行長池九郎左衛門親能、宇津山城(湖西市入出)築き城代となる
 1524年3月6日-09:00|日本|埼玉県さいたま市岩槻区|大永4年2月2日|北条氏綱、岩付城を攻略
 1524年3月15日-09:00|日本|山梨県大月市|大永4年2月11日|<猿橋の戦い>武田信虎は1万8000の兵を率いて都留郡猿橋に着陣し、北条氏綱と対陣。奥三方へ侵攻。しばしば野戦となる。小猿橋で武田軍と北条軍はしばしば戦い、土屋信遠が戦死
 1524年4月-02:00|ウクライナ| |||<死去>クリミア・ハン国ハン「カースィー1世ギレイ」
 1524年4月-02:00|ウクライナ| |||<即位>クリミア・ハン国第13代ハン「サデト1世ギレイ」(~1532年)
 1524年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「カミッロ・ディ・メネット・ボネリ」「レオナルド・ディ・ジョヴァンニ・ベッリツィ」
 1524年4月12日-09:00|日本|大分県|大永4年3月9日|<改名>豊後国主「大友親敦」⇒「大友義鑑」
 1524年4月23日-09:00|日本|埼玉県蕨市|大永4年3月20日|北条氏綱、扇谷家の蕨城を攻め落とす
 1524年5月-03:00|イェメン/トルコ| |||<就任>オスマン帝国サ総督「Huseyin Bey al-Rumi」(~1526年)
 1524年5月3日 00:00|イギリス| |||<死去>第3代セント・パウル伯「リチャード・グレイ」
 1524年5月3日 00:00|イギリス| |||<就任>第4代セント・パウル伯「ヘンリー・グレイ」(~15620924死去)
 1524年5月3日 06:00|ホッヅェルス/スペイン| |||オトリ、イゲラズに上陸。金銀の鉱山を発見。コルテスに対し反乱
 1524年5月4日-09:00|日本|埼玉県入間郡毛呂山町|大永4年4月|山内家の毛呂城が北条氏綱に下る
 1524年5月4日-09:00|日本|宮崎県|大永4年4月|伊東・北原・新納・本田の4氏、連合して北郷氏と争う

1530迄 (2001件)

1524年5月11日-09:00|日本|広島県安芸高田市|大永4年4月8日|謀反を察知した毛利元就に船山城を攻められ相合元綱は討ち取られた

1524年5月21日 00:00|イギリス| |||<死去>ノーフォーク公「トマス・ハワード」

1524年5月21日 00:00|イギリス| |||<就任>ノーフォーク公「トマス・ハワード」(~15470128私権剥奪)

1524年5月23日-03:30|イラン| |||<死去>サファヴィー朝シャー「イスマーイール1世」/36歳(誕生14870627)

1524年5月23日-03:30|イラン| |||<就任>サファヴィー朝摂政「デ・イブ・スルタン・ムル」(~15270705)

1524年5月23日-03:30|イラン| |||<即位>サファヴィー朝シャー「タマースプ1世」(~15760514死去)

1524年5月23日-02:00|エジプト/トルコ| |||エジプト太守のアフマド・ハッサがオスマン朝のスレイマン1世に対して反乱を起こす

1524年5月24日-09:00|日本|大阪府|大永4年4月21日|<交替>摂津国守護「細川高国」隠居⇒「細川植国」(~12月死去)

1524年5月24日-09:00|日本|京都府|大永4年4月21日|<交替>丹波国守護「細川高国」隠居⇒「細川植国」(~12月死去)

1524年6月-01:00|ドイツ| |||南シュヴァルツェアルトのシュテューリンゲン方伯領の農民たちが貢納を拒絶して蜂起する(ドイツ農民戦争の発端)

1524年6月2日-09:00|日本|愛知県岡崎市|大永4年5月|<移転>松平清康:三河安祥→三河岡崎/次に広忠が嗣ぐ(~天文18年)

1524年6月2日-09:00|日本|愛知県岡崎市|大永4年5月|安城松平家7代当主松平清康(徳川家康の祖父)が、岡崎松平家の東岡崎明大寺にあった岡崎城(城主西郷信貞)を占領

1524年6月6日-02:00|エジプト/トルコ| |||アフマド・ハッサの反乱が鎮圧される

1524年6月6日-09:00|日本|宮城県|大永4年5月5日|伊東・北原・新納・本田の4氏、野々美谷城の割譲を条件に北郷氏と和睦

1524年6月7日-01:00|モロコ| |||モロコはスペイン保護領となる(11月5日、スペインによって批准~16411117)

1524年6月12日 05:00|キューバ/スペイン| |||<死去>スペイン領キューバ総督「デ・イエゴ・ウエラスカス」

1524年6月12日 05:00|キューバ/スペイン| |||<就任>スペイン領キューバ総督「Manuel de Rojas y Cordova」(~1525年)

1524年6月12日-09:00|日本|鳥取県|大永4年5月中旬|尼子経久伯耆に侵入/米子城、淀江、尾高、天満、不動ヶ嶽の城を攻め落とす(大永の五月崩れ)

1524年6月12日-09:00|日本|鳥取県東伯郡湯梨浜町|大永4年5月中旬|南条宗勝は尼子経久の伯耆侵入により羽衣石を追われた

1524年6月13日-09:00|日本|佐賀県|大永4年5月12日|竜造寺家兼らが千葉胤勝を破る

1524年6月13日-09:00|日本|広島県廿日市市|大永4年5月12日|武田光和・友田興藤、大野要害の後詰のため女滝に出張するが、城主の離反で大内軍に敗れる

1524年6月14日-09:00|日本|京都府京都市|大永4年5月13日|大洪水、四条・五条の橋流失

1524年6月21日-09:00|日本|広島県|大永4年5月20日|大内義興が周防より進軍し、尼子経久の属城を攻める

1524年6月29日-02:00|エストニア/ラトビア| |||<死去>リガ大司教・リガラント公「キヤム・ーリンデ」

1524年6月29日-02:00|エストニア/ラトビア| |||<就任>リガ大司教・リガラント公「ヨハネス7世ブランケンフェルト」(~15270909没)

1524年6月29日-09:00|日本|愛知県岡崎市|大永4年5月28日|松平清康が、家臣の宇津(大久保)忠茂の進言により風雨の夜陰に乗じて山中城を落城させ、岡崎城を孤立させる

1524年7月 06:00|グアテマラ| |||アルバラド軍、ケサルテンゴ近郊セラーの決戦でテク・ウマン酋長の軍を破る/その後キエの首都マルカを破壊

1524年7月19日-09:00|日本|埼玉県川越市|大永4年6月18日|上杉朝興、河越城再建

1524年7月20日-01:00|フランス| |||<死去>ブルージュ公「クロード」24歳

1524年7月20日-01:00|フランス| |||<即位>ブルージュ公「フランソワ3世」フランソワ1世とクロードの長男(~15360810死去18歳)

1524年7月24日-09:00|日本|滋賀県大津市|大永4年6月23日|延暦寺衆徒が日蓮宗の舎宅を破却し、この日、日蓮宗徒の任官改易を要求

1524年7月25日 06:00|グアテマラ| |||アルバラド、グアテマラ全土をほぼ平定/テクパンを首都とし、サンチゴ・デ・カバレーロス・デ・グアテマラと命名

1524年7月29日-01:00|フランス/イタリア| |||ベネチア、フランスに対するウルムスの第二次条約

1524年7月29日-09:00|日本|静岡県裾野市|大永4年6月28日|須山浅間社(裾野市須山)が造立される

1524年8月-02:00|ルーマニア| |||<再任>ワラキア総督・領主「ラド・ウ5世」(3回目~15290102)

1524年8月-01:00|クロアチア| |||<就任>クロアチアとスラヴォニアとダルマチアのパン「イワン・ス」(~1525年)

1524年8月 06:00|エルサルバドル/グアテマラ| |||アルバラド、エルサルバドルに侵入、トシュケル族を殲滅

1524年8月1日 07:00|北米/中米/南米/スペイン| |||インディアス会議、国王直属下のインディアス枢機会議(コンセホ・デ・インディアス)に昇格。以後3百年にわたり植民地経営を一手に集中、LA統治の最高機関となる

1524年8月4日 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド副卿「キルデア伯爵ジェラルド・フィッツジェラルド」(3回目~15261202)

1524年8月5日-01:00|ノルウェー| |||<即位>ノルウェー王「ニダロス大司教オラフ・エンゲルブリクトソン(国務院議長)」(1回目~23日)

1524年8月8日-01:00|ポーランド| |||<死去>マゾフシェ公「スタニスワフ」

1524年8月8日-09:00|日本|広島県廿日市市|大永4年7月9日|大内軍、桜尾城を攻めるが、城兵これを撃退

1524年8月9日-09:00|日本|広島県広島市安佐南区|大永4年7月10日|尼子経久が毛利元就、吉川元経らと義興を安芸国銀山に攻めるが敗れる

1524年8月19日-09:00|日本|埼玉県さいたま市岩槻区|大永4年7月20日|扇谷上杉朝興が甲斐の武田信直(信虎)と連携して武蔵岩槻城を奪回

1530迄 (2001件)

1524年8月23日-01:00|ルウェー| |||<即位>ルウェー王「フレデリク1世」デンマーク王・シュレースヴィヒ公 (~1530410没)
1524年8月28日-09:00|日本|広島県廿日市市|大永4年7月29日|(24日~)大内軍、桜尾城を攻めるが、城兵これを撃退
1524年9月 05:00|キューバ/スペイン| |||<就任>スペイン植民地キューバ 副総督代行「マヌエル・デ・ロハス・イ・コルト・バ」(1回目~15250314)
1524年9月2日-09:00|日本|広島県広島市安佐南区|大永4年8月5日|<佐東銀山城の戦い>尼子軍は悪天候を突いて夜襲/夜襲部隊は元就に加えて熊谷信直・香川光景・三須房清などの安芸国人衆を中心に編成、襲撃を受けた大内陣営は520余名が討たれた
1524年9月5日-05:30|インド/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領インド 総督「ヴァイ・イグ・イバウ・アスコ・ダ・ガマ」(~12.24没)
1524年9月7日-09:00|日本|広島県廿日市市|大永4年8月10日|<佐東銀山城の戦い>大内軍は撤退
1524年9月9日-09:00|日本|京都府京都市|大永4年8月12日|京都大火、上京柳原数100軒焼亡
1524年9月11日-09:00|日本|愛媛県今治市|大永4年8月14日|村上吉智、越智郡日吉郷大浜八幡宮を造営
1524年9月12日-09:00|日本|京都府京都市東山区|大永4年8月15日|京都東山の真如堂の由来を描いた「真如堂縁起絵巻」が成る
1524年9月17日-09:00|日本| ||大永4年8月20日|<死去>豊原統秋(75歳) 雅楽家、歌人、書家、本草家
1524年10月 06:00|ホンジュラス/メキシコ| |||<就任>遠征軍のクリストバル・オルト、コルテスに対し反乱
1524年10月1日-01:00|サマリノ| |||<就任>サマリノ共和国執政「ジャコモ・デ・アントニオ・ジャンニニ」「バルトロメオ・デ・アントニオ・アマンティ」
1524年10月12日 07:00|メキシコ/スペイン| |||<就任>ヌエバ・イスパニヤ総督「臨時政府(アロンソ・デ・エストラーダ/ロドリゴ・デ・アルカス/アロンソ・デ・スアリ)」(~12.29)
1524年10月15日-01:00|スペイン/メキシコ| |||カルロス5世、ヌエバ・イスパニヤ統治を承認、コルテスを総督兼軍司令官(アデランタド)に任命
1524年10月23日-01:00|イタリア| |||<再位>ミロ公フランソワ1世(~15250224)
1524年10月25日 00:00|イギリス| |||<死去>アランテル伯「ウィリアム・フィッツアラン」
1524年10月25日 00:00|イギリス| |||<就任>アランテル伯「ウィリアム・フィッツアラン」(~15440123死去)
1524年10月26日-01:00|イタリア/フランス| |||フランソワ1世がイタリア遠征軍の指揮をとり、ミロを奪還
1524年10月28日-09:00|日本|大阪府|大永4年10月2日|細川高国の将香西元盛ら細川澄元の残党と和泉国で戦い敗退
1524年11月5日-09:00|日本|埼玉県入間郡毛呂山町|大永4年10月10日|山内上杉憲房、鉢形城に抛り毛呂を攻める/11日入城
1524年11月5日-09:00|日本|広島県廿日市市|大永4年10月10日|大内義興、吉見頼興の調法により、神主友田興藤と和睦/友田氏の桜尾城は大内方に降伏
1524年11月11日-09:00|日本| ||大永4年10月16日|上杉憲房・朝興、北条氏綱と和睦
1524年11月26日-09:00|日本|千葉県館山市|大永4年11月|安房国の里見実堯の遺児里見義堯は豊見義豊を攻め破って自殺させ、父の仇に報い里見氏の宗家を継ぎ、弟の義弘を館山城に移して之れを守らしむ
1524年12月 06:00|グアテマラ| |||アルバ・ラート、ヒピル族のクスカトラン、アトラカル両王国を制圧
1524年12月8日-09:00|日本|大阪府河内長野市|大永4年11月13日|植長が遊佐氏に義英の拠る河内仁王山城を攻めさせる
1524年12月12日-01:00|フランス/イタリア| |||ベネチア、フランスと和平及び同盟条約
1524年12月18日-09:00|日本|山梨県|大永4年11月23日|武田信直(信虎)、北条氏綱と和睦
1524年12月24日-05:30|インド/ポルトガル| |||<死去>ポルトガル領インド 総督「ヴァイ・イグ・イバウ・アスコ・ダ・ガマ」
1524年12月24日 00:00|ポルトガル| |||<死去>ヴァスコ・ダ・ガマ/(誕生1469年)探検家でインド航路を発見した
1524年12月24日-09:00|日本|鹿児島県鹿屋市|大永4年11月29日|肝付兼興が串良城を襲い、島津忠吉(宗家14代勝久の子)が戦死
1524年12月25日-09:00|日本|大阪府|大永4年12月|<死去>摂津国守護「細川植国」⇒「細川高国」が継ぐ(~享禄4年6月8日(15310721)死去)
1524年12月25日-09:00|日本|京都府|大永4年12月|<死去>丹波国守護「細川植国」⇒「細川高国」が継ぐ(~享禄4年6月8日(15310721)死去)
1524年12月27日-09:00|日本|鹿児島県鹿屋市|大永4年12月3日|肝付兼興が串良城を攻略
1524年12月29日 07:00|メキシコ/スペイン| |||<就任>ヌエバ・イスパニヤ総督「臨時政府(アロンソ・デ・スアリ/ヘクトロ・アルミンデス・シリノ/ゴンサロ・デ・サラザール)」(~15250217)
1524年12月30日-09:00|日本|大阪府河内長野市|大永4年12月6日|植長方が仁王山城を攻略、敗れた義英は高野山へ潜む
1525年-08:00|インド/ポルトガル| |||<就任>モルッカ諸島ポルトガル司令官「Garcia Henriques」(~1527年)
1525年-07:00|タイ| |||<即位>ランナー王国マンライ朝国王「ケートクオ(ケート・ケートチェ・タート)」(1期目~1538年)
1525年-05:30|インド| |||<即位>ハフマニ朝第18代スルタン「カリムッラー・シャー」(~1527年)
1525年-04:00|ジョージア| |||<即位>カルトリ王「ジョージ9世」(~1527年)
1525年-04:00|ジョージア| |||<退位>カルトリ王「ダヴィド10世」
1525年-02:00|エストニア/ドイツ| |||<死去>リグ・オニアのレガール司令官「ハウル・フォン・シュタイン」
1525年-02:00|キプロス/イタリア| |||<就任>ヴェネチアのキプロス副官「トナート・デ・イ・ブリアーモ・デ・レツツェ」(~1527年)
1525年-02:00|エジプト/トルコ| |||<就任>オスマン帝国領エジプト総督「ハルガール・イブラヒム・パシャ」(~3ヶ月間)⇒「ゲゼルツェ・カシム・パシャ」(2回目~同年)⇒「ハドゥム・スレイマン・パシャ」(1回目~1535年)

1530迄 (2001件)

1525年-02:00|エストニア/ドイツ| |||<就任>リヴァウニアのレガール司令官「ディートリッヒ・ボック」(~1532年死去)

1525年-01:00|アルジェリア| |||<就任>アルジェのベイルベ「ハルバロス・ハレツティン・ハシャ・ヒドル・レイス」(2回目~15450704)

1525年-01:00|クロアチア| |||<就任>クロアチアとスラヴォニアとダルマチアのバン「フェレンツ・ハツティアニ」(~15310809)

1525年-01:00|マルタ/イタリア| |||<就任>シチリア領マルタ副総督「Michele Falsone」(~1526年)

1525年-01:00|ドイツ| |||<就任>テューリンゲン方伯「ヨハン・ザクセン選帝侯」(~1532年)

1525年-01:00|スペイン/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領セウタ提督「Gomes da Silva de Vasconcelos」(2期目~1529年)

1525年-01:00|アルジェリア/トルコ| |||コンスタンティンはオスマン帝国の一部(クサンティナ)

1525年-01:00|ドイツ/リトアニア/ポーランド| |||ポーランド王ジグムント1世スタウイ、プロイセンを服属させる

1525年-01:00|イタリア| |||マッキアベリが「フィレンツェ史」を刊

1525年 00:00|イギリス| |||<就任>エクセター侯「ハリー・コートネイ」デヴォン伯(~15381209処刑される)

1525年 00:00|イギリス| |||<就任>サマセット公・リッチモンド公・ノッティンガム伯「ハリー・フィッツロイ」ハリー8世の非嫡出子(~15360723死去消滅)

1525年 00:00|カリヤ諸島/スペイン| |||<就任>スペイン王国植民地テネリフェ島知事「Pedro Fernandez de Lugo」(~1538年)

1525年 00:00|モリタニア/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領アルギン長官「ロレンソ・デ・パイヤ」(~1528年)

1525年 00:00|イギリス| |||<就任>リンカン伯「ハリー・ブランドン」(~15340301死去)

1525年 05:00|ペルー| |||インカ帝国でイカ・カック王が死に、後継者紛争がおこる

1525年 05:00|コロンビア| |||ハスティダスがコロンビアのカリブ海沿岸地方を探検

1525年 06:00|ホンジュラス/スペイン| |||<就任>コマケア県総督「アルバロ・デ・サベド・ラ・セロン」(~15261027)

1525年 06:00|グアテマラ| |||アルバラードの弟ゴンサロ、マヤの支族サクレを討伐。首都シユ・ピエ制圧

1525年1月-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>ダマスカス・ワリス(総督)「スレイマン・ハシャ・アット・タワシュ」(~1526年)

1525年1月17日-05:30|インド/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領インド総督「エンリケ・デ・メゼス」(~15260202死去)

1525年1月24日-09:00|日本|静岡県富士市|大永5年|今川氏親、北山本門寺7世日国に帰依し、成就山本国寺(富士市今泉)を創建

1525年1月24日-09:00|日本|静岡県富士宮市|大永5年|東条吉良持広、花岳寺(吉良町岡山)諸堂再興

1525年1月24日-09:00|日本|北海道|大永5年春|<東西蝦夷の蜂起(蝦夷が島)>東西の蝦夷が蜂起し和人が多数殺される/まぬがれた和人は徳山と天の川付近に逃れた

1525年1月31日-09:00|日本|熊本県水俣市|大永5年1月8日|<死去>相良氏第14代当主「相良長祇」(25歳)相良長定に攻められ、自害

1525年2月17日 07:00|メキシコ/スペイン| |||<就任>ヌエバ・イスパニヤ総督「臨時政府(アロンソ・デ・エストラダ・ロドリゴ・デ・アルボルノス/アロンソ・デ・スアソ/ペドロ・アルミンデス・チリノ/ゴンサロ・デ・サラザール)」(~4. 20)

1525年2月21日-01:00|イタリア| |||ベネチアで貨幣製造者取締りの1473年の法律、再公布

1525年2月22日-09:00|日本|静岡県富士宮市|大永5年2月|本門寺7世日国が大鏡山本光寺(富士宮市宝町)を開基

1525年2月24日-01:00|イタリア/フランス/ドイツ/スペイン| |||神聖ローマ皇帝カール5世が、パヴイアの戦いでフランス軍を破る/フランス1世がスペインの捕虜となる

1525年2月26日-01:00|イタリア| |||<復位>ミラノ公フランチェスコ2世・スフォルツァ(~15351101)

1525年2月27日-09:00|日本|埼玉県さいたま市岩槻区|大永5年2月6日|太田資頼は渋江氏の内応で北条氏綱が岩槻城を奪いかえす

1525年3月14日 05:00|キューバ/スペイン| |||<就任>スペイン植民地キューバ副総督「ファン・デ・アルタミラノ」(~15260427)

1525年3月25日-02:00|トルコ| |||イスタンブールでイエニチリが反乱を起こす

1525年4月-02:00|ルーマニア| |||<就任>ワキア対抗総督・領主「ウジスラフ3世」(2回目~8月)

1525年4月-02:00|エジプト/トルコ| |||オスマン朝の宰相イブラヒムがエジプトにオスマン朝法典を導入

1525年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「イノエンツォ・デ・イ・メネット・ボネリ」「ピエール・レオネ・デ・イ・ファブリツィオ・コルベッリ」

1525年4月1日 06:00|エルサルバドル/スペイン| |||<就任>スペイン領サンサルバドル上級判事(後副総督)「ゴンサロ・デ・アルバラード・イ・コントレラス」(~1526年)

1525年4月1日 06:00|エルサルバドル/スペイン| |||<設立>サン・サルバドル市(1528年、1545年移転)

1525年4月8日-01:00|ドイツ| |||ホエンツォレルン家出身のアルブレヒ트가、ポーランドから騎士団領を与えられる(プロイセン公国の成立)

1525年4月9日-02:00|リトアニア/ドイツ/ポーランド| |||メルはプロイセン公国の一部(1657年までポーランドの領地)

1525年4月10日-01:00|ドイツ| |||<就任>プロイセン公(ホエンツォレルン朝)アルブレヒト1世[ホエンツォレルン家出身のブランデンブルク選帝侯アルブレヒト・アヒレスの孫で、ブランデンブルク=アンスバッハ辺境伯兼ブランデンブルク=クルムバッハ辺境伯フリードリヒ5世の息子。ドイツ騎士団団長]ポーランド国王ジグムント1世から「プロイセン公」の地位を授けられる(~15680320死去77歳)

1525年4月17日-01:00|ドイツ| |||ドイツ農民戦争、上シュヴァーベンの農民団がゲルハで領主の軍に敗れる

1525年4月17日-09:00|日本|神奈川県鎌倉市|大永5年3月25日|<死去>関東管領「上杉(山内)憲房」59歳⇒「上杉(山内)憲寛」が継ぐ(~享禄4(1531)年9月3日)

1525年4月17日-09:00|日本|山梨県|大永5年3月25日|武田信虎と北条氏綱が和睦

1525年4月20日 07:00|メキシコ/スペイン| |||<就任>ヌエバ・イスパニヤ総督「臨時政府(アロンソ・デ・スアソ/ペドロ・アルミンデス・チリノ/ゴンサロ・デ・サラザール)」(~5. 23)

1525年4月27日-09:00|日本|京都府京都市|大永5年4月5日|<就任>関白「近衛植家」(~天文2年2月5日)

1525年5月5日-01:00|ドイツ| |||<死去>ザクセン選帝侯「フリードリヒ3世賢公」

1525年5月5日-01:00|ドイツ| |||<即位>ザクセン選帝侯「ヨハン」(~15320816死去)

1525年5月13日-09:00|日本|京都府京都市|大永5年4月21日|<任命>室町幕府管領「細川植国」(~10月23日)

1530迄 (2001件)

1525年5月15日-01:00|ドイツ| |||<ドイツ農民戦争>フランクハゼンの戦いで農民軍が諸侯軍に敗れ壊滅し戦争終結
1525年5月23日-09:00|日本|愛知県豊田市|大永5年5月2日|松平清康が足助城主鈴木重政を責め、主従の関係を結ぶ
1525年5月23日-09:00|日本|神奈川県平塚市|大永5年5月2日|相模国の大智院が炎上
1525年5月24日 07:00|メキシコ/スペイン| |||<就任>ヌエバ・イスパニヤ総督「ゴンサロ・デ・サザール」「ヘド・ロ・アルメダス・チリ」(~1526 0128)
1525年6月-01:00|ポズニア・ヘルツェゴビナ/トルコ| |||<就任>ポズニア総督「ガジ・ハサン・ベイ」(2回目~1526年)
1525年6月9日-09:00|日本|滋賀県|大永5年5月19日|六角定頼、浅井氏攻撃のため近江北郡に出兵/越前の朝倉宗滴、六角氏支援のため近江に出陣
1525年6月10日-09:00|日本| ||大永5年5月20日|<死去>土佐光信(92歳)絵師
1525年6月18日 00:00|イギリス| |||<就任>トラント伯「トマス・マーズ」(~15430920死去)
1525年7月5日-01:00|ハンガリー| |||<就任>ハンガリー王室総督「イシュトヴァーン・ヴェルベツィ」(~15260428)
1525年7月16日-09:00|日本|広島県東広島市|大永5年6月26日|<米山城の戦い>大内義興の将陶興房、天野興定を安芸国米山城に攻め攻撃し降伏させる
1525年7月19日 00:00|ヨーロッパ| |||カトリック諸公が新教に対抗するデッサウ同盟を結成
1525年7月22日-09:00|日本|静岡県静岡市清水区|大永5年7月3日|大檀那朝比奈太郎春定・大工沢瀬九郎三郎・頭領左衛門三郎・別当修行三光坊法印頼祐・奉行祐賢坊、鷲峰山靈山寺仁王堂再建
1525年7月24日-01:00|スペイン/フィリピン| |||スペインのロイ・サ探検隊がフィリピン諸島に向かう
1525年7月29日 05:00|コロンビア/スペイン| |||ロドリゴ・デ・バステダスによってサンタマルタ設立
1525年8月4日-09:00|日本|滋賀県長浜市|大永5年7月16日|<小谷城の戦い>六角定頼、浅井亮政を小谷城に攻め破れる
1525年8月24日-09:00|日本|広島県東広島市|大永5年8月6日|興房、興定らが尼子経久の軍と安芸国志芳荘で交戦
1525年9月-03:00|サウジアラビア| |||<死去>メッカ・シャリフ「バラカット2世・ビン・ムハメッド」
1525年9月-03:00|サウジアラビア| |||<就任>メッカ・シャリフ「アフ・ヌマイ2世・ビン・バラカット」(~1583年2月死去)
1525年9月9日-09:00|日本|埼玉県和光市|大永5年8月22日|<白子原の戦い(武蔵国)>上杉朝興が河越城から出陣、江戸城へ向かう。北条氏綱も出陣し、武蔵白子原で合戦となり北条軍は大敗/800余人討死
1525年9月18日-09:00|日本|滋賀県|大永5年9月2日|<第二次伊庭氏の乱(近江国)>六角氏と伊庭氏および京極氏の戦いは六角軍が京極軍を打ち破って九里宗忍を滅ぼしたことで事実上終焉
1525年10月-02:00|モザンビーク/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領ソファラ・キープテン「ロペ・デ・アルメイダ」(~15280220)
1525年10月1日-11:00|ミクロネシア/ポルトガル| |||ポルトガル人のイスラ・セウラ号デ・イコ・ダ・ロジャ船長がヤップ島本島とユリシ島を発見
1525年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ルキオ・レ・デ・イ・フランチェスコ・ベルツィ」「サンマリナーノ・デ・イ・アントレ・ティニ」
1525年11月8日-09:00|日本|兵庫県|大永5年10月23日|<死去>摂津国・丹波国守護・管領「細川植国」(18歳)
1525年11月12日-09:00|日本| ||大永5年10月27日|<死去>相阿弥(不明)絵師
1525年11月24日-01:00|スペイン| |||カルロス1世が新大陸での鉱脈探しを現地総督の許可制とする
1525年12月 06:00|ロシア| |||コルテス、イグーラスに到着。オリドを処刑/ファン・デ・メデヤを暫定総督に任命。各派間のトラウマや原住民の犯行を平定。現地における彼の支配権を確立
1525年12月4日-09:00|日本|岐阜県|大永5年11月20日|浅井家の軍勢が国境を越えて美濃国に入り、土岐軍と衝突
1526年-08:00|マレーシア| |||<即位>クランタン・スルタン国スルタン「スルタン・アフマト・シャー」(~1547年)
1526年-06:30|ミャンマー| |||<死去>ペーグー王「ヒンニャー・ラン2世」
1526年-06:30|ミャンマー| |||<即位>ブーラム国王「ベイン・フエ」(~1532. 12)
1526年-06:30|ミャンマー| |||<即位>ペーグー王「タ・ユッ・ピ」(~1539年1月没)
1526年-03:00|イェメン/トルコ| |||<就任>オスマン帝国サ総督「Mustafa Bey al-Rumi」(~1527. 7)
1526年-03:00|ソマリア/ジブチ/エチオピア| |||<即位>アタル・スルタン国スルタン「Umar Din Mahamed」(~1553年)
1526年-02:00|ギリシャ/イタリア| |||<就任>ヴェネツィアのカンデリア公「ベルナルド・ソランツォ」(~1528年)
1526年-02:00|ウクライナ/トルコ| |||オスマン帝国はオチャコフを併合し、残りの地域はオスマン帝国宗主国下でクリミア・ハンによって保持された
1526年-01:00|ドイツ| |||<死去>オルデンブルク伯「ヨハン5世」
1526年-01:00|フランス| |||<就任>エタンブ伯「Jean de La Barre」(~1534年)
1526年-01:00|マルタ/イタリア| |||<就任>シチリア領マルタ副総督「Pietro Falsone」(~1527年)
1526年-01:00|フランス| |||<就任>モンベリアル伯「ケオルク1世」ハインリヒの息子、ヴェルテンブルク公ウルリヒの弟(~1534年)
1526年-01:00|チュニジア/アルジェリア| |||<即位>ハフス朝アミール「ハサン・ムハンマド6世」(~1543年)
1526年-01:00|スペイン/インドネシア| |||スペインがモルッカ諸島のティドレに砦を構築
1526年 00:00|カリヤ諸島/スペイン| |||<就任>スペイン王国植民地گران・カリヤ島知事「Martin Hernandez Ceron」(1期目~1529年)
1526年 00:00|ガナ/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル・ゴールドコースト長官「ジ・ヨアン・ヴァス・デ・アルマダ」(~1529年)
1526年 00:00|マン島/イギリス| |||<就任>マン島知事「Richard Holt」(~1527年)
1526年 00:00|モロッコ| |||<即位>ワッター朝スルタン「Abu al-Hasan Abu Hasan Ali」(~同年)⇒「アフ・アル=アッハース・アフマト・イブン・ムハンマド」(~1545年)
1526年 00:00|ポルトガル/パプアニューギニア| |||ポルトガルのメゼーサがニューギニアに到達
1526年 03:00|ブラジル/ポルトガル| |||<就任>ブラジル総督「クリストファー・ジャック」(~15281026)

1530迄 (2001件)

1526年 03:00|アルゼンチン/パラグアイ/ウルグアイ| |||ホットがラ・プラタ地方を探検
1526年 05:00|ジャマイカ/スペイン| |||<就任>スペイン領サントヤゴ 総督「フアン・デ・メンデス・ケレン」⇒「アルバロ・カネス」(~1532年)
1526年 06:00|ニカラグア/スペイン| |||<死去>ニカラグア総督「フランシスコ・エルナンデス・デ・コルトバ」ペドロ・アリアス・ダ・ベラに捕えられ、処刑される
1526年 06:00|グアテマラ/スペイン| |||<就任>スペイン領グアテマラ副総督代行「ゴンサロ・デ・アルバラド・イ・コントラス」
1526年 06:00|ニカラグア/スペイン| |||<就任>ニカラグア総督「ペドロ・アリアス・ダ・ベラ」(~1531年没)
1526年1月-01:00|ボスニア・ヘルツェゴビナ/トルコ| |||<就任>ボスニア総督「ガジ・フスレバグ」(2回目~1534年3月)
1526年1月 05:00|ペルー| |||ピサロが第2次ペルー遠征に出発し、南米東海岸沿いに南下
1526年1月13日-09:00|日本|香川県観音寺市|大永5年12月|観音寺(香川県観音寺市)金堂、造営
1526年1月14日-01:00|フランス/ドイツ/イタリア| |||神聖ローマ皇帝カール5世の捕虜となったフランス王フランソワ1世が、ミラノ、ジェノヴァ、ブルゴニユを放棄する条約を締結(不履行)
1526年1月29日 07:00|メキシコ/スペイン| |||<就任>ヌエバ・イスパニヤ総督「アロンソ・デ・エストラダ」(1回目)」「ロドリゴ・デ・アルメル」(~6.24)
1526年2月 04:00|刊| |||サン・レムス号が南緯55度に達し、ホーン岬の南で大陸が終わっていることを発見
1526年2月2日-05:30|インド/ポルトガル| |||<死去>ポルトガル領インド 総督「エンリケ・デ・メネズ」
1526年2月2日-05:30|インド/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領インド 総督「ロドリゴ・デ・サン・イオ」(~15291118)
1526年2月10日-01:00|ドイツ| |||<死去>オランダ伯爵「ヨハ5世」
1526年2月10日-01:00|ドイツ| |||<就任>オランダ伯爵「ヨハ6世」(~1529年)、「ゲオルク」(~1529年)、「クリストファ」(~15660804死去)、「アントン1世」(~15730122死去)
1526年2月12日-09:00|日本|静岡県焼津市|大永6年|長谷川伊賀守元長、紀伊より帰り熊野三社を勧請し熊野神社(焼津市小川)を造営
1526年2月12日-09:00|日本|東京都千代田区|大永6年|道灌の孫大和守資高が明禅院日立を招いて江戸城内平河口に本行寺建立
1526年2月12日-09:00|日本|長崎県壱岐市|大永6年|聖母香椎宮[勝本浦]の内殿を造り替える
1526年2月12日-09:00|日本|長崎県対馬市|大永6年|<死去>対馬国守護「宗盛長」⇒「宗将盛」が継ぐ(~天文8(1539)年)
1526年2月12日-09:00|日本|京都府乙訓郡大山崎町|大永6年1月|丹波勢の進撃は迅速で、山崎を落とし、鳥羽に着陣
1526年2月23日-01:00|スペイン| |||<死去>初代ペラガア公「デ・イエゴ・コロ」
1526年2月23日-09:00|日本|静岡県富士宮市|大永6年1月12日|日有上人、大永四年に井出氏の館庵室の後方に隠し置いた本尊・重宝を、富士大石寺に移す
1526年2月24日 00:00|ポルトガル| |||<就任>ポルトガル公(王位継承者)「アフォンソ」(~4.12夭折)
1526年2月27日 00:00|ヨーロッパ| |||ルターを支持する諸侯が、ゴータートルハウ同盟締結
1526年3月9日-01:00|ポーランド| |||<死去>マゾフシェ公「ヤヌシュ3世」、マゾフシェはポーランドに吸収
1526年3月10日-01:00|ポーランド| |||ポーランド王「ジグムント1世スタイル」、マゾフシェ公国を併合
1526年3月28日-09:00|日本| |||大永6年2月16日|<死去>宗山等貴(63歳)伏見宮貞常親王の王子
1526年4月1日-01:00|サマリナ| |||<就任>サマリナ共和国執政「ジローモ・デ・イ・ジュリアーノ・ゴジ」」「フェデリゴ・デ・イ・ブランダーノ・カールチー」
1526年4月5日-05:30|インド| |||<再任>グジャラート・スルターン朝スルターン「シカンダル・シャー」(~5.30)
1526年4月5日-05:30|インド| |||<死去>グジャラート・スルターン朝「ムザファール・シャー2世」
1526年4月12日 00:00|ポルトガル| |||<死去>ポルトガル公(王位継承者)「アフォンソ」
1526年4月12日 00:00|ポルトガル| |||<就任>ポルトガル公(王位継承者)「ルイス」(2度目~15271015)ペーシャ公
1526年4月15日 00:00|イギリス| |||<死去>ウスター伯「チャールズ・サマセット」
1526年4月15日 00:00|イギリス| |||<就任>ウスター伯「ヘンリー・サマセット」先代の子(~15491126死去)
1526年4月20日-05:30|インド| |||<即位>ムガル帝国皇帝「バーブル」建国(~15301226、死去)
1526年4月21日-05:30|インド| |||<死去>ローデイ朝スルターン「イブラヒム・ローデイ」
1526年4月21日-05:30|インド| |||インド北部のパニーパットで、ティムールの子孫のバーブルが、ローデイ朝のイブラヒムを破ってムガル朝の基礎を築く
1526年4月27日 05:00|キューバ/スペイン| |||<就任>スペイン植民地キューバ 副総督「ゴンサロ・デ・グスマン」(1回目~15311106)
1526年4月28日-01:00|ハンガリー| |||<就任>ハンガリー王室総督「イシュトヴァーン・バートリ・エクセーイ」(2回目~15300214)
1526年4月30日-05:30|インド| |||バーブルがデリーを占領しムガル帝国を創始<即位>ムガル帝国初代「デインシャー・バーブル」(~15301226死去)
1526年5月1日-09:00|日本|福岡県行橋市|大永6年3月20日|大友方立花鑑連が豊前馬ヶ岳に陣して大内方の佐野親基を破る
1526年5月4日-09:00|日本|島根県大田市|大永6年3月23日|神谷寿貞、石見銀山を再発見
1526年5月8日-09:00|日本|山梨県甲府市|大永6年3月27日|一條小山砦の普請のために、一條一蓮寺を一條小山から小山原へ移転させる
1526年5月11日-01:00|フランス/ドイツ/イタリア/オーストリア/スペイン| |||フランス王フランソワ1世、神聖ローマ皇帝兼スペイン王カール5世に手紙を送り、条約は無効だと宣言し、フランス東部「ブルゴニユ」の割譲を反故にする
1526年5月18日-09:00|日本|京都府京都市|大永6年4月7日|<死去>104代「後柏原天皇」63歳(誕生:寛正5(1464)1020)
1526年5月22日-01:00|フランス/パチン/イタリア| |||フランス王フランソワ1世を中心に、ローマ教皇クレメンス7世、「ヴェネツィア共和国」、「フィ

1530迄 (2001件)

「インツェ共和国」、「ミラノ公国」が、神聖ローマ皇帝兼スペイン王カルロス5世に対抗する「ユニャック同盟」を結成
1526年5月25日-09:00|日本|静岡県|大永6年4月14日|駿河国守護今川氏親が家法33カ条(今川仮名目録)を制定
1526年5月30日-05:30|インド| ||<即位>ゲジヤラト・スルターン朝スルターン「マフマト・シャー2世」(~同年)⇒「ハート・ル・シャー」(~1535年)ムガル帝国に支配される)
1526年6月9日-09:00|日本|京都府京都市|大永6年4月29日|<踐祚>「知仁親王」(⇒天文5年2月26日、105代「後奈良天皇」として即位~弘治3年9月5日(15570927)死去)
1526年6月10日-09:00|日本|東京都|大永6年5月|正木大勝亮(通綱)、水軍をもって武蔵品川・今津(今戸)・石浜方面へ侵攻
1526年6月24日-01:00|イタリア| ||<ウエネツィア人、ローディを獲得
1526年6月25日 07:00|メキシコ/スペイン| ||<就任>ヌエバ・イスパニヤ総督「エルナン・コルテス・デ・モンロイ・ピサロ・アルタミラノ」(3回目~7.3)
1526年6月25日-09:00|日本|熊本県球磨郡あさぎり町|大永6年5月16日|相良長隆が甥の長定を追放するが、兄の長唯に討ち取られる
1526年7月-01:00|スペイン/ポジユラス| ||<カルロス一世、ポジユラスをデ・イエゴ・ロペス・デ・セルサドに与える
1526年7月 05:00|パナマ/スペイン| ||<就任>カスティリヤ・デ・ラ・マール総督「ペドロ・デ・グティエレス・デ・ロサ・リオス・イ・アグアヨ」(~1529年)
1526年7月4日 07:00|メキシコ/スペイン| ||<就任>ヌエバ・イスパニヤ総督「ルイス・ホンセ・デ・レオン」(~16日)
1526年7月14日 00:00|イギリス| ||<死去>14代オックスフォード伯「ジョン・ド・ウイアー」
1526年7月14日 00:00|イギリス| ||<就任>15代オックスフォード伯「ジョン・ド・ウイアー」先代の二従兄弟(~15400321死去)
1526年7月16日 07:00|メキシコ/スペイン| ||<就任>ヌエバ・イスパニヤ総督「マルコス・デ・アギューラ」(~15270301)
1526年7月16日-09:00|日本|埼玉県蕨市|大永6年6月7日|河越城主上杉朝興が北条氏綱の武将渋川某を蕨城に攻めて陥落させる
1526年7月22日-09:00|日本|香川県|大永6年6月13日|細川高国、細川尹賢の偽文書信じ香西元盛を上意討ち
1526年8月-02:00|シリア・アラブ/トルコ| ||<就任>ダマスカス・ワリス(総督)「ルフィ・パシヤ」(1期目~1528年)
1526年8月-01:00|セルビア/トルコ| ||<ウオウ・オデ・イハはオスマン帝国の一部(ルメリア・エヤレットの一部)
1526年8月 06:00|グアテマラ/スペイン| ||<就任>スペイン領グアテマラ副総督代行「ペドロ・デ・ポートカロ」(~1527年)
1526年8月1日-09:00|日本|静岡県|大永6年6月23日|<死去>駿河・遠江国守護「今川氏親」56歳⇒子の「今川氏輝」が継ぐ(~天文5年3月17日(15360407)死去)
1526年8月6日 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| ||<就任>フーレス島・コルヴォ島・タリファ長官「Pero da Fonseca」(~1548年)
1526年8月21日-12:00|マセシャル諸島/スペイン| ||<サン・マリア・デ・ラ・ウイクトリア号を指揮していたスペイン人大尉トリビオ・アロンソ・デ・サラザールがタウキ環礁を目撃しサン・バルトロメと名付けた
1526年8月29日-01:00|ハンガリー/チェコ/クロアチア/トルコ/スロバキア| ||<死去>ハンガリー国王・クロアチア王・ボヘミア王「ラヨシュ2世」兼モラヴィア辺境伯「ルドヴィーク」オスマンとのモハッチの戦いで戦死、ハンガリー王国は領土の大部分をオスマンに奪われる
1526年8月29日-01:00|チェコ| ||<就任>ボヘミア摂政「ロジェミタルのステニェク・レフ」(2回目~15270224)
1526年8月29日-01:00|ハンガリー| ||<即位>ハンガリー王(職権上)「イシュトヴァーン・バートリ・エクセディ・フアルツ」(~11.11)
1526年8月30日-09:00|日本| ||大永6年6月23日|<死去>冷泉為広(77歳)権大納言、歌人
1526年9月2日-09:00|日本|熊本県球磨郡|大永6年7月26日|肥後球磨で犬童の乱勃発し、伊東祐充、相良氏の要請で援軍を送る
1526年9月6日-09:00|日本|静岡県沼津市|大永6年7月30日|<梨ノ木平戦い>北条氏綱軍は武田信虎軍との戦いで、三島高田一族・黒石入道・葛山氏・御宿氏・須走殿討死
1526年9月13日-09:00|日本|熊本県|大永6年8月7日|犬童の乱終結
1526年9月24日-01:00|イタリア| ||<クレマ、ウエネツィアに降伏
1526年10月1日-01:00|サンマリノ| ||<就任>サンマリノ共和国執政「フランチェスコ・デ・イ・モネ・ネ・ベルツツィ」(マリノ・デ・イ・セブルス)
1526年10月8日-08:00|インドネシア| ||<ドゥマク国の支援でバンテン港の支配権を奪い、バンテン王スナン・ゲムンジヤティ(~1552)を名乗った/当初バンテン王国(港湾都市バンテンを中心に栄えた西ジャバ最初のイスラム教国)はドゥマク国の属領だった
1526年10月23日-01:00|チェコ| ||<即位>ボヘミア王・モラヴィア辺境伯「フェルディナント1世」神聖ローマ皇帝マクシミリアン1世の孫・オーストリア大公(~15640725死去)
1526年10月27日 06:00|ポジユラス/スペイン| ||<就任>コマカグア県総督「デ・イエゴ・ロペス・デ・サルセド」(~1530年)
1526年11月10日-02:00|ルマニア/ハンガリー| ||<就任>トランシルヴァニア総督「ペーター・ペレニイ」(~1529年)
1526年11月11日-01:00|ハンガリー/クロアチア| ||<即位>ハンガリー・クロアチア王「ヤーノシュ1世」セルビア王「トランシルヴァニア侯」ヤイ・ヤーノシュ(1回目~15270820)
1526年11月12日-09:00|日本|青森県西津軽郡鰺ヶ沢町|大永6年10月8日|<死去>陸奥国種里城主「大浦光信」(67歳)
1526年11月27日-09:00|日本|京都府亀岡市|大永6年10月23日|<神尾山城の戦い>管領「細川高国」が柳本賢治の神尾山城に総大将「細川尹賢」軍を派兵、城を包囲
1526年11月27日-09:00|日本|京都府亀岡市|大永6年10月23日|<第一次八上城の戦い>管領「細川高国」が波多野種通の八上城に瓦林修理亮・池田弾正等を派兵、城を包囲
1526年12月2日 00:00|アイルランド/イギリス| ||<就任>アイルランド副卿「リー・クリップ」のトマス・フィッツジェラルド」(1回目~15270901)
1526年12月6日-01:00|ドイツ| ||<死去>フランクシュ・アイケ・ゲルベ・ンハーゲン侯「ハインリヒ4世」
1526年12月8日-09:00|日本|京都府亀岡市|大永6年11月5日|<神尾山城の戦い>丹波守護代内藤国貞が神尾山城の包囲軍から離脱
1526年12月9日-01:00|スペイン| ||<カルロス1世が新大陸での地下資源の開発をすべての臣下に開放

1530迄 (2001件)

1526年12月15日-09:00|日本|神奈川県鎌倉市|大永6年11月12日|<鎌倉・鶴岡八幡宮の戦い>相模国の北条氏綱と安房国の里見義豊との間で戦われた合戦/里見義豊・実堯は正木氏・安西氏・酒井氏などの兵とともに船数百隻を連ねて、三浦半島から鎌倉に向かって進撃、里見軍は鶴岡八幡宮の社家に乱入したり、宝物を奪ったり、仏閣を破却/鶴岡八幡宮から出火して炎上し始めたことから、里見軍は鎌倉から離れて玉縄城に向かったが、玉縄城を守る北条氏時は城と鎌倉の間の戸部川にて北上する里見軍を迎え撃ち、これを撃退/扇谷上杉氏も玉縄城を攻略できずに撤退し、北条氏が玉縄・鎌倉から三浦半島一帯を防衛

1526年12月15日-09:00|日本|静岡県浜松市|大永6年11月12日|一宮諏訪神社(浜松市天竜区佐久間町相月)造営

1526年12月22日-01:00|ドイツ| ||<死去>シャウエンブルク伯・ホルシュタイン=ビッペン伯「アントン」

1526年12月22日-01:00|ドイツ| ||<就任>シャウエンブルク伯・ホルシュタイン=ビッペン伯「ヨハン4世」(~15270330死去)

1526年12月28日-09:00|日本|静岡県浜松市|大永6年11月25日|信濃国諏訪伊予守連甫代・禰宜藤原重茂・大工河上四郎右衛門家重・本願鯖練善衛門茂重・鍛冶孫衛門・泉三郎衛門・西新兵衛茂春・瀬戸九郎兵衛守重・西左近尉茂重・泉左衛門三郎・泉二郎衛門、子安神社(浜松市天竜区佐久間町大井)社殿再建

1526年12月30日-09:00|日本|鹿児島県日置市|大永6年11月27日|薩摩・大隅・日向守護の島津忠兼は島津忠良に支援を求め、日置、南郷を割譲

1527年-08:00|インドネシア/ポルトガル| ||<就任>モルッカ諸島ポルトガル司令官「Jorge de Meneses」(~1530年)

1527年-08:00|フィリピン| ||<即位>スール王国スルタン「Sultan Muizzul-Mutawadi-in」(~1548年)

1527年-08:00|インドネシア| ||<即位>チルボン君主「Sunan Gunung Jati」(~15680919死去)

1527年-05:30|インド| ||<建国>パンスワ国

1527年-05:30|インド| ||<国名変更>ジョット国(新首都マンデイ設立)⇒マンデイ国

1527年-04:00|ロシア| ||<即位>アストラハン・ハン「シェイク・アフマド」(~1528年死去)

1527年-04:00|ジョージア| ||<即位>カルトリ王「ルアルサバ1世」(~1556年)

1527年-03:30|イラン/トルコ| ||オスマン朝がサファビ朝の首都を攻撃

1527年-03:00|イェメン| ||<即位>ヒリド・スルタン「Amir bin Da'ud」(~1538年)

1527年-03:00|エチオピア| ||<即位>ハラル・スルタン国スルタン「Imam Ahmed Gurey Ibrahim」(~15430221死去)

1527年-02:00|キプロス/イタリア| ||<就任>ヴェネツィアのキプロス副官「シルヴェストロ・デ・アントニオ・ミニオ」(~1529年)

1527年-01:00|フランス| ||<死去>ダマルタン伯「Antoinette de Chabannes」

1527年-01:00|フランス| ||<就任>シャティロー公「ルイス・ド・サヴォワ」(~同年)

1527年-01:00|マルタ/イタリア| ||<就任>シリア領マルタ副総督「Giovanni de Nava」(~1528年)

1527年-01:00|フランス| ||<就任>ダマルタン伯「Francoise d'Anjou」(~1547年)

1527年-01:00|アルジェリア| ||<即位>ザイヤン朝スルタン「アブー・ム2世」(~1540年)

1527年-01:00|スペイン/メキシコ| ||デ・イェゴ・デ・マサリゴス率いるスペイン部隊、チパーンとツオツイルを征服

1527年 00:00|マン島/イギリス| ||<就任>マン島知事「Henry Stanley」(~1532年)

1527年 00:00|イギリス| ||ロンドンで「死亡表」の発刊開始

1527年 04:00|トミニカ共和国/スペイン| ||<就任>スペイン王立サント・ミンゴ大審問院判事「サント・ド・ミンゴ 司教セバスチャン・ラミレス・デ・フェンレアル」(~15310801)

1527年 04:30|ベネズエラ/スペイン| ||<設立>スペインが植民地化したベネズエラ州(サント・ミンゴ植民地に従属)

1527年 05:00|ペルー| ||<死去>インカ帝国皇帝「ワイナ・カック」急死

1527年 05:00|ペルー| ||<即位>インカ帝国皇帝「ニン・クチ」ワイナ・カックの息子(数日間のみ)→「ワスカ」ワイナ・カックの息子(~1532年~1533年アワルパに殺される)

1527年 06:00|グアテマラ/スペイン| ||<就任>スペイン領グアテマラ総督代行「ホルヘ・デ・アルヴァラド」(1回目~15290814)

1527年 06:00|グアテマラ/スペイン/メキシコ| ||スペイン領グアテマラはヌエバ・イスパニョールに従属(~1544年)

1527年1月2日-07:00|ベトナム| ||大越・統元5年12月|莫登庸が大越・前皇帝の光紹帝を殺す

1527年1月2日-09:00|日本|京都府亀岡市|大永6年11月30日|<神尾山城の戦い>黒井城主「赤井五郎」が3000の兵を率いて神尾山城包囲軍の背後から襲い掛かり赤井軍にも大きな損害がでたものの包囲軍を打ち破った

1527年1月3日-09:00|日本|京都府京都市|大永6年12月|<任命>室町幕府管領「畠山義堯」(~同年)

1527年1月3日-09:00|日本|栃木県宇都宮市|大永6年12月|<第二次宇都宮城の戦い>宇都宮忠綱の叔父芳賀興綱が猿山合戦の留守を狙って宇都宮城を奪取

1527年1月3日-09:00|日本|兵庫県丹波篠山市|大永6年12月1日|<第一次八上城の戦い>八上城の包囲軍は囲みを解いて退却/退却の途中阿波守護細川晴元と通じていた池田弾正は瓦林修理亮らに一斉に矢を射かけ、細川尹賢軍は散々な態で京へ逃散

1527年1月4日-09:00|日本| ||大永6年12月2日|幕府が徳政を発令

1527年1月8日-09:00|日本|栃木県宇都宮市|大永6年12月6日|猿山の戦い/結城政朝が宇都宮忠綱の領土猿山に押し寄せ猿山原の地にて合戦/芳賀氏常の謀反により宇都宮氏が敗れる/合戦後猿山城は廃城

1527年1月8日-09:00|日本|広島県庄原市|大永6年12月6日|尼子軍、恵蘇郡多賀山表に出張。山内直通・田総俊里ら、これを撃退

1527年1月9日-09:00|日本|鹿児島県始良市|大永6年12月7日|帖佐地頭辺川忠直は謀反を起こし帖佐本城・新城に拠ったが島津忠良は二城を攻略/この功により島津忠兼より、伊集院、谷山を賜る

1527年1月12日-09:00|日本|沖縄県|明・嘉靖5年12月11日|<死去>琉球王「尚真」62歳(誕生:寛正6(1465))

1527年1月12日-09:00|日本|沖縄県|明・嘉靖5年12月11日|<即位>琉球王「尚清」(~嘉靖34年6月25日(15550713)死去)

1527年1月14日-02:00|ルーマニア| ||<死去>モルダヴィア総督「ステファン4世若公」

1527年1月15日-09:00|日本|大阪府堺市|大永6年12月13日|細川晴元は三好勝長、三好政長に出陣を命じ、阿波よ

1530迄 (2001件)

り塚に上陸、中嶋の堀城を占領し越年
1527年1月17日-09:00|日本|神奈川県鎌倉市|大永6年12月15日|<鶴岡八幡宮の戦い(相模国)>安房の里見実堯が鎌倉に攻め入り、八幡宮を焼く/氏綱は鎌倉を逆包囲して撃退
1527年1月20日-02:00|ルーマニア| |||<就任>モルダヴィア総督「ペトル5世」ステファン大公の息子(1期目~15380918)
1527年1月24日-01:00|フランス| |||<就任>ペリー公「マルグリット」フランス王1世の姉(~15491221死去)ナバラ王エンリケ2世の妃
1527年2月1日-09:00|日本|茨城県結城市|大永7年|<交替>下総結城領主「結城政朝」隠居⇒子の「結城政直」が継ぐ(~享禄5(1532)年死去)
1527年2月1日-09:00|日本|大阪府|大永7年|<交替>和泉上半国守護「細川元常」⇒「細川晴貞」(~天文19(1550)年)
1527年2月1日-09:00|日本|静岡県浜松市天竜区|大永7年|藤原九郎兵衛茂家・禰宜九郎衛門茂直・大工四郎左衛門家重、瀬戸大明神(浜松市天竜区佐久間町大井瀬戸)社殿造立
1527年2月1日-09:00|日本|京都府|大永7年1月|幕府、丹波攻略と摂津への進撃を決定、若狭守護武田元光参陣し丹波を攻撃すも失敗
1527年2月3日-01:00|ハンガリー| |||<就任>ハンガリー王室総督「マリア・フォン・エステルライヒ」(~8.20)
1527年2月5日-09:00|日本|京都府|大永7年1月5日|細川道永が勝軍地蔵山(山城国)に城を築く
1527年2月28日-09:00|日本|大阪府大阪市福島区|大永7年1月28日|波多野植通軍は丹波を出国し野田城をわずか7日間で陥落させた
1527年3月2日 07:00|メキシコ/スペイン| |||<就任>ヌエバ・イスパニヤ総督「アロンソ・デ・エストラダ」(2回目)「ゴンサロ・デ・サントバル」
「ルイス・デ・ラ・トレ」(1回目)「(~8.22)
1527年3月4日-09:00|日本|長野県佐久市|大永7年2月2日|武田信虎、佐久郡に侵攻し小田切城を攻め落とす
1527年3月5日-09:00|日本|京都府京都市西京区|大永7年2月3日|<野田城の戦い>柳本賢治が西岡野田城(山城国)を落とし、西岡10ヶ所および西院(山城国)を焼く
1527年3月7日-09:00|日本|京都府乙訓郡大山崎町|大永7年2月5日|<山崎城の戦い>本賢治が山城国山崎城を攻略し、城将薬師寺国長が摂津国高槻城へ走る
1527年3月11日-09:00|日本|広島県安芸郡熊野町|大永7年2月9日|天野興貞・石井宣家ら大内軍、安南郡熊野要害を攻略
1527年3月14日-06:30|ミャンマー| |||<即位>アワ王「トンプワ」(~1542年5月)王位篡奪者
1527年3月14日-09:00|日本|京都府京都市|大永7年2月12日|將軍義晴本圀寺に陣し細川高国・武田元光・細川尹賢等を率い柳本賢治・三好勝長等と桂川に戦う
1527年3月15日-01:00|フランス| |||フランス王フランス王1世、パリ市当局に「ルヴール宮」を「王宮」にすることを伝える
1527年3月15日-09:00|日本|京都府|大永7年2月13日|<桂川原の戦い(丹波国)>三好勝長・元長らの連合軍は一挙に桂川を渡って武田元光勢に突撃、高国勢も桂川原に進撃し、元光勢を支えて戦った/高国は大敗し足利義晴を奉じて近江の坂本に逃れた
1527年3月16日-09:00|日本|滋賀県大津市|大永7年2月14日|情勢の悪化した細川高国が將軍義晴と共に近江坂本へ脱出
1527年3月17日-05:30|インド| |||インド 征服を目指すバールが、ハヌアでラージプートの指導者ラーナ・サンガと戦い、これを破る
1527年3月26日-09:00|日本|京都府京都市上京区|大永7年2月24日|相国寺鹿苑院焼失
1527年3月30日-01:00|ドイツ| |||<死去>シャウエンブルグ伯・ホルシュタイン=ピンネブルグ伯「ヨハン4世」
1527年3月30日-01:00|ドイツ| |||<就任>シャウエンブルグ伯・ホルシュタイン=ピンネブルグ伯「ヨージスト1世」(~15310605死去)
1527年4月1日-01:00|サマリヤ| |||<就任>サマリヤ共和国執政「アントニア・サバッティニ」「チャールズ・ド・クリスタフロ」
1527年4月8日-09:00|日本|広島県広島市安芸区|大永7年3月8日|大内軍、阿曾沼氏の安南郡鳥子要害を攻略
1527年4月11日-09:00|日本|静岡県浜松市西区|大永7年3月11日|地頭高橋鶴寿丸・代官高橋右兵衛助・鍛冶鴨六光家・願主禰宜次郎左衛門・大工藤原五郎左衛門宗長、式内社息神社(雄踏町宇布見)造営
1527年4月15日-09:00|日本|広島県廿日市市|大永7年3月15日|倉橋島多賀谷氏の警固衆、厳島社祭礼の夜、神領衆と争い、数十人が討たれる
1527年4月22日-09:00|日本|大阪府堺市|大永7年3月22日|細川晴元・三好元長は堺の顕本寺を拠点とし、足利義維(足利義澄の子)を將軍とする堺公方府(疑似幕府)を開く
1527年4月28日-01:00|イタリア| |||フィレンツェ共和国、同盟に加入
1527年5月4日-09:00|日本| |||大永7年4月4日|<死去>肖柏(85歳)連歌師、歌人
1527年5月4日-09:00|日本|福井県三方上中郡若狭町|大永7年4月4日|三方郡御賀尾浦が丹後の海賊の襲撃を受ける
1527年5月6日-01:00|フランス| |||<死去>ブルボン公・モンパンスエ伯「シャルル3世」
1527年5月6日-01:00|フランス| |||<就任>ブルボン公「ルイズ・ド・サヴォワ」(~15310922死去)
1527年5月6日-01:00|イタリア/ドイツ/スロベニア| |||神聖ローマ皇帝兼スペイン王カール5世に寝返った「モンパンスエ伯」シャル・ド・ブルボン、皇帝軍を率いローマを攻略/8日間にわたり略奪、放火、虐殺を行う(「ローマの劫略」)
1527年5月15日-09:00|日本|鹿児島県|大永7年4月15日|<交替>薩摩・大隅・日向国守護「島津忠兼」隠居⇒「島津貴久」(~永禄9(1566)年出家)
1527年5月15日-09:00|日本|滋賀県大津市|大永7年4月15日|近江国坂本に徳政一揆蜂起
1527年5月15日-07:00|ベトナム| ||大越・統元6年4月16日|<退位>後黎朝(大越)前期第12代皇帝「恭皇黎椿」莫登庸に迫られ(~15270712母親とともにマック・ダン・ソンによって幽閉され自害)
1527年5月16日-01:00|イタリア| |||<退任>フィレンツェのシニョレ「イッポリト・デ・メディチ」「アレサント・ロ・デ・メディチ」市民により追放/フィレンティナ共和国に

1530迄 (2001件)

1527年5月19日 00:00|イギリス| |||<死去>ノースハランド伯「ヘンリー・アルジャーノン・パーシー」
1527年5月19日 00:00|イギリス| |||<就任>ノースハランド伯「ヘンリー・パーシー」5代伯の子(〜15370629死去廃絶)
1527年5月19日-09:00|日本|大阪府羽曳野市|大永7年4月19日|柳本賢治ら畠山植永を河内国高屋城に攻め敗れる
1527年5月21日-09:00|日本|愛知県西尾市|大永7年4月21日|三河国実相寺の僧、同国久麻久社の本殿を建立
1527年6月-01:00|バチカン/スイーデン| |||スイーデン議会議長がローマ教皇庁と絶縁し、教会財産を収公
1527年6月 06:00|ニカラガ| |||コントレラスがニカラガ制圧に成功
1527年6月4日-09:00|日本|広島県安芸郡府中町|大永7年5月6日|大内軍、府中城西籠屋を抜く
1527年6月22日-02:00|トルコ| |||オスマン朝軍が、アトリアのカレンデル・チェルビの反乱を鎮圧
1527年6月22日-01:00|イタリア| |||イタリアの政治学者ニコロ・マキヤヴェリ死去/58歳(誕生:14690503)「君主論」を著した
1527年6月22日 00:00|ポルトガル/インドネシア| |||バンテン王ファレハンとドラマク国のイスラム連合軍は、ポルトガル軍を駆逐して良港スンダ・クラバを奪い、ジャカルタと命名
1527年6月25日-01:00|イタリア| |||ラヴェンナ、ヴェネツィアに戻る
1527年6月29日-01:00|セルビア| |||<即位>亡命セルビア専制公「ラディッチ・ボジッチ」(〜1528年9月)
1527年7月-03:00|イメン/トルコ| |||<就任>オスマン帝国サナ総督「Selman Reis」(〜1528年)
1527年7月1日-09:00|日本| |||大永7年6月3日|武田信虎、今川氏輝と和睦
1527年7月3日-09:00|日本|鹿児島県|大永7年6月5日|加治木地頭・伊地知(伊集院)重貞、帖佐地頭・島津昌久が島津忠良に反乱/島津実久は川上忠克を島津忠兼のもとに派遣し守護職復帰を説かせる
1527年7月5日-03:30|イラン| |||<就任>サファヴィー朝摂政「チュハ・スルタン・タール」(〜1530年)
1527年7月5日-09:00|日本|鹿児島県始良市|大永7年6月7日|島津忠良は島津昌久を討ち、肝付兼演を加治木地頭、伊地知重辰を帖佐地頭とする
1527年7月9日-09:00|日本|鹿児島県鹿児島市|大永7年6月11日|出水城主・島津実久は島津忠良方・伊集院一宇治城、谷山城(千々輪城)を攻略
1527年7月12日-07:00|ベトナム| |||大越・明德1年6月15日|<即位>莫朝(大越)初代皇帝「太祖莫登庸」(〜1529.12讓位)明德と改元(〜1529年)
1527年7月13日-09:00|日本|鹿児島県南さつま市|大永7年6月15日|薩摩・大隅・日向守護の島津貴久は鹿児島を脱出し田布施亀ヶ城へ落ちのびる
1527年7月16日-01:00|イタリア| |||チェルヴィア、ヴェネツィアに戻る
1527年7月19日-09:00|日本|鹿児島県|大永7年6月21日|前薩摩・大隅・日向守護の島津忠兼は島津実久に迎えられて鹿児島に入り、還俗して勝久と改名し守護職に復帰/薩州島津家当主島津実久は島津勝久を傀儡として操るようになった
1527年7月23日-09:00|日本|鹿児島県|大永7年6月25日|薩摩・大隅・日向守護の島津勝久は蒲生茂清の蒲生城を攻めるが敗れる
1527年7月28日-09:00|日本|鹿児島県日置市|大永7年7月|島津実久は日置城主・山田有親を降す
1527年7月28日-09:00|日本|鳥取県|大永7年下期|<死去>因幡国守護「山名豊治」⇒「山名誠通」が継ぐ(〜天文17(1548)年)
1527年8月3日-09:00|日本|鹿児島県霧島市|大永7年7月7日|薩摩・大隅・日向守護の島津勝久は樺山信久の生別府城を攻めるが敗れる
1527年8月6日 00:00|イギリス| |||<就任>スコットランド大法官「アンガス伯アーチボルド・ダグラス」(〜15280528)
1527年8月9日-09:00|日本|大阪府|大永7年7月13日|<就任>堺公方「足利義維」(⇒享禄5(1532)年10月、平島公方)
1527年8月12日-09:00|日本|栃木県宇都宮市|大永7年7月16日|<死去>下野宇都宮氏第18代当主「宇都宮忠綱」(31歳)
1527年8月19日-09:00|日本|鹿児島県始良市|大永7年7月23日|伊作城主・田布施城主の島津忠良は加治木地頭・伊地知(伊集院)重貞を討つ/島津昌久、伊地知重兼も滅ぼしてた
1527年8月20日-01:00|ハンガリー/クロアチア| |||<即位>ハンガリー・クロアチア王「フェルディナント1世」ボヘミア王・オーストリア大公・モラヴィア辺境伯(⇒15290914、対立王〜15400722)
1527年8月20日-01:00|ハンガリー/クロアチア| |||<廃位>ハンガリー・クロアチア王「ヤーノシュ1世」リイフェルディナント1世にブダを占領されポーランドに逃げる
1527年8月20日-09:00|日本|鹿児島県日置市|大永7年7月24日|島津忠良は伊作亀丸城を陥落させ拠点とする
1527年8月22日 07:00|メキシコ/スペイン| |||<就任>ヌエバ・イスパニヤ総督「フロンソ・デ・エストラーダ(3回目)」ルイス・デ・ラ・トレ(2回目)」(〜15281208)
1527年8月28日 01:00|カーボベルデ/ポルトガル| |||<就任>カーボベルデ諸島のコレクター治安判事「カスパー・ダ・ツル」(〜15340915)
1527年9月-01:00|スペイン/ペリズ/グアテマラ/メキシコ| |||ユカタン低地に入ったモンテは、チエン・イツァのカーセケと同盟を結び、トルムとチエマルを制圧
1527年9月1日 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド副卿「デリン男爵リチャード・ニュージエント」(〜15280515)
1527年9月4日-09:00|日本|広島県三次市|大永7年8月9日|<細沢山の戦い>尼子経久は自ら備後国へと兵を出兵させるも細沢山の戦いにて陶興房に敗走し尼子方であった備後国人の大半が大内氏へと寝返った
1527年9月9日-02:00|エストニア/ラトヴィア| |||<死去>リガ大司教・リヴァント公「ヨハネス7世」ランゲンフェルト
1527年9月21日-01:00|ドイツ| |||<死去>ブランデンブルク=クルムハツァ辺境伯「ガジミール」アンスタツァ辺境伯
1527年9月21日-01:00|ドイツ| |||<就任>ブランデンブルク=クルムハツァ辺境伯「アルブレヒト・アルキヒアデス」(〜1553年国外追放)
1527年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ジャコモ・デ・イ・ロ・ウ・イコ・カルチニ」「バルトロ・デ・イ・マアントニオ・アマティ」(1528年死去)⇒メルキオール・デ・イ・フランシスコ

1530迄 (2001件)

1527年10月15日 00:00|ポルトガル| |||<就任>ポルトガル公(王位継承者)「マリア・ヌニェス」(~15311111)アストゥリアス公妃
1527年10月26日-09:00|日本|岐阜県|大永7年10月2日|<死去>姉小路濟俊(22歳)飛騨国司
1527年10月27日-09:00|日本|静岡県浜松市|大永7年10月3日|<死去>臨濟宗方広寺派大徳山廣隣寺開山秋陽禅月
1527年11月14日-09:00|韓国/朝鮮| |||<就任>朝鮮国領議政「鄭光弼」(~1530620)
1527年11月17日 04:30|ベネチア/スペイン| |||<就任>スペイン領ベネチア総督「Juan Martinez de Ampues」(~15290224)
1527年11月22日 06:00|ゲアメラ| |||カチル族の反乱, イシュチを制圧・破壊
1527年11月24日-09:00|日本|鹿児島県霧島市|大永7年11月|新納氏8代忠勝、清水の本田氏とともに宗家先代勝久に反し、大隅宮内の正八幡宮を炎上させる
1527年11月24日-09:00|日本|京都府京都市左京区|大永7年11月1日|山城の貴布禰社が焼失
1527年12月-01:00|スペイン/ゲアメラ| |||スペイン政府, アルバート・デ・メナをゲアメラ総督に任命
1527年12月-01:00|スペイン/コカラア| |||スペイン政府, ペドロ・デ・アルバートをコカラアの総督に任命
1527年12月6日-09:00|日本|静岡県浜松市|大永7年11月13日|大檀那信心施主・禰宜左衛門太夫宗重、熊野神社(佐久間町浦川上市場)殿造立
1527年12月9日-09:00|日本|静岡県浜松市|大永7年11月16日|大檀那藤原九郎兵衛茂家・禰宜藤原茂直、伊勢大神宮社(浜松市天竜区佐久間町大井瀬戸)社殿再興
1527年12月12日-09:00|日本|京都府京都市右京区|大永7年11月19日|<川勝寺口の戦い>京都奪回を目指す足利義晴&細川高国勢が三好元長&柳本賢治らと激戦/敵味方に多くの死者を出したが決着がつかず両者はひとまず兵をひく
1527年12月13日 07:00|メキシコ/スペイン| |||<設立>メキシコ王立大審問院(メキシコシティ)
1527年12月18日 06:00|ゲアメラ/スペイン| |||<就任>スペイン領ゲアメラ総督「ペドロ・デ・アルバート・イ・コントレラス」(1回目~15290814)
1527年12月23日-09:00|日本|愛知県豊田市|大永7年12月|三河国六所神社、野火により社殿が全焼
1528年-08:00|インドネシア| |||<即位>アチ王国スルタン「サティン」(~1537年)
1528年-08:00|マレーシア| |||<即位>ジョホール・リアウ王国スルタン「スルタン・アラウディン・リアヤット・シャー2世」設立(~1564年没)
1528年-08:00|マレーシア| |||<即位>ペラ・スルタン「ムザファル・シャー1世」設立(~1549年没)
1528年-07:00|カンボジア| |||クメール王国が新都ウエックを造営
1528年-05:30|インド| |||<即位>カシュミール・スルタン朝スルタン「Ibrahim Shah」(~1529年)
1528年-04:00|ロシア| |||<死去>アストラハン・ハン「シェイク・アフマド」
1528年-04:00|ロシア| |||<即位>アストラハン・ハン「カシム2世」(1回目~1531年)
1528年-03:00|イェメン/トルコ| |||<就任>オスマン帝国サナ総督「Hayreddin Hamza Bey」(~同年)⇒「Mustafa Bey」(~1530年)
1528年-03:00|エチオピア| |||エチオピアの大部分は、オスマン帝国と同盟を結んでいたハラルのイスラム教徒のスルタン「アフマド・ベニ・イブラヒム」によって占領された(~1541年)
1528年-02:00|ギリシャ/イタリア| |||<就任>ヴェネツィアのカンティエ公「ヤコポ・コナー」(~1530年)
1528年-01:00|スペイン| |||<就任>アストゥリアス公(スペイン国王の推定相続人)「フェリペ」カルロス1世の長男、後のスペイン王フェリペ2世(~15560116~15980913死去)
1528年-01:00|フランス| |||<就任>ギーズ公「クロード」(~15500412死去)
1528年-01:00|クロアチア| |||<就任>クロアチアとスラヴォニアとダルマチアのパン「イワン・カルロヴィッチ・クルパフスキ」共同統治(2度目~15310809)
1528年-01:00|マルタ/イタリア| |||<就任>シチリア領マルタ副総督「Antonio d'Esguanez」(~15301026)
1528年-01:00|フランス| |||<就任>ヌメル公「フィリップ・ド・サヴォワ=ヌメル」(~15331125死去)
1528年-01:00|イタリア| |||ベネツィア, Pisani銀行解散
1528年 00:00|アイルランド| |||<死去>トモント王「トイルド・ヘルバツハ・ド・ン・オブ・リアン」
1528年 00:00|モリタニア/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領アルギン長官「フラス・ゴメス・デ・カルヴァリョサ」(~1532年)
1528年 00:00|アイルランド| |||<即位>トモント王「コンチョバル・マック・トイルド・ヘルベイク・オブ・リアン」トイルド・ヘルバツハ・ド・ン・オブ・リアンとラゲネルト・マック・コンマの息子(~1539年没)
1528年 05:00|エカトル/ペルー| |||キトのアタワパ, エカトルのワカ・ル族の反乱を鎮圧
1528年 05:00|ペルー| |||ピサロがインカ帝国の北の入り口のトゥンベスに到達
1528年 06:00|ベリーズ/メキシコ| |||モンテ・ホの軍がベリーズのマヤ一帯を征服
1528年1月-01:00|ホスニア・ヘルツェゴビナ/トルコ| |||ヤチェ(1463年からハンガリー領)がオスマン帝国に陥落
1528年1月1日-12:00|マシヤル諸島/スペイン| |||スペインのアルバート・サベトラ・セロンがマシヤル諸島を発見、スペイン領有宣言
1528年1月14日-09:00|日本|京都府京都市上京区|大永7年12月23日|北野天満宮松梅院炎上
1528年1月15日-09:00|日本|三重県伊勢市|大永7年12月24日|伊勢大湊全焼する
1528年1月22日-09:00|日本|長崎県壱岐市|大永8年|<建立>神岳山金蔵寺[新城西触]の木造地藏菩薩坐像
1528年1月22日-09:00|日本|長崎県壱岐市|大永8年|<建立>報恩寺[本宮東触]の木造十一面観世音菩薩坐像
1528年1月22日-01:00|フランス/イギリス/オーストリア/スペイン| |||フランス王フランソワ1世とイングランド王ヘンリー8世、神聖ローマ皇帝兼スペイン王カルロス5世に宣戦布告
1528年1月22日-08:00|中国| |||明・嘉靖7年1月|陽明学の祖の王守仁(王陽明)が没/56歳/知行合一を唱えた情念の儒学者
1528年2月-04:00|モリタニア/ポルトガル| |||ポルトガル人大尉デ・イコ・ド・リゲスによってド・リゲス島が再発見され、イルハ・デ・イコ・ド・リゲスと名付けた
1528年2月-01:00|イタリア| |||ベネツィア、激しい飢饉/更に、ペストとチフス。市中に死体

1530迄 (2001件)

1528年2月7日-01:00|スイス| |||ベルンが公開宗教討論会を通じて「宗教改革条令」を公布
 1528年2月14日-01:00|ドイツ| |||<死去>東フリースラ伯「Edzard1世the Great」
 1528年2月14日-01:00|ドイツ| |||<就任>東フリースラ伯「Enno2世」(~15400924死去)
 1528年2月20日-02:00|モザンベーク/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領ソアラ・キープテン「アントニオ・ダ・シルベira・デ・メネセス」(~1529年3月)
 1528年2月29日-02:00|ルーマニア/トルコ| |||トランシルバニアはオスマン帝国が宗主権(~16990126)
 1528年3月20日-01:00|ハンガリー/クロアチア| |||前ハンガリー・クロアチア王「ヤーノシュ1世セルリアイ」はフェルディナント1世に再び敗北
 1528年3月21日-09:00|日本|愛知県豊川市|大永8年3月|領主牧野民部丞保成、熊野三社権現(豊川市)を再興し遷宮
 1528年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ディオットレウ・オ・コルベッリ」「ジュリアーノ・ディ・マリノ・リギ」
 1528年4月1日 06:00|エルサルバドル/スペイン| |||<就任>スペイン領サンサルバドル上級判事(後副総督)「ディエゴ・デ・アルバラド・トルドゥ」サンサルバドルを再建(~15290422)
 1528年4月3日-09:00|日本|兵庫県|大永8年3月14日|<死去>但馬国守護「山名誠豊」⇒「山名祐豊」任命(⇒1574年但馬出石国主~天正8年5月21日(15800702)死去)
 1528年4月3日-09:00|日本|広島県|大永8年3月14日|<死去>備後国守護「山名誠豊」⇒「大内義隆」任命(~天文20年9月1日15510930)死去)
 1528年4月6日-01:00|ドイツ| |||<死去>独の画家・版画家・彫刻家デューラー/「四使徒」
 1528年4月29日-01:00|イタリア| |||バーリ、ブリテンジなどベネチア共和国に与えられる
 1528年5月-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>ダマスカス(総督)「イザベイ・ハ・シャ・センテリ」(1期目~1531年)
 1528年5月15日 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド 副卿「リークスリップ」のトマス・フィッツジェラルド」(2回目~10月)
 1528年5月18日-01:00|フランス/イタリア| |||カル5世に対抗して、ヴェネチア、フランスと同盟
 1528年5月18日-09:00|日本|宮崎県都城市|大永8年5月1日|伊東軍、小鷹原に陣を置き新納忠勝の軍勢と戦い敗北/伊東氏、北郷氏に援軍を求め北郷氏、援軍を出し、新納氏を破る
 1528年5月30日-09:00|日本|静岡県富士市|大永8年5月13日|尾州海道郡富士庄江西郷野間弥三郎・藤原敏久、富士山頂上東齋の河原に大日如来を奉納
 1528年6月9日-09:00|日本|北海道松前郡松前町|大永8年5月23日|蝦夷の兵が松前城を襲撃する/松前義広がこれを撃退
 1528年6月19日-09:00|日本|愛知県清須市|大永8年6月3日|織田信秀、清須の土田村に含笑寺建立
 1528年6月23日-09:00|日本|埼玉県蕨市|大永8年6月7日|扇谷上杉朝興、北条方の蕨城を攻め落とす
 1528年6月26日 00:00|イギリス| |||<就任>スコットランド 大法官「グラスゴー大司教ギャウ・イン・ダンバー」(1期目~15430110)
 1528年7月17日-09:00|日本|京都府京都市上京区|大永8年7月1日|相国寺大智院が炎上
 1528年7月28日-09:00|日本|長野県|大永8年7月12日|三木直頼が信濃の木曾義元を討つ
 1528年8月15日-09:00|日本|静岡県磐田市|大永8年8月|松井信薫、永源寺三世天庵一貞を開山に天竜院(豊岡村上野部神田谷)を開基
 1528年8月15日-09:00|日本|静岡県焼津市|大永8年8月|七社神社(焼津市大村新田)創立
 1528年8月17日-09:00|日本|滋賀県長浜市|大永8年8月3日|<内保河原の戦い>京極高慶・上坂信光が京極高延・浅井亮政軍を内保河原で敗走させる
 1528年8月26日 00:00|マリ/シエール| |||<即位>ソングアイ帝国皇帝「アシア・ムサ」(~15310412没)
 1528年9月-01:00|イタリア/フランス| |||フランス王軍、「ナポリ王国」からの撤退を余儀なくされる
 1528年9月 06:00|アメリカ| |||デ・ハカがテキサス海岸に漂着し、北米大陸を西に探検
 1528年9月3日-09:00|日本| |||享禄1年8月20日|「享禄」に改元
 1528年9月3日-09:00|日本|群馬県太田市|享禄1年8月20日|横瀬泰繁・横瀬成繁、その主君岩松昌純を殺し実権を握る(享禄の乱)
 1528年9月3日-09:00|日本|長野県諏訪郡富士見町|大永8年8月20日|<神戸合戦>武田信虎は諏訪頼満、諏訪頼隆父子と甲信国境の朝方の神戸で戦い、諏訪勢を撃破
 1528年9月13日-09:00|日本|長野県諏訪郡富士見町|享禄1年8月30日|<境川合戦>境川での戦いで武田信虎は敗れ、萩原昌重(萩原備中守)らが討死し、200騎が討とられた。諏訪勢では千野孫四郎(茅野孫四郎)らが討死
 1528年9月14日-09:00|日本|宮城県石巻市|享禄1年9月|伊達植宗、葛西晴重の病死に乗じて、蘆名盛舜の援軍を得て、陸奥葛西領に侵攻し、石巻城を攻略
 1528年9月18日-09:00|日本|奈良県|享禄1年9月9日|柳子賢治、高国方の大和に出兵し越智・筒井氏を破る
 1528年9月19日-09:00|日本|静岡県静岡市葵区|享禄1年9月6日|瀬名陸奥守氏貞、子瀬名虎王丸氏俊の為、利倉神社(静岡市葵区瀬名)社殿造立
 1528年9月20日-09:00|日本|奈良県奈良市|享禄1年9月7日|薬師寺兵火により金堂・講堂・西塔焼失
 1528年9月22日-09:00|日本|神奈川県川崎市|享禄1年9月9日|山内上杉憲寛、入間川(狹山市)に出陣し、小沢城(川崎市)を落とす
 1528年10月 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド 副卿「オーモント 伯ヒューズ・ハートゥー」(2回目~15300622)
 1528年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ジローモ・ディ・ジュリアーノ・ゴジ」「ジローモ・ディ・エヴァンジェリスタ・ベルツツィ」
 1528年10月11日 04:00|プエルトリコ| |||フランス人海賊がプエルトリコ各地を襲撃。サンヘルマン植民地は灰燼に帰す。初期の植民地Guanica、Sotomayor、Daguao、Loizaなどは消滅
 1528年10月12日-01:00|イタリア| |||<就任>ジェノヴァ共和国ドージェ「オバルト・カッタ・ラッザーリ」(~15300104)
 1528年10月18日-01:00|イタリア/フランス| |||<死去>サルツァ侯「ミケレ・アントニオ」

1530迄 (2001件)

1528年10月18日-01:00|イタリア/フランス| |||<就任>サルツァ侯「ジヨウ・アンニ・ルト・ウ・イコ」(~1529年廃位)
1528年10月18日-09:00|日本|奈良県|享禄1年閏9月5日|柳本賢治が大和へ侵入
1528年10月22日-01:00|スイス| |||スイスで9月に蜂起したオパーラントの民衆がインターラケン修道院を占拠し、カトリックに留つてベルンには従わないことを決定
1528年10月26日 03:00|ブラジル/ポルトガル| |||<就任>ブラジル総督「アントニオ・ブルック」(~1532年)
1528年12月2日-09:00|日本|広島県東広島市|享禄1年10月21日|大内義興、天野興定に米山城を還付
1528年12月9日 07:00|メキシコ/スペイン| |||<就任>ヌエバ・イスパニヤ総督「(アウグスティン)大統領」ヌニョ・ベルトラン・デ・グスマン」(~15291221)
1528年12月12日-09:00|日本|神奈川県鎌倉市|享禄1年11月|扇谷上杉朝興と山内上杉憲寛の軍が相模へ侵攻、玉縄城を攻撃するが堅守
1528年12月13日-01:00|ポランド| |||<死去>チェシ公「カジミェシュ2世」
1528年12月13日-01:00|ポランド| |||<就任>チェシ公「ウツワ3世アダム」(~15791104死去)
1528年12月22日-09:00|日本|大阪府羽曳野市|享禄1年11月11日|柳本賢治が畠山植長を河内国高屋城に攻撃するが、この日植長が和睦して金胎城に退く
1529年-08:00|インドネシア| |||<即位>テルナテ・スルタン「Abu Hayat」(~1533年)、「Dayal」(~1533年~1536年死去)
1529年-07:00|タイ| |||<死去>アユタヤ王朝第11代国王「ラマティボーン・デーイ2世」
1529年-07:00|タイ| |||<即位>アユタヤ王朝第12代国王「ホー・ロマラーチャー・ティラート4世」ホー・ロマラーチャー・マハー・プッターンクーン」(~1533年死去)
1529年-05:30|インド| |||<建国>デシカル国
1529年-05:30|インド| |||<即位>ウイジャナガル王国(トウルヴァ朝)国王「アチュタ・デーヴァ・ラーヤ」(~1542年)
1529年-05:30|インド| |||<即位>カシュミール・スルタン朝スルタン「Nazuk Shah」(~1530年)
1529年-05:00|トルクメニスタン/ウズベキスタン| |||<即位>ヒヴァ・ハン国第5代ハン「スフィヤーン・エメクの子」(~1535年)
1529年-05:00|モルデイヴ| |||<即位>ヒルリー朝スルタン「Hassan8世 Ran Mani Loka」(~1549年)
1529年-04:00|オマーン| |||<即位>ナバニ王朝イマム「ハ・ラカト・ビン・ムハンマド」(~1560年)
1529年-03:30|イラン| |||サファビ朝がメソポタミアを占領し、支配
1529年-03:00|イラク/トルコ| |||<就任>ハスラ・ワリス「ラシット・マカミス」(~1539年)
1529年-02:00|ルーマニア/ハンガリー| |||<就任>トランシルヴァニア総督「イシュトヴァン・バトリ」(~1534年没)
1529年-01:00|イタリア/フランス| |||<解任>サルツァ侯「ジヨウ・アンニ・ルト・ウ・イコ」
1529年-01:00|イタリア/フランス| |||<就任>サルツァ侯「フランチェスコ」(~15370328死去)
1529年-01:00|スペイン/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領セウタ提督「Nunho Alvares Pereira de Noronha」(~1539年)
1529年-01:00|フランス| |||<就任>モルテン伯「ルイ2世」(~1582年)
1529年-01:00|ドイツ| |||ドイツでマルブルク大学が創設
1529年-01:00|ドイツ/ベネチア| |||ドイツ人のダルフインガー・ガベネズ・エーに上陸し内陸部を探検
1529年 00:00|アイスランド/デンマーク| |||<就任>アイスランド支配者「ティートリ・ファン・ブラムシュット」(~1534年)
1529年 00:00|カリヤ諸島/スペイン| |||<就任>スペイン王国植民地ケラン・カリヤ島知事「Bernardo del Herrero」(~1531年)
1529年 00:00|カナ/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル・ゴールド・コースト長官「エスティヴァン・ダ・ガマ」(~1532年)
1529年 00:00|ポルトガル/スペイン| |||スペインのカルロス1世とポルトガルとの間でサラコサ協定が成立
1529年 07:00|メキシコ| |||ヌニョ・デ・グスマンがメキシコ西部の征服に着手
1529年1月2日-02:00|ルーマニア| |||<死去>ワキア総督・領主「ラドゥ5世」
1529年1月3日-02:00|ルーマニア| |||<就任>ワキア総督・領主「バサラフ6世」メフメド・ベイの息子(~2.5)
1529年1月3日-09:00|日本|愛知県津島市|享禄1年11月23日|尾張国津島社の遷宮が行われる
1529年1月9日-08:00|中国| ||明・嘉靖7年11月29日|<死去>王陽明/57歳(誕生14720930)/儒学者
1529年1月29日-09:00|日本|島根県|享禄1年12月20日|<死去>石見国守護「大内義興」52歳⇒嫡子「大内義隆」が継ぐ(~天文20年9月1日(15510930)死去)
1529年1月29日-09:00|日本|福岡県|享禄1年12月20日|<死去>筑前・豊前国守護「大内義興」52歳⇒嫡子「大内義隆」が継ぐ(~天文20年9月1日(15510930)死去)
1529年1月29日-09:00|日本|山口県|享禄1年12月20日|<死去>周防・長門国守護「大内義興」52歳⇒嫡子「大内義隆」が継ぐ(~天文20年9月1日(15510930)死去)
1529年2月-01:00|ドイツ| |||シュパイヤで開かれた帝国議会でルー派を禁圧
1529年2月5日-02:00|ルーマニア| |||<就任>ワキア総督・領主代行「ネコエ」(~3月)
1529年2月8日-09:00|日本|京都府乙訓郡大山崎町|享禄1年12月30日|柳本賢治が入京を企てて三好元長の被官と山城国山崎で戦う/賢治は敗れて翌日河内国牧方に走る
1529年2月9日-09:00|日本|愛知県豊川市|享禄2年|牧野田三信成、一色城主の牧野民部丞成勝に命じて、牛久保城(豊川市下長山町)を築いて子の牧野出羽守保成を城主とする
1529年2月9日-09:00|日本|愛知県西尾市|享禄2年|松平清康、幡豆郡小島城鷹部屋梨之助攻落
1529年2月9日-09:00|日本|静岡県袋井市|享禄2年|常林寺4世実田、松下村に曹洞宗正福寺を開山
1529年2月9日-09:00|日本|宮城県大崎市|享禄2年|<死去>奥州探題「大崎義兼」⇒「大崎高兼」が継ぐ(~翌年死去)
1529年2月9日-07:00|ベトナム| ||大越・明德3年|<譲位>莫朝(大越)初代皇帝「太祖莫登庸」
1529年2月9日-07:00|ベトナム| ||大越・明德3年|<即位>莫朝(大越)第2代皇帝「太宗莫登瀛」(~15400125死去)
1529年2月24日 04:30|ベネチア/スペイン| |||<就任>スペイン領ベネチア総督「Ambrosio de Alfinger」(1期目~8月)
1529年3月-02:00|モザンビーク/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領ソファラ・キアテン代行「ジヨアンタ・コスタ」(~15301020)

1530迄 (2001件)

1529年3月-02:00|ルマニア| |||<就任>ワキア総督・領主「モイズ」ウラディスラフ3世の息子(~15300604没)

1529年3月1日-09:00|日本|兵庫県伊丹市|享禄2年1月21日|柳本賢治、伊丹城を攻め落とす。伊丹元扶戦死

1529年3月2日-09:00|日本|鹿児島県始良市|享禄2年1月22日|祁答院重武(12代)が帖佐本城を攻略

1529年3月3日-09:00|日本|鹿児島県始良市|享禄2年1月23日|祁答院重武(12代)が山田城を攻略

1529年3月6日-09:00|日本|奈良県|享禄2年1月26日|柳本賢治が再度大和へ侵入、赤沢大和守幸純と争い幸純は自害

1529年3月26日 00:00|イギリス| |||<死去>初代アラン伯「ジェームズ・ハミルトン」

1529年3月26日 00:00|イギリス| |||<就任>2代アラン伯「ジェームズ・ハミルトン」先代の息子(~15750122死去)

1529年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「カミッロ・デ・メネッティ・ボネリ」「バルトロ・ベッツイ」

1529年4月9日-09:00|日本|静岡県湖西市|享禄2年3月|宇津山城主(湖西市入出)朝比奈紀伊守氏泰、宿蔭寺(浜松市)二世受信を開山に、宇津山正太寺(湖西市入出)開基

1529年4月9日-09:00|日本|北海道|享禄2年3月|西部のアイヌ首長多那嶮、瀬田内に出陣、蠣崎義広派遣の工藤九郎左衛門祐兼を破り西部の本拠地上の国を攻撃

1529年4月22日 00:00|ポルトガル/スペイン/インドネシア/フィリピン| |||サラゴサ条約が結ばれ、ポルトガル領モルッカ諸島とスペイン領フィリピンとの境界が画定/ブル島の東1425km、東経144度30分を通る子午線を第二の境界とし、この子午線はニューギニア島中央部を通る/アジアにおける地位を保全してもらうかわりにポルトガルはスペインに賠償金を支払い、これによってポルトガルのマカオにおける権益が承認された/スペインはオーストラリア全域における優先権を獲得した

1529年4月22日 06:00|エルサルバドル/スペイン| |||<就任>スペイン領サンサルバドル上級判事(後副総督)「ガスパール・アリアス・タビラ」(~7月)

1529年5月4日-09:00|日本|北海道|享禄2年3月26日|反乱を起こしたアイヌの首長ナサシらが蠣崎義広の命令で謀殺される

1529年5月6日-04:30|アフガニスタン/インド| |||ムガル皇帝バールが、ヒールとベンガルのアフガン族をゴークラで破り、併合

1529年5月8日-09:00|日本|福岡県|享禄2年4月|大内義隆は筑前守護代杉興連に命じて筑前に侵入している少貳資元軍の討伐

1529年5月10日-02:00|トルコ| |||スレイマン1世がイスタンブールを発して第4回目の親征のため西へ向かう

1529年5月29日-01:00|アルジェリア/トルコ| |||ベニオン砦がオスマン帝国によって解体された

1529年6月-01:00|スイス| |||第1次カッペルの戦いが行われる

1529年6月 04:00|プエルトリコ/スペイン| |||<就任>プエルトリコ知事兼提督「Antonio de la Gama」(2期目~1530年)

1529年6月3日-09:00|日本|奈良県|享禄2年4月27日|賢治が三度大和へ侵入、五個庄・高樋・椿尾の諸城と内山寺を攻め奈良に布陣、筒井順興と礼銭三千貫等を条件に和睦し数日後京に退く

1529年6月7日-09:00|日本|広島県安芸高田市|享禄2年5月2日|毛利元就が、大内義隆にそむいて尼子経久に通じた松尾城の高橋弘厚を討ち滅ぼす

1529年6月18日 00:00|イギリス| |||<死去>デズモンド伯「ジェームズ・フィッツ・ジェラルド」

1529年6月18日 00:00|イギリス| |||<就任>デズモンド伯「トマス・フィッツ・ジェラルド」(~1534年死去)

1529年6月21日-01:00|イタリア/フランス| |||「サン・ポール伯」フランス率いるフランス王軍、イタリア北部の「ラント・リアーノの戦い」で敗退

1529年6月29日-01:00|ドイツ/バチカン/スペイン| |||神聖ローマ皇帝カール5世が、教皇クレメンス7世とバルレナ条約を結んで和解

1529年7月 06:00|エルサルバドル/スペイン| |||<就任>スペイン領サンサルバドル上級判事(後副総督)「ディエゴ・デ・ロハス」(1530年エステにとらえられる~1530年7月)

1529年7月3日-09:00|日本|愛知県豊橋市|享禄2年5月28日|<吉田表の戦い>松平清康が東三河へ侵攻、牧野氏の吉田城を攻撃、占領

1529年7月26日 05:00|ペルー/スペイン| |||<就任>ニューカスティリア知事「フランシスコ・ピザロ」(~15410626)

1529年8月 04:30|ベネズエラ/スペイン| |||<就任>スペイン領ベネズエラ総督代理「Luis Sarmiento」(~15300418)

1529年8月3日-01:00|フランス/ドイツ| |||フランス王フランソワ1世、神聖ローマ皇帝と「カンブレの和約」(「貴婦人の和約」ともいう)を結ぶ/イタリアの放棄(「ジェノヴァ共和国」、「ミラノ公国」、「ナポリ王国」)に対する相続請求の放棄)を約束/フランドル、フランス北部のアルトリ、トゥルネー(現ベルギー)の宗主権の放棄を約束

1529年8月5日 05:00|パナマ/スペイン| |||<就任>パナマ(カスティリヤ・デ・ロから改称)総督「アントニオ・デ・ラ・ガマ」(~15331220)

1529年8月14日 06:00|グアテマラ/スペイン| |||<就任>スペイン領グアテマラ総督代行「フランシスコ・オルトナ」(~1530年)

1529年8月20日-09:00|日本|愛知県瀬戸市|享禄2年7月17日|<品野城の戦い>松平清康が尾張国に入り、品野城(桜木上野介)を攻略

1529年8月20日-09:00|日本|愛知県日進市|享禄2年7月17日|<岩崎城の戦い>松平清康が尾張国岩崎城(荒川頼宗)を攻略

1529年8月25日-09:00|日本|京都府|享禄2年7月22日|山城国光勝院が炎上

1529年9月3日-09:00|日本|静岡県袋井市|享禄2年8月|龍巢院4世実田以耕、東空山光照院(岡崎)を開山

1529年9月8日-01:00|ハンガリー/トルコ| |||オスマン朝のスレイマン1世が、ブダを再び征服

1529年9月14日-01:00|ハンガリー/クロアチア| |||<復位>ハンガリー王「ヤーノシュ1世サボリア」オスマン帝国の介入によって回復し、オスマン帝国に服従(2回目~15400722死去)

1529年9月18日-09:00|日本|佐賀県神埼郡吉野ヶ里町|享禄2年8月16日|未明、佐嘉の龍造寺両軍は神埼の城原川沿いの田手畷で接触し、激しい戦闘/大内軍は総崩れ

1529年9月21日-12:00|マール諸島/スペイン| |||スペインのアルバロ・デ・サベド・ラ・セロンがウツェラン環礁を発見

1529年9月23日-01:00|オーストリア/トルコ| |||ハンガリー領有をめぐるハプスブルク家と対立していたオスマン帝国のスレイマン1世が、大軍を率いてウィーンを包囲し、攻撃を開始(10月17日撤退)

1529年9月26日-02:00|キプロス/イタリア| |||<就任>ヴェネツィアのキプロス副官「フランチェスコ・デ・ウァイトリオ・ブラガデイン」(~1531年

1530迄 (2001件)

)

1529年9月27日-01:00|オーストリア/トルコ| |||オスマン帝国による最初のウィーン包囲戦(~10.15)

1529年10月 00:00|ポルトガル/インド| |||ポルトガル領インド 総督にヌーニョ・ダ・クーニャが就任

1529年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ロベール・ヴィコ・デ・イ・ピエトロ・カルチーニ」「アントニオ・デ・イ・ピエトロ・トシーニ」

1529年10月9日 00:00|イギリス| |||<死去>第3代アーガイル伯「コリン・キャンベル」

1529年10月9日 00:00|イギリス| |||<就任>第4代アーガイル伯「アーチバルド・キャンベル」(~15581202死去)

1529年10月10日-12:00|マール諸島/スペイン| |||アルバロ・デ・サベド・ラ・セロンがエニエタ環礁に到着

1529年10月15日-01:00|オーストリア/トルコ| |||ヨーロッパ連合軍がウィーンでトルコの侵入を阻止

1529年10月18日-02:00|リトアニア| |||<即位>リトアニア大公「ジギマンタス2世アウグスタス」(15480401まで共同統治~15720707没)

)

1529年10月24日-09:00|日本|群馬県安中市|享禄2年9月22日|<関東享禄の内乱>関東管領が碓氷郡安中氏討伐開始。長野方業が随行も程田に後退

1529年10月26日 00:00|イギリス| |||<就任>イングランド連邦大法官「トマス・モア卿」(~15320516)

1529年11月1日-09:00|日本|茨城県常陸大宮市|享禄2年10月|佐竹義元が小貫俊通の部垂城を奪い、俊通戦死

1529年11月18日-05:30|インド/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領インド 総督「ヌーノ・ダ・クーニャ」(~15380914)

1529年11月19日-09:00|日本|愛知県豊川市|享禄2年10月19日|牛頭山大聖寺創立

1529年12月1日-09:00|日本|鹿児島県霧島市|享禄2年11月|本田親尚と北郷忠相が大隈春山原に戦い親尚が敗れる

1529年12月4日-09:00|日本|愛知県新城市|享禄2年11月4日|松平清康が熊谷氏の宇利城を攻撃、占領

1529年12月8日 00:00|イギリス| |||<就任>初代サセックス伯「ロバート・ラドクリフ」(~15421127死去)

1529年12月8日 00:00|イギリス| |||<就任>ハティントン伯「George Hastings」(~15440324死去)

1529年12月21日 07:00|メキシコ/スペイン| |||<就任>ヌエバ・イスパニヤ総督「(アウグスティン大統領)フアン・オルティス・デ・マティエンソ」(~15310109)

1529年12月21日-09:00|日本|兵庫県伊丹市|享禄2年11月21日|<伊丹城の戦い>柳本賢治・高島可竹軒が伊丹城を攻め伊丹元扶が戦死/子康直、間野七郎時秋に守られ逃げる

1529年12月22日-09:00|日本|島根県邑智郡邑南町|享禄2年11月22日|毛利元就が、大内義隆にそむいて尼子経久に通じた高橋弘厚の息興光を石見国阿須那藤根城に討つ

1530年-08:00|マレーシア| |||<死去>バハ・スルタン「マフムド・シャー」

1530年-08:00|インドネシア/ポルトガル| |||<就任>モルッカ諸島ポルトガル司令官「Goncalo Pereira」(~1531年死去)

1530年-08:00|マレーシア| |||<即位>バハ・スルタン「ムザファル・シャー」(~1540年没)

1530年-08:00|ブルネイ| |||<退位>ブルネイ・スルタン「アブドゥル・カハル」

1530年-05:45|ネパール| |||<即位>マラ(Kantipur)国王「Amara Malla」(~1538年)

1530年-05:30|インド| |||<即位>カシュミール・スルタン朝スルタン「Muhammad Shah」(~1537年)

1530年-05:30|インド| |||<即位>ベラル王国(イマート・シャーヒー朝)スルタン「ダリヤー・イマート・シャー」(~1561年)

1530年-04:00|ロシア| |||<死去>シベリヤ支配者「カシム」

1530年-04:00|ロシア| |||<就任>シベリヤ支配者「ヤチ・イガル」(~1563年死去)

1530年-03:30|イラン| |||<就任>サファヴィー朝摂政「フサイン・カーン・シャムル」(~1533年)

1530年-03:00|イェメン/トルコ| |||<就任>オスマン帝国サ総督「Iskender bin Suli al-Mawz」(~1536年)

1530年-03:00|イラク/イラン| |||<就任>ペルシャのメホタミア総督「ムハンマド・カーン・イブン・シャラフ・アッディン」(~1533年)

1530年-03:00|マダガスカル| |||<即位>メラ王国君主「女王Rafohy」(~1540)

1530年-02:00|ギリシャ/イタリア| |||<就任>ヴェネツィアのカンテリア公「ニコ・ナニ」(~1532年)

1530年-02:00|ルーマニア/ハンガリー| |||<就任>トランシルヴァニア総督代行「バーリント・テレク」(~1531年)

1530年-01:00|フランス| |||<死去>リニエ伯「シャルル1世」

1530年-01:00|フランス| |||<就任>シャティロー公「ルイズ・ド・サヴォワ」(~15310922死去)

1530年-01:00|モンテネグロ| |||<就任>モンテネグロ司教公「パウレ」(~1532年)

1530年-01:00|フランス| |||<就任>リニエ伯「アンソニー2世」シャルル1世の息子(~15570208死去)

1530年-01:00|フランス/ブラジル| |||フランスの海賊、ペルナンゴを奪取

1530年 04:00|プエルトリコ/スペイン| |||<就任>プエルトリコ知事兼提督「Francisco Manuel de Lando」(~1536.7死去)

1530年 04:30|ベネチア| |||オルタースがオリゴ川流域を探検

1530年 05:00|エクアドル| |||キキスの指揮するアタワパ軍、リバンパ北方のアンパトにウアスカール軍を迎えうち、これを撃破

1530年 05:00|ペルー| |||クスコのワスカール皇帝に対しキの異母兄アタワパが反乱。インカ帝国を二分する内戦となる

1530年 06:00|ホンジュラス/スペイン| |||<就任>コマケア県総督「アントレス・デ・セゼダ」(1回目~1532年)

1530年 06:00|エルサルバドル/ニカラグア| |||<就任>サンサルバドル上級判事(後副総督)「マルティン・デ・エステ」(ニカラグアのペドロ・アリウス・ダビラによって任命された反体制派)

1530年 06:00|グアテマラ/スペイン| |||<就任>スペイン領グアテマラ総督「ペドロ・デ・アルバラド・イ・コントレラス」(2回目~1533年)

1530年 07:00|メキシコ| |||メキシコ・サタカスで銀が発見される

1530年1月5日-01:00|イタリア| |||ベネツィア、ローニャの平和条約批准

1530年1月8日-12:00|マール諸島/スペイン| |||スペインの探検家ミゲル・ロペス・デ・レガスピがおそらくマゼット島であるロス・ハルブトスという島を発見

1530年1月10日-12:00|マール諸島/スペイン| |||スペイン人はおそらくアイルク島である「ブラセリス」と名付けた島を発見/次いでおそらくジエモ島である「パルリス」と名付けた島を発見

1530迄 (2001件)

1530年1月24日-07:00|ベトナム| ||大越・明德3年12月25日|<即位>大越莫朝・2代「太宗」(~15400222死去) 大正と改元(~1540年)

1530年1月29日-09:00|日本|岐阜県|享禄3年|<交替>美濃国守護「土岐頼武」追放⇒「土岐頼芸」(天文11(1542)年追放)

1530年1月29日-09:00|日本|宮城県|享禄3年|<死去>奥州探題「大崎高兼」⇒弟の「大崎義直」が継ぐ(~天文5(1536)年退任、陸奥大崎地方統治は継続~永禄10(1567)年隠居)

1530年1月29日-07:00|ベトナム| ||大越莫朝・大正1年|<即位>パントゥアンガ王「Po Karutdrak(Ba Khu)」(~1536年)

1530年1月31日-09:00|日本|埼玉県比企郡ときがわ町|享禄3年1月3日|上杉朝興、遠山直景を吾名蜷坂に攻め、破る

1530年2月3日-09:00|日本|神奈川県川崎市多摩区|享禄3年1月6日|上杉朝興、武蔵小沢城を攻略

1530年2月3日-09:00|日本|東京都世田谷区|享禄3年1月6日|上杉朝興、世田谷城を攻略

1530年2月5日-09:00|日本|東京都千代田区|享禄3年1月8日|上杉朝興江戸城攻撃、根古屋を焼き、即河越に帰陣

1530年2月14日-01:00|ハンガリー| ||<就任>ハンガリー王室総督「ヤン・シュ・バンフィ・アルソンド・ヴァイ」(~15340130没)

1530年2月14日 07:00|メキシコ/スペイン| ||<死去>タスカ王「タンガ・シュアン2世」スペインに打倒される

1530年2月14日-09:00|日本|京都府京都市右京区|享禄3年1月17日|霊山寺焼亡

1530年2月23日-01:00|ドイツ| ||カル5世が教皇クレメン7世に会い、ロバート・イアの鉄の王冠を受ける

1530年2月24日-01:00|ドイツ/イタリア/オーストリア/チェコ| ||<即位>神聖ローマ(ハプスブルグ朝)第20代皇帝「カル5世」兼イタリア王「カル5世」ドイツ王・ネーデルラント王・シチリア王・カステル・アラゴン王(~15561025退位~15580921死去)

1530年2月28日-09:00|日本|茨城県つくば市|享禄3年2月|常陸国筑波郡田倉郷の焼薬師原に尾花山金西院祥庵寺を建立

1530年3月-01:00|フランス| ||フランス王フランソワ1世、ギヨーム・ド・ピュデの進言もあり、「王立教授団学寮」(現在のフランス最高学府「コレージュ・ド・フランス」の前身)を開設/古典語(ラテン語、ギリシャ語、ヘブライ語)の研究を推進する

1530年3月25日-01:00|イタリア| ||<昇格>マントヴァ侯「フェデリコ2世・ゴンザーガ」⇒マントヴァ公(⇒15330430兼モンフェラート侯~15400628死去)

1530年3月29日-09:00|日本|鹿児島県伊佐市|享禄3年3月|相良氏、大口城の島津忠明を攻めるが敗北

1530年3月29日-09:00|日本|山梨県都留市|享禄3年3月|小山田信有の居館であった中津森館が焼失

1530年4月1日-01:00|サンマリノ| ||<就任>サンマリノ共和国執政「メルキオレ・デ・フランチェスコ・ベッルツィ」(ジヤコモ・デ・ロ・ウ・イコ・ビ・ンティ)

1530年4月18日 04:30|ベネチア/スペイン| ||<就任>スペイン領ベネチア総督代理「Juan Aleman」(~5.3)

1530年5月3日 04:30|ベネチア/スペイン| ||<就任>スペイン領ベネチア総督「Ambrosio de Alfinger」(2期目~8.1)

1530年5月20日-09:00|日本|山梨県上野原市|享禄3年4月23日|<八坪坂の合戦>甲斐郡内の小山田信有らは甲斐・模国境に近い甲斐国都留郡の八坪坂(矢坪坂)で迎撃に出陣してきた北条氏綱率いる軍勢と戦い敗戦を喫した。信有被官の吉田衆に多くの死者が出た

1530年5月27日-09:00|日本|静岡県浜松市|享禄3年5月|在中庵和尚、臨済宗実相寺末寺玉泉山長福寺(浜松市篠原町)開山

1530年6月-01:00|フランス| ||神聖ローマ皇帝兼スペイン王カル5世の姉エリザベト・トリッシュ(エリザベト・フォン・ハプスブルク、レオノール・ド・・オーストリア)、王太子フランソワらの帰国に同道し、フランス王妃となる

1530年6月4日-02:00|ルーマニア| ||<死去>ワラキア総督・領主「モイーズ」

1530年6月4日-02:00|ルーマニア| ||<就任>ワラキア総督・領主「ウラド7世」溺死候(~1532年10月没)

1530年6月6日-01:00|イタリア| ||<死去>モンフェラート侯「ボニファチオ4世」

1530年6月6日-01:00|イタリア| ||<即位>モンフェラート侯「ジョヴァンニ・ジヨルジョ・ボニファチオ3世」の次男(~15330430死去)

1530年6月22日 00:00|アイルランド/イギリス| ||<就任>アイルランド 副卿「リッチモンド・サマセット公ヘンリー・フィッツロイ」統監(~15341024)、副卿代行「ウィリアム・スカフティン卿」(~15320818)

1530年6月29日-09:00|日本| ||享禄3年6月5日|<死去>連歌師最勝院東素純(70余歳)

1530年7月 06:00|エルサルバドル/スペイン| ||<就任>スペイン領サンサルバドル上級判事(後副総督)「ルイス・デ・モスコソ・アルバート」(~1532年)

1530年7月6日-09:00|日本|神奈川県川崎市多摩区|享禄3年6月12日|<小沢城(依藤城)の戦い>扇谷上杉軍・武田軍が武蔵府中へ侵攻。これに氏康(16歳)が出陣、小沢原で扇谷上杉軍に勝利

1530年7月23日-09:00|日本|兵庫県加東郡東条町|享禄3年6月29日|播磨出陣中の柳本賢治が、細川高国の刺客中村助三郎に同地東条谷玉蓮寺の陣中にて討たれる

1530年7月25日-01:00|リビア/マルタ| ||<就任>マルタ騎士団のトリポリタニア総督「フラ・ガスパール・デ・サンゲサ」(~1531年)

1530年7月25日-01:00|リビア/マルタ| ||マルタ島とゴゾ島、トリポリ(現在はリビア)がカステルランコで署名された証書に従って、両シチリア国王からマルタ騎士団に永久領地として割譲された(~15510814)

1530年7月25日-09:00|日本|愛知県|享禄3年秋|松平清康(20)が尾張岩崎(荒川頼宗)・品野(櫻木上野介)・野呂(坂井季忠)の郷を奪い、品野を松平内膳に与える

1530年8月1日 04:30|ベネチア/スペイン| ||<就任>スペイン領ベネチア総督代理「Nicolas Federman」(~9.12)

1530年8月1日-09:00|日本|京都府京都市|享禄3年7月8日|<死去>九条尚経(63歳) 元関白、左大臣

1530年8月2日-09:00|日本| ||享禄3年7月9日|<死去>狩野正信(97歳) 御用絵師

1530年8月7日-08:00|インドネシア| ||<死去>アチェ王国 سلطان「アリ・ムハヤット・シャー」

1530年8月7日-08:00|インドネシア| ||<即位>アチェ王国 سلطان「サティン」(~1537年)

1530年8月12日-01:00|イタリア/ドイツ| ||<就任>フィレンツェのシニョレ「アレザンドロ・デ・メディチ」ドイツの支援でフィレンツェに復帰(⇒15320427フィレンツェ公~15370105暗殺される)

1530迄 (2001件)

- 1530年8月12日-01:00|ドイツ/イタリア| |||神聖ローマ皇帝軍が、フィレンツェを占領
- 1530年8月17日-09:00|日本|広島県山県郡|享禄3年7月24日|毛利元就が山県で尼子方の軍と戦う
- 1530年8月20日-09:00|日本|鹿児島県伊佐市|享禄3年7月27日|16代・相良長唯と14代・菱刈重州の連合軍が再度大口城を攻め、島津忠明を敗死させる
- 1530年8月20日-09:00|日本|兵庫県|享禄3年7月27日|細川高国と浦上村宗、別所就治の播磨・小寺城・三木城を攻略
- 1530年9月1日 04:30|ベネチア| |||ベネチア沖で地震(マグニチュード7.7)死者2000人
- 1530年9月6日-09:00|日本|群馬県沼田市|享禄3年8月15日|沼田顕泰、蔵内城築城に際し、後閑八幡宮を勧請し戸鹿野八幡宮を造営
- 1530年9月6日-09:00|日本|佐賀県神埼郡吉野ヶ里町|享禄3年8月15日|<田手暇の戦い(肥前国)>大内家の筑前国杉興運が少貳領へ侵攻するが、田手暇の戦いで少貳資元が勝利
- 1530年9月11日-09:00|日本|愛知県新城市|享禄3年8月20日|<宇利城の戦い>松平清康8千、野田菅沼定則先陣に、宇利城熊谷備中守直利攻める。長瀬庄右衛門の内応により落城。宇利城370人松平70人死傷/近藤勘助満用が熊谷備中守を討捕り宇利城主となる
- 1530年9月18日-09:00|日本|大阪府|享禄3年8月27日|細川高国、浦上村宗らが摂津国に入り、諸城を攻略
- 1530年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ジヤコモ・デ・イ・ロ・ヴ・イコ・カルチニ」「ヒ・エール・レオーネ・デ・イ・ファブ・リツ・イオ・コルベ・ツリ」
- 1530年10月10日 00:00|イギリス| |||<死去>トーマット候「Thomas Grey」
- 1530年10月10日 00:00|イギリス| |||<就任>トーマット候「Henry Grey」(⇒15511001兼サフォーク公~15540223死去)
- 1530年10月12日-09:00|日本|兵庫県尼崎市|享禄3年9月21日|<富松城の戦い>細川晴元の富松城が落城し、増援に出向いていた薬師寺国盛は大物城(尼崎城)に逃げ去った
- 1530年10月20日-02:00|モザンビーク/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領ソファラ・キャプテン「ヴァンセント・ペガド」(~1538年)
- 1530年10月26日-01:00|マルタ| |||<就任>マルタ騎士団総長「アイルダム領主フィリップ・ド・ヴァリエ」本部をマルタに移転(~15340821死去)
- 1530年11月8日-09:00|日本|兵庫県尼崎市|享禄3年10月19日|富松南(摂津国)にて細川道永と高島長直が戦い、道永が勝利
- 1530年11月9日-09:00|日本|愛知県新城市|享禄3年10月20日|<宇利城の戦い>松平清康8千、野田菅沼定則先陣に、宇利城熊谷備中守直利攻める。長瀬庄右衛門の内応により落城。宇利城370人松平70人死傷。近藤勘助満用が熊谷備中守を討捕り宇利城主となる/松平右京亮親次28歳・天野忠俊・大浜源内・宮村平7・宮村平8・鈴木主殿助・安藤助作・近藤治右衛門ら10余人討死/熊谷備中守実長討死
- 1530年11月24日-06:30|ミャンマー| |||<死去>タングー王「ミンチーニョ」
- 1530年11月24日-06:30|ミャンマー| |||<即位>ビルマ国王「タングーインシュベティ」(~15500430没)兼タングー王(~1540年)
- 1530年11月25日-09:00|日本|新潟県|享禄3年11月6日|越後刈羽郡上条城主の上条定憲と長尾為景が対立/享禄天文の乱が始まる
- 1530年11月25日-09:00|日本|兵庫県尼崎市|享禄3年11月6日|<大物城の戦い>薬師寺国盛が細川高国軍の快進撃を見て寝返り大物城も降伏
- 1530年12月24日-01:00|ハンガリー| |||<就任>ハンガリー王国摂政「アロジ・オ・グ・リツィ」(~15340929没)
- 1530年12月26日-05:30|インド| |||<死去>ムガル帝国皇帝「ハムール」47歳(誕生14830214)
- 1530年12月26日-05:30|インド| |||<即位>ムガル帝国第2代皇帝「フマユーン」(~15400517退位スール朝による支配⇒15550222復位~15560127死去)